

コース紹介 全34コース、約1,300テーマの講義+看護技術約380テーマをご利用いただけます！

基本パッケージ (一般or精神科) 全24コース 約790テーマ

基礎習得コース

中堅コース  
※基本パッケージ(一般)  
OR  
精神科コース  
※基本パッケージ(精神科)

看護共育コース

看護管理コース

院内全体研修コース

重症度、医療・看護必要度コース

認知症・高齢者コース

グローバルセミナーコース

チェック動画ライブラリ

多職種連携コース

看護のフロントランナーズ

看護補助者関連コース

様式9研修コース

看護研究コース

看護のプロフェッショナル

看護英語コース

ミミガクコース

病院経営・マネジメントコース

医療安全関連

感染対策関連

倫理関連

非常時対応関連

全体研修関連

社会人基礎力関連

選べるオプション

看護管理者特別コースI

看護管理者特別コースII  
リニューアル

入退院支援・地域包括ケアコース  
リニューアル

精神科コース  
リニューアル

学研介護サポート  
新コース

学研訪問看護サポート  
新コース

ビジュアルナースィングメソッド  
新コース

看護師の特定行為研修  
(共通科目、区分別科目、領域別パッケージ)  
リニューアル

看護師の特定行為研修実践サポート  
リニューアル

看護実践シミュレーション  
テーマ追加

看護補助者関連外国語版コース  
マンマ語登場

※詳細は別紙パンフレットをご覧ください

※詳細は別紙パンフレットをご覧ください

※詳細は別紙パンフレットをご覧ください

※詳細は別紙パンフレットをご覧ください

※詳細は別紙パンフレットをご覧ください

受講費用 (税別) 年度契約 年度途中からの申し込みも可能

▶「基本パッケージ (一般)」または「基本パッケージ (精神科)」

|        |           |           |           |           |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 病床数    | 199床以下    | 200～399床  | 400～599床  | 600床以上    |
| 料金(税別) | 39,800円/月 | 49,800円/月 | 59,800円/月 | 69,800円/月 |

▶オプション

|                         |                                                                                                                                                                                                  |                  |                                       |           |              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------|-----------|--------------|
| 看護管理者特別コースI             | 看護管理者特別コースII                                                                                                                                                                                     | 入退院支援・地域包括ケアコース  | 精神科コース「基本パッケージ(一般)」をご契約のお客様向け         | 学研介護サポート  | 学研訪問看護サポート   |
| 10,000円/月               | 10,000円/月                                                                                                                                                                                        | 10,000円/月        | 10,000円/月                             | 10,000円/月 | 15,000円/月    |
| ビジュアルナースィングメソッド         | 看護師の特定行為研修 <sup>※3</sup> (共通科目)                                                                                                                                                                  | 看護師の特定行為研修実践サポート | 視聴状況見える化オプション(有料版/年4回 <sup>※4</sup> ) | プレミアム管理機能 | 看護実践シミュレーション |
| 20,000円/月 <sup>※2</sup> | 5,000～10,000円/月                                                                                                                                                                                  | 10,000円/月        | 10,000円/年度                            | 10,000円/月 | 10,000円/月    |
| 看護補助者関連外国語版コース          | ※1 別途、管理者専用ID・教育担当者ID・集合研修用IDをお渡しします<br>※2 ビジュアルナースィングメソッドを単体で(基本パッケージのお申し込みなく)お申し込みされる場合は、40,000円/月(税別)となります<br>※3 看護師の特定行為研修の区分別科目、領域別パッケージの費用については、別紙パンフレットをご参照ください<br>※4 無料版(年2回)は全施設に適用されます |                  |                                       |           |              |
| 10,000円/月               |                                                                                                                                                                                                  |                  |                                       |           |              |

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート  
〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

TEL: 03-6431-1228 (代表) 平日 9:00～18:00 担当: 営業部  
FAX 03-6431-1414 WEB <https://gakken-meds.jp>



院内全体で使えるe-ラーニング  
学研ナースィングサポート

2025年度版  
2025年6月発行



累計導入院数 2年連続No.1

2025年6月期 看護師向けE-ラーニングサービスにおける市場調査  
調査機関: 日本マーケティングリサーチ機構

講義時間1テーマ  
約15分以内に!!

約1,300テーマ  
個人学習にも使える、ラダー/領域ごとの豊富なテーマをご用意しています!  
看護の質向上にお役立ていただけます!  
※基本パッケージにオプションコースをすべて含めたテーマ数です

NEW 様式9研修コース配信開始!!



学研ラダー対応表を活用してあなたの組織に合ったラダー教育体制の構築を可能にします

Gakken



無料 デモ体験はこちらから!

学研ナースィングサポート で検索

看護管理者の  
皆様

# 研修の **お悩み** 抱えていませんか

自分のラダーレベルや  
経年別に合った研修に  
参加させたい

最新の  
医療・看護の情報を  
効率よく学習させたい

対象に合わせた  
研修内容を  
考えるのは大変

資料準備など  
研修担当が忙しすぎる

幅広い講師の講義を  
聴いてもらいたい

集合研修を  
複数回開催する  
のが大変

## 学研ナースングサポ<sup>®</sup>で

そのお悩み解決しましょう！



カリキュラム作成、研修資料準備も限界…

ラダー別にまとめた  
年間計画表もご用意しています

〈さまざまな対象に合わせた豊富なコンテンツ〉



著名な  
講師陣！



新人から管理職まで充実した研修が組めた！



担当者の負担なく  
研修参加率を上げたい…

多彩な  
研修スタイル！

e-ラーニングで  
研修計画を組む

+

少人数で複数回開催  
or  
個人で学習してもらう

参加率  
UP!

さらに 内容が毎年リニューアル！ 最新情報が得られる！

e-ラーニングだから複数回開催もラクラク！  
病院全体で活用しています！



現場に出るまでにみんなが集まる機会に限りがある…  
実践的な研修にしたい…

ワークシートも  
準備しています

〈オススメの使い方〉



短時間で学びが深まり、実践力UP！



# 学研ナースングサポートならここまでサポートします！

1

いつでもどこでも視聴できます

個人学習

パソコン・スマートフォン、  
タブレット端末で受講できます。  
1テーマ15分以内で  
スキマ時間での受講が可能です



※一部継続配信は15分以上の  
テーマもあります

少人数の研修に使う場合も

配信期間中は  
いつでも何度でも  
院内研修が行えます



2

研修計画立案がカンタン

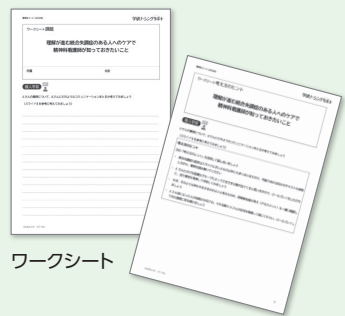
フルカラーで  
見やすい！



講義資料



テスト・解答・解説



ワークシート



修了証



看護実践能力習熟段階対応表

逆引き看護実践能力  
習熟段階対応表

年間計画表

▶▶ さらに！

計画立案に  
役立つ資料をご用意  
しています

3

管理者サポートツールが充実

Point!

受講状況の確認ができる！

スタッフの受講時間はテーマごとにチェックできます。  
きちんと受講できているか、管理者が確認可能です！

Point!

見てほしいテーマは課題テーマ設定！

見逃してほしくないテーマは、課題テーマ設定で  
スタッフごとに締切付きで設定できます

4

病院全体で使えるテーマを配信＆毎年リニューアル！

新人看護師技術ガイドラインから法定研修、診療報酬対応テーマまであらゆるテーマが揃っています。  
テーマも毎年リニューアルで「この研修、前もみました」といったマンネリ化も防止！

新人看護師

医師

看護補助者

医事課

院内全体



5

値上げなし！  
お値段そのまま「安心価格」！

テーマリニューアルに伴う値上げはございません。契約更新料もご不要です。毎年お値段改定のない「安心価格」です



6

営業が日本全国を強力にサポート

担当営業による安心のサポート体制で、あらゆるお悩みにお応えします



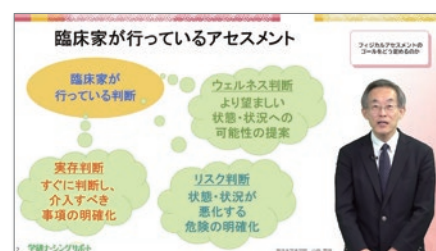
資料提供：岩見沢市立総合病院



毎月発行の「メディカルサポート便り」や  
各施設の多彩な事例もご提供  
今「困った」にすぐ対応できる  
体制を整えています

## 学研ナースングサポートとは

研修のための講義映像を、年間で系統的に配信するeラーニングサービスです。  
パソコンでもスマホでも、インターネットにつながる環境を準備するだけで、いつでもどこでも研修を受講することができます



効果が上がる！  
豊富なコースと優れた  
コンテンツ内容

操作が簡単！  
使い勝手のよい  
研修システム

4つの  
コンセプト

費用が安い！  
安心して導入  
できる料金設定

負担が軽減！  
教育担当者の  
負担減に貢献

2025年度はここがすごい！



1

リハビリテーション関連セッション登場！

2

研修セット開始！ 各施設でセットを作成して指定可

3

キャリアシート作成で生涯学習支援

# e-ラーニングシステムがもっと 便利に! 新たな機能を2点追加!



2025年3月リリース

課題テーマの指定が  
より便利に

## 課題セット作成機能

対象者にセットを割り当て

新人向け  
セット

テーマ A

テーマ B

テーマ C

管理職向け  
セット

テーマ D

テーマ E

テーマ F



対象別に  
見せたいテーマをまとめた  
課題セットを作成

## 課題セット作成画面

### オリジナル研修セットを作成する

テーマを検索・指定し、研修セット名、説明を入力し保存を押してください

#### ① 研修セット名

1 年目研修セット

#### ② 研修セットの説明

新人看護師向けに割り当てる研修

#### ③ セットにするテーマを検索、指定

コースを選択してテーマを絞り込んでから、割り当てるテーマを選択してください。

対象のコースを選択してください

選択

テーマ ※既に下の一覧に表示されているテーマは選択できません。

対象のテーマを選択してください

選択

並び替え セッションコード順 ▼ ▲

| <input type="checkbox"/> コースコード  | コース            | セッションコード | セッション                    |
|----------------------------------|----------------|----------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2501   | 五感フル活用! バイタルサインからどう判断... |
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2502   | はじめての褥瘡ケア～予防・発見・悪化防止...  |
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2503   | できる新人になるための薬物管理の基本       |
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2504   | 心電図のいろは                  |
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2505   | 基礎から学ぶ人工呼吸器の扱い方～苦手意...   |
| <input type="checkbox"/> AA_2025 | 基礎習得コース_2025年度 | AA2506   | もう得意! 実践に強くなる静脈ルート確保...  |

上記の内容で研修セットを作成する



2024年12月リリース

生涯学習支援の  
一助に

## キャリアデザインシート作成機能

各スタッフが将来の目標を明確にし、積み重ねてきた経験を整理することで、  
学びの動機づけにつながります

※キャリアデザインシートは厚生労働省「看護職のキャリアデザインシート」をベースにしております

## キャリアデザインシート作成画面

### 看護職のキャリアデザインシート

#### 1. 目標

【ポイント】 目標が変わったタイミングで新たに目標を設定し書いてみましょう。

#### ① 将来の目標

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

【ポイント】 自分

#### 9. その他（自由記載）

【ポイント】 2～8に当てはまらない、シートに記入しておきたいこと、ライフイベント等を幅広く書いてみましょう。

進学予定大学院教授との面談を経て社会人入試枠での大学院受験に臨むことになった。長期履修は勧められないと助言を受け進学は2年間の休職の方向で看護部と調整することになった。

#### 10. 受講履歴

【ポイント】 修了セッション表示設定。

| No. | コース         | セッション                                                  | 履修完了日      |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------|------------|
| 1   | AA_基礎習得コース  | AA2301_そのバイタルサインは何を示す?～患者の現在を見極め、未来を見通す～(約44分)【2024年度】 | 2024/07/01 |
| 2   | AA_基礎習得コース2 | AA2301_そのバイタルサインは何を示す?～患者の現在を見極め、未来を見通す～(約44分)【2024年   | 2024/07/02 |

「経験年数」や「看護実践能力習熟段階(ラダー)」などに合わせて  
課題をまとめて割り当てやすくなります!

学研ナースングサポートの視聴履歴が自動的に反映されるほか、  
e-ラーニング以外の研修履歴も入力でき、評価面談での活用も可能です!

研修担当者の強い味方！

# 研修お役立ち資料もご用意！

## 看護実践能力習熟段階対応表

看護実践能力習熟段階のどの能力/レベルにどのテーマが対応しているかをお示した一覧表

## 逆引き看護実践能力 習熟段階対応表

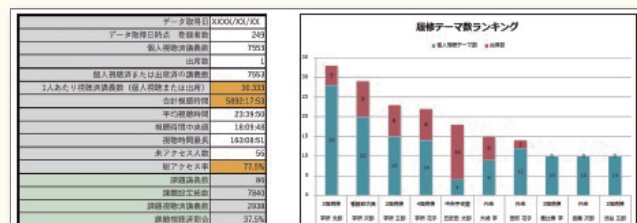
看護実践能力習熟段階対応表を対象レベルから『逆引き』で確認しやすした一覧表

## 看護補助業務能力指標対応表

看護補助者の業務に必要な能力/ステップにどのテーマが対応しているかをお示した一覧表

## 視聴状況レポート

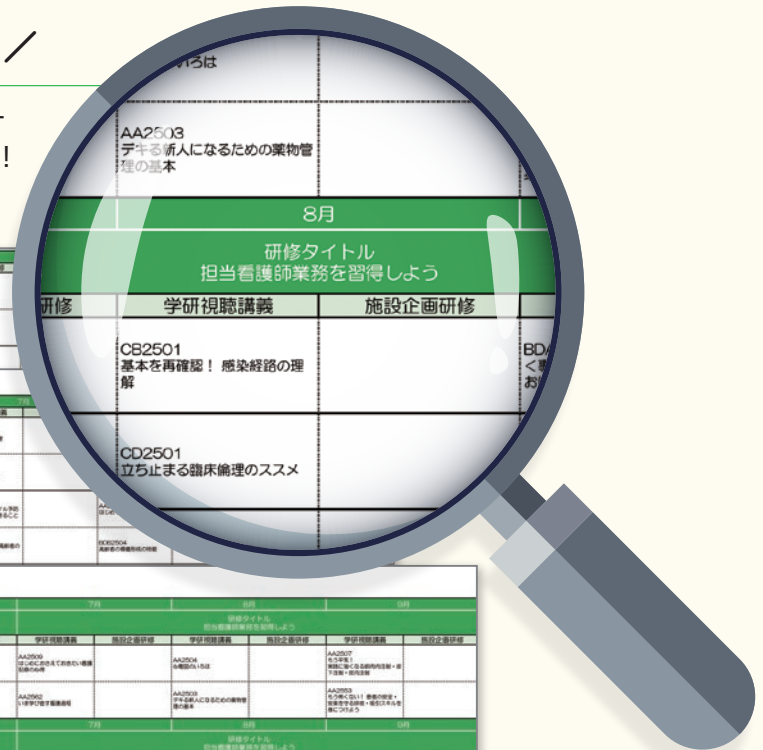
視聴状況を分析、定期的にフィードバック。  
個人別視聴状況やテストの点数などを管理者/教育担当者  
専用IDで閲覧、ダウンロード！  
受講履歴CSVは研修受講の証明にも！



## 視聴確認

## 年間計画表 \施設に合わせた3種類！／

1年間の研修計画例としてテーマをレベルごとに振り分け  
2025年度は急性期・慢性期・精神科の3種類をご用意！  
ご施設にあったものをご活用いただけます



## 配信ポスター

テーマコード、テーマ名、配信開始月を掲載した  
ポスター。院内に掲示してお使いいただけます

## 配信セッション+シラバス一覧

コード、テーマ名、講義時間やテーマのカテゴリー、  
テスト・ワークシートの有無などをコースごとにご案内

# 2025年度配信セッション+シラバス一覧

(2025年4月～2026年3月)

## 基本パッケージ



最新情報はこちら >>

### 約790テーマ

※最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください  
※2025年4月時点での情報です ※各テーマ、講師は変更する場合がございます  
※講師の肩書は収録時のものです ※公開初日は当日【17:00～】ご利用いただけます

|                                                                               |                                                                              |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| <b>基礎習得コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信48本+継続配信48本+ミニ動画3本<br><b>約15分</b> | <b>中堅コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信48本+継続配信51本<br><b>約15分</b>         | <b>精神科コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信46本+継続配信44本<br><b>約15分</b>         |
| <b>看護共育コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信17本+継続配信22本<br><b>約15分</b>        | <b>看護管理コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信20本+継続配信26本<br><b>約15分</b>       | <b>看護補助者関連コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信49本+継続配信27本<br><b>約10分</b>     |
| <b>様式9研修コース</b> <span>コース新設</span><br>■ 新規配信13本<br><b>約15分</b>                | <b>看護研究コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信10本+継続配信27本<br><b>約15～60分</b>    | <b>重症度、医療・看護必要度コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信6本+継続配信21本<br><b>約15分</b> |
| <b>認知症・高齢者コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信24本+継続配信24本<br><b>約15分</b>     | <b>多職種連携コース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信15本+継続配信12本<br><b>約15～30分</b>   | <b>ミミガクコース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信2本+継続配信4本<br><b>約10～20分</b>       |
| <b>病院経営・マネジメントコース</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信12本+継続配信13本<br><b>約15分</b> | <b>看護のプロフェッショナル</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信1本+継続配信5本<br><b>約40～45分</b> | <b>看護のフロントランナーズ</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信2本+継続配信2本<br><b>約15～20分</b>  |
| <b>グローバルセミナーコース</b><br>■ 継続配信8本<br><b>約10～20分</b>                             | <b>チェック動画ライブラリ</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信1本+継続配信33本                   | <b>看護英語コース</b> <span>コース新設</span><br>■ 新規配信10本<br><b>約10分</b>                 |
| <b>医療安全関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信8本+継続配信4本<br><b>約10分</b>           | <b>感染対策関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信16本+継続配信4本<br><b>約10分</b>         | <b>倫理関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信10本<br><b>約10分</b>                   |
| <b>非常時対応関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信6本+継続配信6本<br><b>約10分</b>          | <b>全体研修関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信18本+継続配信21本<br><b>約10分</b>        | <b>社会人基礎力関連</b> <span>リニューアル</span><br>■ 新規配信12本+継続配信11本<br><b>約10分</b>       |

院内全体研修コース

## 2025年度はこんなセッションが登場！

- リハビリテーションセッション登場
- 看護管理コースに入門セッション
- 看護共育コース「研修計画書テンプレート」提供
- 看護研究コースはよりベーシックな内容
- 病棟別必要度チェック動画
- 経営・医事課へ病院経営・マネジメントコース

## 【2025年7月1日(火)配信開始】様式9研修コース

監修：一般社団法人 日本施設基準管理士協会

■ 新コース 様式9研修コース 配信決定！

■ 医療機関における施設基準届出に必要な様式9に関する重要ポイントを学べます！

コース新設！

看護師の生涯学習と多職種の学びをスモールステップでサポートし、組織の医療・ケアの質向上、働きがいや人材定着に貢献します

新しくなった学研のe-ラーニングが学習効果の向上と学びのモチベーションアップを実現

1テーマ  
講義15分

時短で使いやすい

15分以内の講義  
テスト/ワークシート  
修了証  
アンケート

集合研修にも個人学習にも

1テーマ  
テスト2問

スモールステップで  
学習効果が実感できる

目標を詰め込みすぎない  
効果的な学習デザイン  
目標と合致したテスト(評価)

目標と評価の整合性

知識の定着まで  
20分

学習意欲の維持・向上

講義15分+テスト5分=  
20分で1テーマが完結  
達成感・満足感があるから  
次のテーマに進みたくなる

主体的・自律的な学びへ

ご利用施設の声

※記載内容は2024年10月現在のものです

さまざまな病院様でご活用いただいております

“ともに学び、ともに育つ”e-ラーニングを活用し、看護実践能力の向上を目指す！



公益財団法人 湯浅報恩会  
寿泉堂病院

左： 寿泉堂香久山病院 看護科長補佐(教育担当)  
長岡 恵 様  
中央： 法人看護部長  
岡部 美智江 様  
右： 寿泉堂綜合病院 看護科長補佐(教育担当)  
幕田 望 様

当財団は、急性期・慢性期病院、クリニック、訪問看護などの在宅事業所を有し、看護職約430名、介護職・看護補助者約120名が在籍しています。いつでもどこでも学習できる環境の整備を目的に、2022年より「学研ナーシングサポート」を導入しました。個人のレベルに応じた課題を設定し、e-ラーニングと集合研修を組み合わせ、レベル毎の目標達成に向けて励んでいます。個人が自身の状況に応じて受講できており、課題の受講率はほぼ100%です。課題以外にも興味のあるテーマを受講することで、看護職一人ひとりが“新たな看護の道”を探索することにつながっています。今後も、ライフスタイルに合わせた学習ができるようにe-ラーニングを効果的に活用し、働き続ける看護職の主体的な学びをサポートしていきたいと思っています。

病院職員の、個人に合わせた学びをe-ラーニングで支える



公益社団法人 有隣厚生会  
東部病院

左： 事務長  
関野 信昌 様  
右： 看護部長  
川見 晴美 様

当院は富士山を西に仰ぎ見る静岡県東部、御殿場市に位置し、一般病床と地域包括ケア病床および、腎臓病(人工透析)センターの機能を持ち、質の高い専門性を生かした医療の提供に努めております。病院職員全体の生涯学習を支える手段として、2016年にe-ラーニングを導入し、今年で8年目となりました。活用方法は、職員全員に接遇研修として、成長につながるコミュニケーション、感染症対策として標準予防策、医療安全については、心理的安全性のある職場づくり、医療倫理などの研修に活用しています。また多様な働き方でも自宅学習が可能であること、時短勤務、育休中の職員より、研修に出掛けなくとも自宅で学べる、視聴内容が理解しやすいと継続希望が多く8年目となりました。今後も、看護師のみではなく病院職員全員が自己研鑽をし、質の高い医療が提供できるようe-ラーニングを活用して学びを支えていきたいと思っています。

生涯学習を支援し、自ら学び、誇りと自信をもてる看護職を育成



国家公務員共済組合連合会  
古島病院

左： 看護部長  
御厨 加代子 様  
中： 看護師長(教育委員長)  
古田 美穂子 様  
右： 看護師長(教育副委員長)  
坂本 藍 様

2012年から新人研修や集合研修への活用、講師の負担軽減をはかる目的で導入しました。現在ではラダー別研修、看護補助者研修、院内全職員研修にも対象を拡大し、自己研鑽も含め多岐にわたって活用しています。オプションの「看護師の特定行為研修」も導入し、臨床推論力の向上をめざして研修に組み込んでいます。個人の端末でいつでもどこでも視聴できる利点を活かして、自ら学ぶ機会を提供し生涯学習支援になるように、これからも活用していきます。

いかなる状況においても安定して活用できる学習ツール



医療法人 厚生会  
道ノ尾病院

左： 副看護部長  
野田 紀子 様  
中央： 看護部長  
荒木 健二 様  
右： 副看護部長  
濱口 学 様

当院では、全職員のスキルアップを目標に、自身のライフスタイルに合った学習もできることから、2019年よりe-ラーニングを導入しました。決して予感していたわけではありませんが、2020年に新型コロナウイルス感染症が流行し、当院でもクラスターを経験しました。そこから数年、感染対策上、外部研修や集合研修が実施できないなかe-ラーニングによりひとつの学習の場を維持することができました。個人視聴時間も徐々に増加していることもデータで確認することができ、今後さらに活用していきたいと思っています。

# 学びを深める！さまざまなオプションをご用意

## 看護管理者特別コースⅠ

<基礎・概論編> 認定看護管理者 セカンド・サードレベルが学びたいレジリエントな組織デザイン

## 看護管理者特別コースⅡ

<実践編> 地域丸ごとで輝く組織へ！  
看護部門・部署運営に明日から現場で役立つヒント

## 看護管理者特別コースⅠ/Ⅱ 監修

京都大学大学院 医学研究科  
人間健康科学系専攻  
先端中核看護科学講座  
生活習慣病看護学分野 教授

任 和子 先生



## 入退院支援・地域包括ケアコース

事例から学んで  
患者の退院後の生活を支える看護師になる！

## 入退院支援・地域包括ケアコース 監修

常磐大学看護学部・大学院 教授、  
茨城県立中央病院  
がん看護専門看護師

角田 直枝 先生

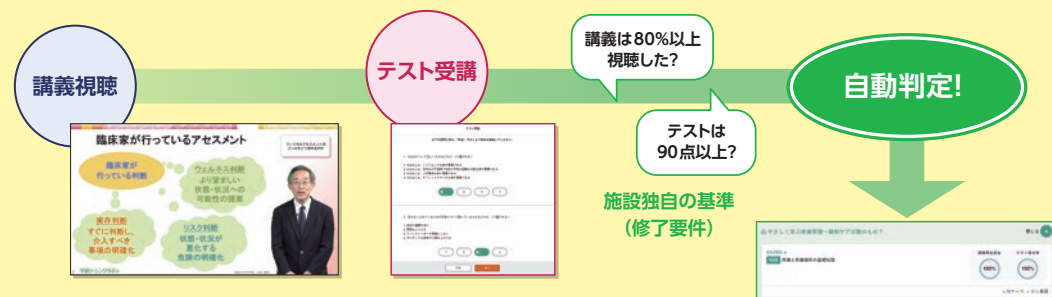


e-ラーニングをもっと自由に！ 使いやすく！

## プレミアム管理機能

### 機能①

施設独自の基準で  
“修了”の  
自動判定ができる！



### 機能②

ご施設の  
オリジナル研修も  
e-ラーニング化できる！



ご利用施設の声

現場のニーズに合わせたオリジナル研修を有効に活用しています

JA岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院  
当院では、2021年より【プレミアム管理機能】を導入し、スタッフが独自に作成した研修をe-ラーニング形式で配信しています。2023年度には、コンプライアンス研修や看護部の教育研修など、多岐にわたるテーマを取り入れた26講座をオリジナル研修として提供しました。これにより、現場のニーズに即した実践的な知識を深めるための有効なツールとなっています。今後は、さらに多様な研修を展開し、選択肢を広げることで、スタッフの成長を支援していきます。

左：副看護部長 岩田 由美子 様 中央：看護部長 小林 加代子 様 右：副看護部長 堀畑 尚美 様



## 学研介護サポート

新人から管理者まで施設(全職員)のための  
e-ラーニング

監修：白井 孝子 先生  
東京福祉専門学校 教育顧問

自信をつけて学びにつなげる  
介護福祉士をはじめとする、介護スタッフの資質向上に！

- 令和6年度  
介護報酬改定に対応！
- レクリエーションコース  
を新設！
- 法定研修にも対応！



## 【ビジュアル】 ナースングメソッド

最新の看護手順書・技術動画で  
安心な看護を！

OJTの事前学習に使える！

- 特長1 看護手順書  
施設に合わせて簡単に編集可能！
- 特長2 技術動画  
3DCG動画で安心・安全な看護を！



## 看護師の 特定行為研修

- 特長1 研修に必要なすべての教材をサポート！
- 特長2 指定研修機関になるための申請をサポート！
- 特長3 生涯学習・組織定着をサポート

## 看護師の 特定行為研修 実践サポート

修了者の「力」を伸ばす  
フォローアップ教材！  
＋  
施設全体の体制づくりに必要な  
ポイントも徹底解説！

認定看護師教育基準カリキュラム  
B課程共通科目対応コース

多職種連携や学習支援のコツ、  
組織内での問題解決方法  
が学べる！

## 学研訪問看護サポート

訪問看護の現場の声から生まれたe-ラーニング！

監修：角田 直枝 先生  
常磐大学看護学部・大学院 教授、  
茨城県立中央病院 がん看護専門看護師

講義と技術動画で  
すべてのスタッフが学習でき、  
自信をもって在宅ケア実践へ

- ステーション全体研修コースを新設！
- 現場での事例を交えた実践的な講義
- 訪問看護の現場で活かせる看護技術を厳選



「年間計画表」「研修の手引き」「研修計画書」完備！

特長

- 1 準備なしでシミュレーション研修！
- 2 臨場感のある事例動画
- 3 個人学習、集合研修のどちらにも対応！



集合研修用  
ワークシート

振り返り用  
ポケットノート

## 看護実践 シミュレーション

## 看護補助者関連 外国語版コース

英語

# Hello

ベトナム語

# Xin chào

インドネシア語

Halo

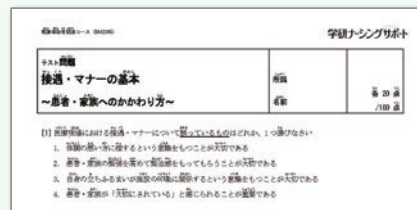
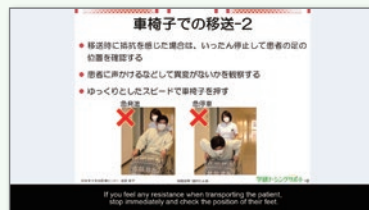
ネパール語

नमसते

ミャンマー語

မင်းဂလာပါ

**NEW!!**



- 講義映像が5か国語字幕に対応
  - 講義資料、テスト(問題・解答解説)は日本語ルビ付き
- ※実際の映像とはイメージが異なる場合があります

看護補助者関連 外国語版コースは  
配信スケジュールが異なります！

**BAA2401「医療制度の概要および病院の機能と組織の理解」を例にご案内します。**

- 日本語版BAA2401はBAA2501に内容をリニューアルし、4月から新規配信します
- 日本語版BAA2401の外国語版HIL2401は、セッションコードのみを変更、HIL2551として4月から配信します
- 日本語版BAA2501を各言語に翻訳し、外国語版HIL2501として8月から配信を開始します

## 配信スケジュールイメージ

| 医療制度の概要  | 2025年<br>4月     | 5月 | 6月 | 7月 | 8月              | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2026年<br>1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-----------------|----|----|----|-----------------|----|-----|-----|-----|-------------|----|----|
| BAA2401  | BAA2501<br>新規配信 |    |    |    |                 |    |     |     |     |             |    |    |
| HIL2401→ | HIL2551<br>継続配信 |    |    |    |                 |    |     |     |     |             |    |    |
| HIL2501  |                 | 翻訳 |    |    | HIL2501<br>新規配信 |    |     |     |     |             |    |    |

※ 外国語版に関しましては、継続（HIL2551・4月開始）と新規（HIL2501・8月開始）を並行して配信いたします。  
どちらのテーマをご使用になるかは各ご施設様でご判断ください

**Dx**で患者説明が変わる！

**Gakken**  
**メディカルグリップ** (は

説明動画をカンタンに作成し、  
見せることができるサービスです

作  
る  
が  
カ  
ン  
タ  
ン

豊富なテンプレートから説明する内容を  
選んでかんたんに動画作成できます

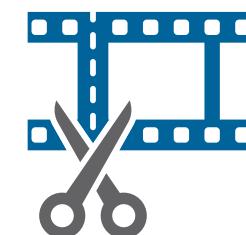
入院・検査など7カテゴリ29種類をご用意  
(2025年2月現在)



全てのテンプレートの  
情報はこちらから→



動画内の文字やイラスト、ナレーション  
等をかんたんに編集できます



編集機能についての  
詳細はこちらから→



## 院内にいる人に！

## タブレットやモニタで

**タブレットや外来のモニタなどで  
動画を院内でかんたんに見せること  
ができます**



## 院外にいる人に！

## WEBSITEやLINEで

患者さんやご家族が遠方にいても、  
動画をWEBサイトに掲載したり、LINE  
で送信することがかんたんにできます



学研メディカルサポートが  
患者説明のDX化をお手伝いします！

無料トライアル受付中!!

🔍 **Gakkenメディカルクリップ** で検索



# 学研ナースングサポ

2025年6月[発行]

約980テーマ

## 2025年度配信セッション+シラバス一覧

(2025年4月～2026年3月)



最新情報はこちら

- 最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください
- 2025年4月時点での情報です
- 講師の肩書は収録時のものです
- 各テーマ、講師は変更する場合がございます
- 公開初日は当日【17:00～】ご利用いただけます

### 基本パッケージ

#### 基礎習得コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信48本+継続配信48本+ミニ動画3本

#### 中堅コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信48本+継続配信51本

#### 精神科コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信46本+継続配信44本

or

#### 看護共育コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信17本+継続配信22本

#### 看護管理コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信20本+継続配信26本

#### 看護補助者関連コース

リニューアル  
約10分

■ 新規配信49本+継続配信27本

#### 様式9研修コース

コース新設  
約15分

■ 新規配信13本

#### 看護研究コース

リニューアル  
約15～60分

■ 新規配信10本+継続配信27本

#### 重症度、医療・看護必要度コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信6本+継続配信21本

#### 認知症・高齢者コース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信24本+継続配信24本

#### 多職種連携コース

リニューアル  
約15～30分

■ 新規配信15本+継続配信12本

#### ミミガクコース

リニューアル  
約10～20分

■ 新規配信2本+継続配信4本

#### 病院経営・マネジメントコース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信12本+継続配信13本

#### 看護のプロフェッショナル

リニューアル  
約40～45分

■ 新規配信1本+継続配信5本

#### 看護のフロントランナーズ

リニューアル  
約15～20分

■ 新規配信2本+継続配信2本

#### グローバルセミナーコース

約10～20分

■ 継続配信8本

#### チェック動画ライブラリ

リニューアル

■ 新規配信1本+継続配信33本

#### 看護英語コース

コース新設  
約10分

■ 新規配信10本

### 院内全体研修コース

#### 医療安全関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信8本+継続配信4本

#### 感染対策関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信16本+継続配信4本

#### 倫理関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信10本

#### 非常時対応関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信6本+継続配信6本

#### 全体研修関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信18本+継続配信21本

#### 社会人基礎力関連

リニューアル  
約10分

■ 新規配信12本+継続配信11本

### 約180テーマ

### コアセッション

#### 看護管理者特別コースI

約15分

■ 継続配信48本

#### 看護管理者特別コースII

リニューアル  
約15分

■ 新規配信43本

#### 入退院支援・地域包括ケアコース

リニューアル  
約15分

■ 新規配信48本+継続配信48本

## 基礎習得コース

新人看護職員研修ガイドラインに準拠！

全テーマ通年配信

リニューアル

臨床のリアルを学んで病棟に飛び出そう！ 自信につながるスキルとメンタルをサポート

1テーマ約15分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                            | 到達目標                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| AA2501   | 五感フル活用！ バイタルサインからどう判断するか<br>山内 豊明 先生 放送大学大学院              |                                                                          |
| AA2501-a | 酸素化を見極める                                                  | ●最優先は酸素化であることがわかる<br>●バイタルサインの必要性がわかる                                    |
| AA2501-b | バイタルサインのとらえ方と活かし方                                         | ●バイタルサインは五感で評価できることがわかる<br>●バイタルサイン・ツインズを4つあげられる                         |
| AA2501-c | バイタルサインで迅速診断！<br>～いま起きていることを見極める～                         | ●緊急度の評価に役立つバイタルサインが説明できる<br>●ショックの評価をするためのバイタルサイン適用方法を述べられる              |
| AA2501-d | バイタルサインで急変予測！<br>～これから起きることを見逃さない～                        | ●急変の前兆を察知するためのバイタルサインの知識を身につける                                           |
| AA2502   | はじめての褥瘡ケア<br>～予防・発見・悪化防止の基礎知識～<br>山口 みどり 先生 なごみ訪問看護ステーション |                                                                          |
| AA2502-a | 褥瘡の基礎知識～発生機序と好発部位～                                        | ●褥瘡の発生機序と好発部位が説明できる<br>●褥瘡が発生しやすい場面がわかる                                  |
| AA2502-b | 褥瘡のリスクアセスメント                                              | ●褥瘡のリスクを予防するためにどのような見極めが必要なのかわかる                                         |
| AA2502-c | 褥瘡と皮膚障害の鑑別                                                | ●褥瘡か否かの特徴がわかる<br>●褥瘡と見分ける必要のある皮膚障害がわかる                                   |
| AA2502-d | 看護師が求められる褥瘡ケア                                             | ●急性期褥瘡の特徴がわかり判断ができる<br>●新人看護師として最低限知っておくべき褥瘡ケアがわかる                       |
| AA2503   | できる新人がおさえておきたい薬物管理の基本<br>柳田 俊彦 先生 宮崎大学                    | <b>医療安全</b>                                                              |
| AA2503-a | 安全な薬物管理のための大原則<br>～6つのRightを確認しよう～                        | ●薬物管理において起こりやすいエラーが説明できる<br>●6Rをすべてあげることができる                             |
| AA2503-b | 看護師が知っておきたい「クスリ」の「リスク」                                    | ●看護師が学ぶべき薬物の知識について、情報収集が実践できる                                            |
| AA2503-c | 投薬の流れと看護師の役割                                              | ●投薬のプロセスにおいて看護師に求められる役割が説明できる                                            |
| AA2503-d | 安全な投薬のためのコミュニケーション                                        | ●投薬におけるコミュニケーションエラーのリスクが理解できる<br>●エラーが起こりにくいコミュニケーションを実践できる              |
| AA2504   | 心電図のいろは<br>鈴木 まどか 先生 順天堂大学                                |                                                                          |
| AA2504-a | 心電図の基本                                                    | ●心電図とは何かを理解できる<br>●12誘導心電図とモニタ心電図の違いを理解できる<br>●12誘導心電図のとりかたがわかる          |
| AA2504-b | 心電図の波形の基礎知識                                               | ●心電図の波形の成り立ちを学び、正常な心電図の波形が理解できる<br>●モニタ心電図にⅡ誘導を使用する理由がわかる                |
| AA2504-c | 日常でよくみる不整脈                                                | ●期外収縮や心房細動など日常でよくみる波形の特徴について説明できる                                        |
| AA2504-d | 危険な不整脈への対応方法                                              | ●危険な不整脈への対応方法をあげられる                                                      |
| AA2505   | 基礎から学ぶ人工呼吸器の扱い方<br>～苦手意識をもたないために～<br>野口 裕幸 先生 CE 野口企画     | <b>医療安全</b>                                                              |
| AA2505-a | 人工呼吸器の基本知識                                                | ●人工呼吸器を使用する目的を述べることができる                                                  |
| AA2505-b | 人工呼吸器装着時の看護ケア                                             | ●人工呼吸器装着時の日常生活ケアのポイントを1つあげることができる                                        |
| AA2505-c | 人工呼吸器のアラーム対応                                              | ●人工呼吸器のアラームの意味を学び、対応方法がわかる                                               |
| AA2505-d | 挿管・抜管時の準備と介助                                              | ●挿管・抜管時に進んで介助できる知識を身につける                                                 |
| AA2506   | もう得意！<br>実践に強くなる静脈ルート確保・採血<br>村丘 寛和 先生 CLINIC FOR グループ    | <b>医療安全</b> <b>IVナース</b>                                                 |
| AA2506-a | 静脈穿刺の注意点<br>～解剖学的知識を身につけよう～                               | ●前腕の血管および神経の走行について穿刺時に注意すべきポイントが説明できる                                    |
| AA2506-b | さあ、どこに穿刺する？<br>～穿刺箇所を選定と穿刺までの流れ～                          | ●穿刺部位選択の考え方が説明できる<br>●穿刺までの準備と流れが説明できる                                   |
| AA2506-c | 静脈ルート確保の手技と注意点                                            | ●静脈ルート確保の穿刺から固定までの流れが理解できる<br>●静脈ルート確保時の注意点が説明できる<br>●自分自身の実践の手技がイメージできる |
| AA2506-d | 採血の手技と注意点                                                 | ●採血の穿刺から抜針までの流れが理解できる<br>●採血時の注意点が説明できる<br>●自分自身の実践の手技がイメージできる           |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                 | 到達目標                                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| AA2507   | もう平気！<br>実践に強くなる筋肉内注射・皮下注射・皮内注射<br>村丘 寛和 先生 CLINIC FOR グループ    | <b>医療安全</b> <b>IVナース</b>                                                      |
| AA2507-a | 色々な注射法                                                         | ●色々な注射法の目的や特徴を説明できる<br>●注射で起こり得る有害事象と副作用が説明できる                                |
| AA2507-b | 筋肉内注射の穿刺部位                                                     | ●主な筋肉内注射の穿刺部位と注意点を述べるができる                                                     |
| AA2507-c | 筋肉内注射の手技と注意点                                                   | ●筋肉内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる<br>●筋肉内注射時の注意点が説明できる<br>●自分自身の実践の手技がイメージできる          |
| AA2507-d | 皮下注射・皮内注射の手技と注意点                                               | ●皮下注射・皮内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる<br>●皮下注射・皮内注射時の注意点が説明できる<br>●自分自身の実践の手技がイメージできる  |
| AA2508   | 初めての急変対応<br>～チームの一員として知っておくこと、やるべきこと～<br>三上 剛人 先生 吉田学園医療歯科専門学校 |                                                                               |
| AA2508-a | 急変とはなんですか？                                                     | ●急変とはどのような状態か述べるができる                                                          |
| AA2508-b | 急変を見抜く観察のポイント                                                  | ●急変を見抜く方法を知ることができる                                                            |
| AA2508-c | 急変発生時のあなたの行動                                                   | ●急変発生時にとるべき行動を考えることができる                                                       |
| AA2508-d | 心肺蘇生のパフォーマンスを上げるポイント                                           | ●効果的な心肺蘇生の技術を確認できる                                                            |
| AA2509   | はじめにおさえておきたい看護記録の心得<br>藤田 比左子 先生 創世看匠                          |                                                                               |
| AA2509-a | 看護記録に対するマインドセット                                                | ●看護記録の法的義務と責任について説明できる<br>●看護記録の定義と目的について説明できる                                |
| AA2509-b | 看護記録の意義と適切性の基本                                                 | ●看護記録の意義について説明できる<br>●適切な看護記録の主な基本的要素を説明できる                                   |
| AA2509-c | 適切な看護記録の記載～ SOAP 形式を例に～                                        | ●適切な看護記録の書き方について理解し、明日から実践することができる<br>●SOAP 形式での構成と内容を説明できる                   |
| AA2509-d | 事例で学ぶ看護実践を保証する看護記録                                             | ●看護実践を保証する看護記録の構成を説明できる<br>●看護記録の目的を理解し、看護記録を書く際に活かすことができる                    |
| AA2510   | 安全・安楽な食事介助について理解しよう！<br>飯原 由貴子 先生 食べたい - おくちから 代表              |                                                                               |
| AA2510-a | 摂食嚥下のプロセスについて                                                  | ●摂食嚥下の 5 期モデルについて理解できる                                                        |
| AA2510-b | 食事介助に潜むリスク～誤嚥・窒息の予防～                                           | ●誤嚥・窒息を予防するための方法や注意点についてわかる                                                   |
| AA2510-c | 食事介助の基本～適切な準備と介助方法～                                            | ●安全で効果的な食事介助の方法がわかる                                                           |
| AA2510-d | 食事形態の調整と段階的アップの必要性                                             | ●飲み込みに注意が必要な食品の特性と食事形態調整の必要性、段階的な食事形態アップについて理解できる                             |
| AA2511   | 看護のコア～変わらないもの、変わるもの～<br>川本 利恵子 先生 湘南医療大学                       |                                                                               |
| AA2511-a | 歴史からひも解く看護の歩み                                                  | ●今日に至る看護の歩みを自分の言葉で説明できる<br>●看護とは何か、その本質を説明できる<br>●看護の歩み（歴史）からひも解き、看護の価値を説明できる |
| AA2511-b | 近年の日本社会の変化と看護の役割・機能                                            | ●看護を取り巻く社会の変化について自分の言葉で説明できる<br>●これからの社会における看護のあり方について自分の言葉で説明できる             |
| AA2511-c | レジェンドから学ぶ看護のコア                                                 | ●レジェンドたちの看護論から、現在も変わらないものと変わってきたものを見出し、言語化できる                                 |
| AA2511-d | 看護の専門性と自律性の追求                                                  | ●これからも看護者として生きるために必要な専門性と自律性について、自分の言葉で説明できる                                  |
| AA2512   | 夜勤独り立ちへの心構え<br>比留間 ゆき乃 先生 兵庫医科大学病院                             |                                                                               |
| AA2512-a | 夜勤の看護業務とは～日勤との違い～                                              | ●夜勤の日勤との違いを知り、夜勤で求められる看護業務の特徴がわかる                                             |
| AA2512-b | 夜勤で求められる実践力                                                    | ●夜勤独り立ちに向けて、向上が必要な自身の実践力がわかる                                                  |
| AA2512-c | 夜間に起こりがちな患者対応                                                  | ●夜間に起こりがちな患者の状態を想定することができる                                                    |
| AA2512-d | 夜勤で体調を崩さないために                                                  | ●夜勤前後の生活のリズムを整える方法がわかる                                                        |
| AA2513   | 新人看護師の 1 日～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～<br>入学 佐美里 先生 医療法人社団 顕鐘会           | <b>テストなし</b> <b>ワークなし</b>                                                     |
| AA2513-a | 新人看護師の 1 日<br>～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～                               | ●新人看護師の日勤のタイムスケジュールがイメージできる                                                   |
| AA2514   | 続く！ はかどる！ 社会人の勉強法<br>看護師のかげさん                                  | <b>テストなし</b> <b>ワークなし</b>                                                     |
| AA2514-a | 続く！ はかどる！ 社会人の勉強法                                              | ●自分に合った勉強法をみつけ、明日から実践することができる                                                 |
| AA2515   | 自分の考え方のクセを知ろう<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院                         | <b>テストなし</b> <b>ワークなし</b>                                                     |
| AA2515-a | 自分の考え方のクセを知ろう                                                  | ●自分の考え方のクセに引きずられないための方法を 1 つあげられる                                             |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                            | 到達目標                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| AA2551   | <b>実践！ アセスメント力を高めるフィジカルイグザミネーション</b><br>藤野 智子 先生 聖マリアンナ医科大学病院             |                                                    |
| AA2551-a | フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本                                             | ●フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本が理解できる               |
| AA2551-b | フィジカルイグザミネーション：呼吸器系                                                       | ●呼吸器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる      |
| AA2551-c | フィジカルイグザミネーション：循環器系                                                       | ●循環器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる      |
| AA2551-d | フィジカルイグザミネーション：脳神経系                                                       | ●脳神経系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる      |
| AA2552   | <b>新人看護師のあなたが備えておきたい臨床判断能力</b><br>小澤 知子 先生 東京医療保健大学                       |                                                    |
| AA2552-a | 臨床判断とは                                                                    | ●臨床判断の基本が理解できる                                     |
| AA2552-b | 臨床推論とは                                                                    | ●臨床推論の基本が理解できる                                     |
| AA2552-c | 臨床判断と臨床推論の関係                                                              | ●臨床判断と臨床推論の関係を説明できる                                |
| AA2552-d | 臨床判断に必要な気づき力の育み方                                                          | ●臨床判断に必要な気づきの育み方が理解できる                             |
| AA2553   | <b>もう怖くない！ 患者の安全・安楽を守る排痰・吸引スキルを身につけよう</b><br>乙黒 恵子 先生 山梨県立中央病院            |                                                    |
| AA2553-a | 肺の解剖と痰が出るしくみ                                                              | ●肺の解剖について説明できる<br>●痰が出るしくみについて説明できる                |
| AA2553-b | 吸引を実施するまえにできること<br>～体位ドレナージ、呼吸助法など～                                       | ●体位ドレナージの実施方法が説明できる<br>●呼吸助法の実施方法が説明できる            |
| AA2553-c | 吸引を実施すべき状態と判断基準                                                           | ●吸引を実施すべき患者の状態が説明できる                               |
| AA2553-d | 安全・安楽な吸引のための手技                                                            | ●吸引の手順と注意点が説明できる                                   |
| AA2554   | <b>できる新人になるための輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱い心得</b><br>西垣 直美 先生 西濃厚生病院                  | <b>医療安全</b> <b>IVナース</b>                           |
| AA2554-a | 輸液ポンプの基本                                                                  | ●輸液ポンプの操作と管理の基本が説明できる                              |
| AA2554-b | シリンジポンプの基本                                                                | ●シリンジポンプの操作と管理の基本が説明できる                            |
| AA2554-c | 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法                                                   | ●輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法が説明できる                     |
| AA2554-d | 輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味とその対応                                                | ●輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味と対応手順が説明できる                  |
| AA2555   | <b>無菌操作に強くなろう！<br/>安全と患者心理に配慮した膀胱留置カテーテルの挿入</b><br>藤本 佐希子 先生 海南病院         | <b>感染対策</b>                                        |
| AA2555-a | 膀胱留置カテーテルの基礎知識                                                            | ●膀胱留置カテーテルの役割と構造が理解できる                             |
| AA2555-b | カテーテル関連尿路感染（CAUTI）の原因と予防                                                  | ●CAUTIの機序を理解し、感染予防策を実施できる                          |
| AA2555-c | カテーテル挿入手技の実際                                                              | ●清潔操作をふまえた安全なカテーテル挿入の留意点が説明できる                     |
| AA2555-d | カテーテル留置中の管理のポイント                                                          | ●カテーテル留置患者の管理のポイントが説明できる                           |
| AA2556   | <b>やさしく学ぶ疼痛管理<br/>～痛みを和らげるのは何のため？～</b><br>廣橋 猛 先生 永寿総合病院                  | <b>がん看護</b> <b>IVナース</b>                           |
| AA2556-a | いちばん知ってほしい！ 患者にとっての「痛み」とは何？                                               | ●患者における疼痛の意味を知る<br>●疼痛の原因や種類を理解できる                 |
| AA2556-b | 疼痛緩和に最も重要なアセスメントを知る                                                       | ●疼痛を評価する方法やツールを理解できる                               |
| AA2556-c | 疼痛緩和に用いるさまざまな薬を知る                                                         | ●疼痛緩和のための薬物療法について説明できる                             |
| AA2556-d | 薬以外でも痛みは和らぐ！ 看護師だからこそできるケア                                                | ●疼痛緩和のための非薬物療法とケアについて説明できる<br>●疼痛緩和において自らの役割を理解できる |
| AA2557   | <b>基礎から学ぶ臨死期のケア<br/>～人の最期に立ち会うということ～</b><br>小林 光恵 先生 看護師・著述業              |                                                    |
| AA2557-a | 終末期の基礎知識                                                                  | ●終末期の基礎知識が理解できる                                    |
| AA2557-b | 臨死期（～死亡まで）に起こることと看護のポイント                                                  | ●死亡までの臨死期に身体に起こることと、看護実践のポイントがわかる                  |
| AA2557-c | 臨死期（死亡時）の看取りの場面を充実させるために                                                  | ●患者・家族が納得できる最期になるよう、配慮すべき看護のポイントがわかる               |
| AA2557-d | 臨死期（死亡後）の身体変化と身体ケアのポイント                                                   | ●死後の身体変化をふまえた対応の必要性がわかる                            |
| AA2558   | <b>転倒・転落予防から考える患者安全<br/>～あなたがすべきこと、できておきたいこと～</b><br>高瀬 園子 先生 NTT 東日本関東病院 | <b>医療安全</b>                                        |
| AA2558-a | 転倒・転落発生のメカニズムと予防の重要性                                                      | ●転倒・転落のメカニズムと予防の重要性が理解できる                          |
| AA2558-b | 転倒・転落のリスクアセスメント                                                           | ●転倒・転落発生の高リスク患者の特徴が説明でき、リスクアセスメントのポイントが理解できる       |
| AA2558-c | 転倒・転落の要因に対する対策の考え方                                                        | ●転倒・転落予防対策の考え方が理解できる                               |
| AA2558-d | 実例でみる転倒・転落予防対策                                                            | ●実例をとおして、転倒・転落予防対策の実践がわかる                          |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                          | 到達目標                                                                                                                                                      |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AA2559   | <b>輸血の基礎を学んで安全な管理につなげよう</b><br>猪越 ひろむ 先生 千葉大学医学部附属病院                    | <b>医療安全</b> <b>IVナース</b> <b>多職種連携</b>                                                                                                                     |
| AA2559-a | 血液製剤の種類と基礎知識                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●血液製剤の基礎が理解できる</li> <li>●血液製剤の種類・名称と内容がわかる</li> <li>●血液製剤のラベルの見方がわかる</li> </ul>                                    |
| AA2559-b | 輸血前の準備と実施手順                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸血の準備、手順、実施時の観察ポイントが説明できる</li> <li>●血液型検査、交差適合試験（クロスマッチ）時の採血が正しく実施できる</li> <li>●インフォームド・コンセントの内容が理解できる</li> </ul> |
| AA2559-c | 輸血関連有害事象（輸血副作用）対策と輸血前後の観察ポイント                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●主な輸血関連有害事象（副作用）を理解し、発見できる</li> <li>●有害事象（副作用）発生時の対応方法と輸血前後の観察ポイントを理解し、実践できる</li> </ul>                            |
| AA2559-d | 輸血チーム医療の重要性和コミュニケーションのポイント                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸血にかかわる他職種の業務が理解できる</li> <li>●輸血におけるチーム医療の重要性和コミュニケーションのポイントが理解できる</li> </ul>                                     |
| AA2560   | <b>多重課題の波を乗り越なせ<br/>～チームワークを円滑にする整理術・連携術～</b><br>小松 歩 先生 諏訪赤十字病院        | <b>医療安全</b>                                                                                                                                               |
| AA2560-a | 多重課題とは                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多重課題の起こる状況を具体的に1つイメージできる</li> </ul>                                                                               |
| AA2560-b | あなたがとりがちな多重課題発生時の対応                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多重課題発生時に自分がとりがちな対応をイメージすることができる</li> </ul>                                                                        |
| AA2560-c | 多重課題に対応するための方法<br>～優先順位を考えるためのヒント～                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●予測可能な多重課題、予測不可能な多重課題についてそれぞれの対応方法を述べられる</li> <li>●多重課題発生時の優先順位の選択についてその基準や理由が説明できる</li> </ul>                     |
| AA2560-d | チームで多重課題に対応するために必要なこと<br>～コミュニケーションのポイント～                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多重課題発生時のコミュニケーションと日常の関係性づくりの必要性を理解できる</li> </ul>                                                                  |
| AA2561   | <b>看護師資格は一生涯<br/>～未来につながる、きょうの看護をめいっぱい楽しもう～</b><br>大島 敏子 先生 看護職キャリアサポート | <b>テストなし</b> <b>キャリア開発</b>                                                                                                                                |
| AA2561-a | 看護師のキャリアって何？ キャリアについての基礎知識                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護師のキャリアの考え方が理解できる</li> </ul>                                                                                     |
| AA2561-b | 社会人としてのキャリアの描き方                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●職場の一員として働いていくために自分ができることがあげられる</li> </ul>                                                                         |
| AA2561-c | 看護師として働くために自分を大切にしよう                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●息切れしない働き方のためのセルフケアの重要性が理解できる</li> </ul>                                                                           |
| AA2561-d | 未来のためにいまできること                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の思いと向き合い、将来どうなりたいか？を述べるができる</li> </ul>                                                                          |
| AA2562   | <b>いま学び直す看護過程<br/>～知識と経験をつなげよう～</b><br>宮本 千津子 先生 東京医療保健大学               |                                                                                                                                                           |
| AA2562-a | 看護過程とは何か                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護過程の概念と活用の意義について理解できる</li> </ul>                                                                                 |
| AA2562-b | 臨床現場で活用する看護過程                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●理解した看護過程の概念を実際の自分の業務と照らし合わせて、明日からの実践に反映できることを1つ述べられる</li> </ul>                                                   |
| AA2562-c | 看護過程と標準看護計画の活用                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●標準看護計画を活用した個別的な看護過程とそのプロセスが理解できる</li> </ul>                                                                       |
| AA2562-d | 標準看護計画を活用した個別的な看護の展開                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事例をもとに標準看護計画を活用した看護展開方法が理解できる</li> </ul>                                                                          |

新規配信テーマ 継続配信テーマ

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                  | 到達目標                                                            |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 4月開始 | AB2501<br>患者を守る、チームで取り組む急変予防の習慣化<br>～急変予測指標（スコア）の活用と RRS ～<br>佐伯 悦彦 先生 東京医科大学病院 | <b>ジェネリスト</b>                                                   |
|      | AB2501-a<br>院内心停止の現状と課題                                                         | ●院内心停止の発生や患者の予後に関する現状を知り、自部署の課題を1つあげることができる                     |
|      | AB2501-b<br>院内心停止予防のためのシステム                                                     | ●院内迅速対応システム（RRS）の4要素と起動から対応までの基本的な流れについて説明できる                   |
|      | AB2501-c<br>RRS 起動をきわめて予防する急変リスクトリアージ                                           | ●急変の経過と前兆を理解し、NEWS を活用して「何かおかしい」と感じる患者の状態をアセスメントできる             |
|      | AB2501-d<br>生命危機回避のためにつなぐ連携と RRS 起動                                             | ●生命危機回避のための連携と RRS 起動について理解し、患者を救命するために、自部署で取り組む課題を1つあげることができる  |
|      | AB2502<br>地域で暮らす慢性心不全患者を支える<br>～特定行為研修を修了した看護師の実践～<br>岡本 聡一郎 先生 大分大学医学部附属病院     | <b>スペシャリスト</b>                                                  |
|      | AB2502-a<br>心不全パンデミックと地域に暮らす患者たち                                                | ●心不全パンデミックの現状を知り、地域に暮らす心不全患者がどのような困難を抱えているかについて想像できる            |
|      | AB2502-b<br>心不全の病態と治療を「病みの軌跡」から考える                                              | ●心不全特有の「病みの軌跡」を理解し、病態と治療について説明できる                               |
|      | AB2502-c<br>心不全における緩和ケアとは                                                       | ●心不全における緩和ケアについて説明できる                                           |
|      | AB2502-d<br>事例：多職種チームの架け橋になる！<br>～特定行為研修修了後の実際～                                 | ●事例を通じて専門性の高い看護師による心不全患者へのケアを学び、明日から取り組む課題を1つあげることができる          |
| 5月開始 | AB2503<br>病棟看護師が知っておきたい「難病」とは<br>中山 優季 先生   三村 恵美 先生<br>東京都医学総合研究所 / 東京都立神経病院   | <b>スペシャリスト</b>                                                  |
|      | AB2503-a<br>「難病」とは何か<br>～社会的背景から制度まで～                                           | ●難病に関する社会的背景・制度について説明できる                                        |
|      | AB2503-b<br>さまざまな難病と看護の基本を知る                                                    | ●さまざまな難病の症状について、共通性・多様性・個性があることを理解できる<br>●難病看護の基本が理解できる         |
|      | AB2503-c<br>事例：在宅で暮らす難病患者と家族の支援                                                 | ●事例を通じて在宅で暮らす難病患者と家族の支援を知り、自施設における課題を1つあげることができる                |
|      | AB2503-d<br>あなたが「いつも近くにいる」看護師であるために                                             | ●難病患者が看護師に期待することを知り、「いつも近くにいる」看護ケアを実現するために取り組む課題を1つあげることができる    |
|      | AB2504<br>慢性閉塞性肺疾患（COPD）の患者の日常生活をサポートしよう<br>～増悪の予防～<br>長尾 大志 先生 島根大学            | <b>ジェネリスト</b>                                                   |
|      | AB2504-a<br>慢性閉塞性肺疾患（COPD）を改めて知る                                                | ●慢性閉塞性肺疾患（COPD）の病態と症状について、正常な肺機能と比較しながら説明できる                    |
|      | AB2504-b<br>COPD の治療：薬物療法の考え方                                                   | ●COPD の薬物療法について具体的な薬剤名をあげて説明できる                                 |
|      | AB2504-c<br>COPD の治療：増悪が疑われるときは                                                 | ●COPD の増悪時に行われる検査、治療のポイントについて説明できる                              |
|      | AB2504-d<br>1日でも長く QOL を保つためにできるケア                                              | ●禁煙、リハビリテーション、ワクチン接種など、COPD 患者の QOL を保つためにできる薬物療法以外の方法について説明できる |
| 6月開始 | AB2505<br>糖尿病患者のこころとからだを癒やす<br>フットケアの実践<br>伊波 早苗 先生 淡海医療センター                    | <b>ジェネリスト</b>                                                   |
|      | AB2505-a<br>糖尿病患者の「足」が抱える問題                                                     | ●糖尿病に関連するさまざまな合併症の1つとして、足病変が生じる原因とその病態、症状について説明できる              |
|      | AB2505-b<br>フットケアのためのアセスメント<br>～足の状態、全身状態、生活習慣～                                 | ●足の状態、全身状態、生活習慣といった、フットケアを行う前のアセスメントのポイントについて説明できる              |
|      | AB2505-c<br>フットケアの実践<br>～胼胝・鶏眼ケア、爪甲ケア～                                          | ●多様な足病変に対するフットケアのポイントについて説明できる                                  |
|      | AB2505-d<br>患者と家族のセルフマネジメント支援                                                   | ●患者と家族のセルフマネジメント支援の重要性を知り、実践できる                                 |
|      | AB2506<br>重症心身障害児者の安楽を守る<br>ポジショニング・体位変換・拘縮予防のポイント<br>丸森 睦美 先生 前 東京小児療育病院       | <b>小児母性</b>                                                     |
|      | AB2506-a<br>介助の基本と脳性麻痺のタイプ別の介助の違いについて                                           | ●重症心身障害児者の介助の基本、脳性麻痺のタイプ別の介助について理解できる                           |
|      | AB2506-b<br>重症心身障害児者のポジショニングの基本<br>～さまざまなポジショニングの特徴を知ろう～                        | ●それぞれのポジショニングの基本がわかり、説明できる                                      |
|      | AB2506-c<br>重症心身障害児者の体位変換・トランスファーの基本                                            | ●日常生活における体位変換・トランスファーにかかわる介助の基本が説明できる                           |
|      | AB2506-d<br>重症心身障害児者の拘縮を予防するには                                                  | ●重症心身障害児者の拘縮の予防法を1つあげることができる                                    |

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                            | 到達目標                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 7月開始 | AB2507<br>「専門性の高い看護師」をめざすあなたへ贈る<br>キャリアのヒント<br>塚原 大輔 先生 株式会社キュアメド                         | ■ <b>スペシャリスト</b>                                           |
|      | AB2507-a<br>看護師としてキャリアの分かれ道に立っているあなたへ                                                     | ●キャリアおよびキャリア・アンカーとは何かについて知り、自身のスキルと能力、動機、価値観に気づくことができる     |
|      | AB2507-b<br>キャリアの例：<br>認定看護師、専門看護師、特定行為研修を修了したら                                           | ●認定看護師、専門看護師、特定行為研修を修了した看護師の特徴と活動について説明できる                 |
|      | AB2507-c<br>未来を築く選択をするために                                                                 | ●自分に合ったキャリアを描くために考えるべき課題を1つあげることができる                       |
| 7月開始 | AB2508<br>ADLの維持・向上のために看護師ができること<br>～ICFの考え方からバーセルインデックス（BI）まで～<br>武原 格 先生 東京都リハビリテーション病院 | ■ <b>ジェネリスト</b>                                            |
|      | AB2508-a<br>ADLを測る必要性とは                                                                   | ●医療から生活への視点の変化をふまえて、ADL測定の必要性を説明できる                        |
|      | AB2508-b<br>国際生活機能分類（ICF）の考え方<br>～背景因子を含めた共通言語としての役割～                                     | ●国際生活機能分類（ICF）における基本的な考え方と各要素の相互関係について説明できる                |
|      | AB2508-c<br>バーセルインデックス（BI）の活用<br>～ADL測定指標を知り活用する～                                         | ●バーセルインデックス（BI）の測定方法と診療報酬上の活用について説明できる                     |
|      | AB2508-d<br>事例：チームで取り組むADL向上<br>～情報共有と工夫～                                                 | ●事例を通じてADL指標を用いたチームでの取り組みを知り、自施設における課題を1つあげることができる         |
| 8月開始 | AB2509<br>こんな場面で使える！看護師のエコ活用<br>～安全・確実な看護ケアの取り組み～<br>藤井 徹也 先生 豊橋創造大学                      | ■ <b>スペシャリスト</b>                                           |
|      | AB2509-a<br>エコが看護場面で必要な理由と活用                                                              | ●看護場面でエコが必要な理由を1つあげることができる<br>●看護場面におけるエコ活用の利点を1つあげることができる |
|      | AB2509-b<br>エコ活用のためのテクニックの基本                                                              | ●ポケットエコ活用の基本テクニックについて説明できる                                 |
|      | AB2509-c<br>アセスメントへのエコの活用                                                                 | ●アセスメントにおけるエコの活用方法をあげられる                                   |
|      | AB2510<br>妊婦健診のはじめの一步<br>～妊婦さんへの保健指導ができるようになろう～<br>秋山 順子 先生 茨城県立中央病院                      | ■ <b>小児母性</b>                                              |
|      | AB2510-a<br>妊婦の身体的特徴                                                                      | ●妊婦の身体の特徴と妊娠期の生理的变化を理解できる                                  |
|      | AB2510-b<br>妊婦の健康診査                                                                       | ●妊娠中の身体的・心理的・社会的特徴を理解できたうえで、情報収集のポイントが説明できる                |
|      | AB2510-c<br>妊娠中の保健指導の実践                                                                   | ●妊婦への保健指導において、セルフケアやリスク管理について理解したうえで支援できる                  |
|      | AB2510-d<br>妊娠中に起こりやすいトラブルへの予防や援助                                                         | ●妊婦への保健指導において、妊娠中に起こりやすいトラブルと予防法について援助できる                  |
| 9月開始 | AB2511<br>多職種でできる！急性期から在宅までの効果的な口腔<br>ケア～歯科医師・歯科衛生士との協働～<br>白石 愛 先生 熊本リハビリテーション病院         | ■ <b>ジェネリスト</b>                                            |
|      | AB2511-a<br>口腔の健康維持の重要性                                                                   | ●口腔の健康維持の重要性について説明できる                                      |
|      | AB2511-b<br>高齢者の口腔ケアの現状と課題                                                                | ●高齢者の口腔ケアの現状と課題について説明できる                                   |
|      | AB2511-c<br>医科歯科連携で取り組む口腔ケア                                                               | ●医科歯科連携で取り組む口腔ケアをするために看護師としてできることを1つあげることができる              |
|      | AB2511-d<br>事例：多職種で取り組む口腔ケア                                                               | ●事例を通じて多職種による口腔ケアについて知り、明日から取り組む課題を1つあげることができる             |
|      | AB2512<br>家族とともに考える<br>子どものアドバンス・ケア・プランニング<br>紅谷 浩之 先生 医療法人社団 オレンジ                        | ■ <b>小児母性</b>                                              |
|      | AB2512-a<br>医療とともに生きる子どもたちとは                                                              | ●さまざまな疾患を抱えて医療ケアを受けながら生活する子どもたちの現状について説明できる                |
|      | AB2512-b<br>子どものアドバンス・ケア・プランニング（ACP）における<br>課題                                            | ●子どものアドバンス・ケア・プランニングにおける成人との違いと課題について説明できる                 |
|      | AB2512-c<br>子どもと家族の意思決定に寄り添う                                                              | ●子どもと家族の意思決定に寄り添うために看護師としてできることを1つあげることができる                |
|      | AB2512-d<br>チームによる「こどもまんなか」の支援                                                            | ●事例を通じてチームによる「こどもまんなか」の支援について知り、明日から取り組む課題を1つあげることができる     |

 新規配信テーマ
 継続配信テーマ

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                         | 到達目標                                                                     |
|----------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| AB2551   | 指導者としてフィジカルアセスメントを後輩に伝授する<br>～指導をとおして後輩とともに成長しよう～<br>山内 豊明 先生 放送大学大学院  | テストなし                                                                    |
| AB2551-a | フィジカルアセスメントのゴールをどう定めるのか                                                | ●フィジカルアセスメントの目的・ゴールを明確にする意義が理解できる                                        |
| AB2551-b | 情報収集をどう進めさせるのか                                                         | ●情報収集の根本理念が理解できる                                                         |
| AB2551-c | 思考過程をどう育むのか                                                            | ●後輩が思考過程を身につける方法が理解できる                                                   |
| AB2551-d | 後輩へ指導する際の指導者の心構え                                                       | ●後輩へ指導する際の指導者の心構えが理解できる                                                  |
| AB2552   | がん薬物療法の基礎知識<br>～患者の「自分らしい暮らし」を支えるために～<br>坪谷 綾子 先生 昭和大学                 | がん看護                                                                     |
| AB2552-a | がん薬物療法の基礎                                                              | ●がん薬物療法の基礎を理解できる                                                         |
| AB2552-b | 代表的な抗がん薬の特徴：殺細胞性抗がん薬                                                   | ●殺細胞性抗がん薬の特性について最新情報をアップデートできる                                           |
| AB2552-c | 代表的な抗がん薬の特徴：<br>分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬                                    | ●分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬の特性について最新情報をアップデートできる                                |
| AB2552-d | 抗がん薬投与中の管理と生活支援の実際                                                     | ●抗がん薬投与時に注意すべきポイントと、がん薬物療法を受ける患者の生活支援のポイントが理解できる                         |
| AB2553   | 看護師ができる安全・安楽な気道管理<br>～用手的気道管理から気管挿管の介助～<br>高橋 仁 先生 東京ベイ・浦安市川医療センター     |                                                                          |
| AB2553-a | 正常な気道開通と危険な気道徴候の特徴                                                     | ●気道管理の基礎知識を学び、正常な気道開通状態と危険な気道徴候を見極めるポイントを理解して、介助に活かすことができる               |
| AB2553-b | 用手的気道確保の実際                                                             | ●用手的気道確保のポイントが理解できる<br>●体位による気道確保を理解できる<br>●用手的気道確保の基礎知識を学び、介助に活かすことができる |
| AB2553-c | 気道確保補助器具の種類と使用方法                                                       | ●自施設で使用可能な気道確保補助器具の使用方法を理解し、介助に活かすことができる                                 |
| AB2553-d | 気管挿管の適応と介助                                                             | ●気管挿管の適応について説明できる<br>●気管挿管に必要な物品・手順・介助のポイントが説明できる                        |
| AB2554   | 本人主体のアドバンス・ケア・プランニング<br>～患者・家族の意思決定を支援する～<br>鶴若 麻理 先生 聖路加国際大学大学院       |                                                                          |
| AB2554-a | アドバンス・ケア・プランニングの歴史的経緯                                                  | ●アドバンス・ケア・プランニングが注目されるようになった経緯を説明できる                                     |
| AB2554-b | アドバンス・ケア・プランニングの倫理的基盤                                                  | ●アドバンス・ケア・プランニングのポイントとなる本人主体性とその重要性を説明できる                                |
| AB2554-c | よりよく生きるためのアドバンス・ケア・プランニング                                              | ●アドバンス・ケア・プランニングにおける内省・対話の重要性と構成要素について説明できる                              |
| AB2554-d | 患者の意思決定を支援するポイント                                                       | ●患者の意思決定を支援するポイントを説明でき、自施設での実践を考えることができる                                 |
| AB2555   | 狭心症・急性心筋梗塞の患者を守る看護のポイント<br>楠川 翠里 先生 国立循環器病研究センター                       |                                                                          |
| AB2555-a | 急性冠症候群の基礎知識                                                            | ●急性冠症候群の病態生理の基礎を理解できる                                                    |
| AB2555-b | 急性冠症候群の代表的な治療                                                          | ●急性冠症候群の代表的な治療が理解できる                                                     |
| AB2555-c | 急性冠症候群の看護の実際～超急性期・急性期～                                                 | ●急性冠症候群における超急性期・急性期の看護のポイントが理解できる                                        |
| AB2555-d | 急性冠症候群の看護の実際<br>～心臓リハビリテーションと生活指導～                                     | ●心臓リハビリテーション実施時のポイントと、再発防止につながる生活指導のポイントが理解できる                           |
| AB2556   | 母子のすこやかな生活を支える周産期のメンタルサポート<br>～大阪母子医療センターの事例から～<br>光田 信明 先生 大阪母子医療センター |                                                                          |
| AB2556-a | 妊産婦死亡と子ども虐待の実態                                                         | ●妊産婦死亡と子ども虐待の実態が理解できる                                                    |
| AB2556-b | 子ども期における養育環境の重要性                                                       | ●子ども期における養育環境の重要性が理解できる<br>●適切な養育環境の提供に向けた特定妊婦の把握の重要性が理解できる              |
| AB2556-c | 大阪母子医療センター産科におけるメンタルヘルス対応                                              | ●事例をとおして周産期から始まる子育て支援の重要性が理解できる                                          |
| AB2556-d | 大阪母子医療センターにおける支援                                                       | ●産前から産後までの切れ目ないケアを実現するためのポイントが理解できる                                      |
| AB2557   | 患者の状態を理解し、支える脳卒中看護<br>～脳卒中急性期から高次脳機能障害まで～<br>原田 高志 先生 岩国看護学校           |                                                                          |
| AB2557-a | 脳卒中の分類と主な病態                                                            | ●脳卒中の分類と主な病態が理解できる                                                       |
| AB2557-b | 脳梗塞の看護                                                                 | ●脳血栓・脳塞栓における急性期の看護のポイントが理解できる                                            |
| AB2557-c | 脳出血の看護                                                                 | ●脳出血における急性期の看護のポイントが理解できる                                                |
| AB2557-d | 高次脳機能障害患者の看護                                                           | ●セルフケア能力再獲得に向けた支援のポイントが理解できる                                             |
| AB2558   | 美味しく、楽しく食べる！<br>重症心身障害児者の栄養ケア<br>徳光 亜矢 先生 北海道療育園                       |                                                                          |
| AB2558-a | 食べることの意義                                                               | ●食がもたらす影響が理解できる                                                          |
| AB2558-b | 重症心身障害児者と「食べること」                                                       | ●重症心身障害児者によくみられる摂食嚥下障害とその病態について理解できる                                     |
| AB2558-c | 栄養ケアのポイント                                                              | ●重症心身障害児者の栄養ケアのポイントが説明できる                                                |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                    | 到達目標                                        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| AB2559   | 器械出しから始める手術看護<br>～安全・円滑な手術のためにオペナースができること～<br>吉村 美音 先生 東京医科大学病院                   |                                             |
| AB2559-a | 手術室看護師の役割～器械出し看護師～                                                                | ●手術室看護師として、器械出しの役割が理解できる                    |
| AB2559-b | 器械出し看護師が知っておくべき器材・物品準備の心得                                                         | ●器械出し看護師が心得ておくべき器材・物品準備における手順や方法がわかる        |
| AB2559-c | スムーズな手術介助ができる器械出し看護師とは                                                            | ●器械出しにおける医師とのコミュニケーションや術中に先読みするためのポイントがわかる  |
| AB2560   | 慢性腎臓病（CKD）患者の<br>行動変容・意思決定を支える看護<br>～「CKD 診療ガイドライン 2023」を読み解く～<br>柏崎 純子 先生 共立女子大学 |                                             |
| AB2560-a | 慢性腎臓病（CKD）の基礎知識                                                                   | ●慢性腎臓病（CKD）の基礎知識について説明できる                   |
| AB2560-b | 「CKD 診療ガイドライン 2023」改訂のポイント                                                        | ●「CKD 診療ガイドライン 2023」の改訂ポイントが理解できる           |
| AB2560-c | セルフマネジメントに関する患者の困難と看護の実際                                                          | ●セルフマネジメントの促進に向けた看護のポイントが理解できる              |
| AB2560-d | 慢性腎臓病（CKD）患者に対する意思決定支援                                                            | ●慢性腎臓病（CKD）患者に対する意思決定支援のポイントが説明できる          |
| AB2561   | 認知症患者の口腔ケア・食事介助から考える倫理<br>三鬼 達人 先生 藤田医科大学 ばんだね病院                                  | テストなし                                       |
| AB2561-a | 認知症患者の口腔ケア・食事介助における倫理的な問題                                                         | ●認知症患者の口腔ケア・食事介助における倫理的な問題について例をあげることができる   |
| AB2561-b | 認知症患者の口腔ケア・食事介助における倫理的配慮とは                                                        | ●認知症患者の口腔ケア・食事介助における倫理的配慮のあり方が理解できる         |
| AB2561-c | 倫理的感受性を高めた口腔ケア・食事介助の実際                                                            | ●倫理的感受性を高めた口腔ケア・食事介助の実際について、事例を通じて考えることができる |
| AB2561-d | 口腔ケア・食事介助において倫理的感受性を高めるために                                                        | ●口腔ケア・食事介助において倫理的感受性を高めるためのポイントが理解できる       |
| AB2562   | 多職種で取り組む排尿自立に向けたケア<br>丹波 光子 先生 杏林大学医学部付属病院                                        |                                             |
| AB2562-a | 排尿自立支援にまつわる制度と排尿日誌の活用                                                             | ●排尿自立支援に関する制度や排尿日誌の活用について理解できる              |
| AB2562-b | 排尿のメカニズムと下部尿路機能障害の分類                                                              | ●排尿のメカニズムと下部尿路機能障害の分類について説明できる              |
| AB2562-c | 清潔間欠自己導尿の適応                                                                       | ●清潔間欠自己導尿の適応が理解できる                          |
| AB2562-d | 排尿ケアにおけるアセスメント                                                                    | ●排尿ケアにおけるアセスメントが理解できる                       |
| AB2562-e | 排尿ケアにおける行動療法と生活指導                                                                 | ●排尿ケアにおける行動療法と生活指導について理解できる                 |
| AB2563   | 看護師が知っておきたい画像検査の読み解き方<br>山本 憲 先生 京都大学                                             |                                             |
| AB2563-a | 画像検査の基本（目的、違い、看護師の役割など）                                                           | ●画像検査の目的や種類とその違い、看護師の役割について説明できる            |
| AB2563-b | 胸部単純 X 線の基本と読影のポイント                                                               | ●胸部単純 X 線の特徴と見方が理解できる                       |
| AB2563-c | 頭部・胸部・腹部 CT の基本と読影のポイント                                                           | ●頭部・胸部・腹部 CT の特徴と見方がわかる                     |
| AB2563-d | 頭部・脊椎 MRI の基本と読影のポイント                                                             | ●頭部・脊椎 MRI の特徴と見方がわかる                       |

新規配信テーマ 継続配信テーマ

キャリア形成に合わせた学びをサポートし、地域連携を見据えた精神科看護ケアを実践しよう

1テーマ約15分

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                    | 到達目標                                                      |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 4月開始 | AP2501<br>障害のある人にかかわる法律から読み解く精神科看護<br>福岡 透 先生 相州病院                                |                                                           |
|      | AP2501-a<br>精神科看護師として知っておきたい<br>障害のある人にかかわる法律                                     | ●障害のある人にかかわる法律と精神科看護の関連性が理解できる                            |
|      | AP2501-b<br>改正障害者総合支援法にみる精神科看護師の役割                                                | ●障害者総合支援法の改正ポイントより、精神科看護師としての業務でのかわりを1つあげられる              |
|      | AP2501-c<br>障害のある人にかかわる法律から<br>福祉・地域につなげる精神科看護                                    | ●障害のある人にかかわる法律を意識しながら、精神科看護師として当事者を福祉・地域につなげることの重要性が理解できる |
|      | AP2502<br>事故発生：<br>そのとき現場でできること・普段からできること<br>後藤 倭嘉 先生 長崎県島原病院                     | 医療安全                                                      |
|      | AP2502-a<br>精神科特有の事故発生原因                                                          | ●精神科によくみられる事故発生原因には何があるかあげられる                             |
|      | AP2502-b<br>チームで取り組む事故発生時の対応：その場でどうする？                                            | ●事故発生時のチームでの対応についてイメージすることができる                            |
|      | AP2502-c<br>チームで取り組む事故発生後の対応<br>～再発予防と未然に防ぐために～                                   | ●事故発生後のチームでの対応についてイメージすることができる                            |
|      | AP2502-d<br>医療者のメンタルヘルスと心構え                                                       | ●事故発生時の医療者のメンタルヘルスについて理解し、心構えができる                         |
| 5月開始 | AP2503<br>当たり前を見つめ直す身体的拘束・行動制限<br>三宅 美智 先生 国立精神・神経医療研究センター                        |                                                           |
|      | AP2503-a<br>身体的拘束だけじゃない！ 魔のスリーロックとは                                               | ●身体的拘束以外の制限にはどのようなものがあるか理解できる                             |
|      | AP2503-b<br>身体的拘束の弊害とは                                                            | ●身体的拘束による弊害にはどのようなものがあるか1つあげられる                           |
|      | AP2503-c<br>これってトラウマの影響かも？                                                        | ●トラウマインフォームドケアの4つのRのうち、1つを説明することができる                      |
|      | AP2503-d<br>行動制限最小化に向けた考え方と実践                                                     | ●行動制限最小化に向けて、自施設で明日から実践する取り組みを1つあげられる                     |
|      | AP2504<br>限られたリソースでどう行う？<br>精神科における感染制御<br>西川 美千代 先生 高知大学医学部附属病院                  | 感染対策                                                      |
|      | AP2504-a<br>精神科でよくみられる感染経路とは                                                      | ●精神科でよくみられる感染経路について理解し、自施設にあてはめて考えることができる                 |
|      | AP2504-b<br>限られたリソースでの感染対策：ヒューマンリソース編                                             | ●ヒューマンリソースが限られたなかでの感染対策についてイメージすることができる                   |
|      | AP2504-c<br>限られたリソースでの感染対策：施設設備編                                                  | ●施設設備が限られたなかでの感染対策についてイメージすることができる                        |
| 6月開始 | AP2505<br>精神科医療における薬物療法の座標<br>～服薬支援における精神科看護の役割を再設定する～<br>田邊 友也 先生 訪問看護ステーションいしづえ |                                                           |
|      | AP2505-a<br>精神科医療における薬物療法の考え方                                                     | ●精神科医療における薬物療法の考え方について新たな視点を獲得することができる                    |
|      | AP2505-b<br>診療の補助としての服薬支援<br>～医師と患者をつなぐ精神科看護のあり方～                                 | ●薬物療法において看護師が担う支援の観点が理解できる<br>●個々の理由に応じた服薬支援を検討することができる   |
|      | AP2505-c<br>患者の納得につなげる服薬支援とその標準化<br>～飲み忘れ・服薬拒否・オーバードーズ～                           | ●服薬支援マニュアルの重要性が理解できる<br>●臨床場面での事例から、服薬支援の具体をイメージできる       |
|      | AP2506<br>精神科看護師が知っておきたい家族援助の実際<br>則村 良 先生 駒木野病院                                  |                                                           |
|      | AP2506-a<br>当事者家族の困難                                                              | ●当事者家族が抱える困難についてイメージすることができる                              |
|      | AP2506-b<br>当事者家族へのピアサポート                                                         | ●ピアサポートについて理解することができる                                     |
|      | AP2506-c<br>あなたができる当事者家族支援                                                        | ●家族支援について、自分ができることを1つあげられる                                |

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                                | 到達目標                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 7月開始 | <b>AP2507</b><br><b>統合失調症の看護ケアと接し方</b><br>福岡 雅津子 先生 訪問看護ステーション和来こなん                           | 【精神科】 <b>ジェネリスト</b>                                                            |
|      | AP2507-a 統合失調症とは                                                                              | ●統合失調症の基礎知識がわかる                                                                |
|      | AP2507-b 統合失調症に対する看護計画の考え方                                                                    | ●統合失調症の症状をふまえた看護計画立案の考え方がわかる                                                   |
|      | AP2507-c 知っておきたい統合失調症の看護ケア                                                                    | ●統合失調症における観察項目や留意点をふまえた看護ケアを1つあげられる                                            |
|      | AP2507-d 統合失調症のある当事者との接し方                                                                     | ●当事者の『いきづらさ』がわかる<br>●当事者の『いきづらさ』をふまえた接し方がわかる                                   |
|      | <b>AP2508</b><br><b>当事者から精神科看護師への暴力を考える</b><br>武田 慎太郎 先生 いわくら病院                               | 【精神科】 <b>ジェネリスト</b> <b>医療安全</b>                                                |
|      | AP2508-a 精神科看護師への暴力の実態                                                                        | ●当事者から精神科看護師への暴力の実態がわかる                                                        |
|      | AP2508-b 暴力をふるう当事者の心境                                                                         | ●暴力をふるう当事者の心境を学び、暴力につながる因果関係の構築過程を1つあげることができる                                  |
|      | AP2508-c 当事者からの暴力への対応方法                                                                       | ●当事者から暴力を受けた場合の適切な対応方法の選択肢が考えられる                                               |
|      | AP2508-d 当事者の暴力を未然に防ぐ接し方                                                                      | ●当事者からの暴力を未然に防ぐための適切な接し方をイメージできる                                               |
| 8月開始 | <b>AP2509</b><br><b>精神科看護師のための老年期精神障害の看護</b><br>大塚 恒子 先生 仁明会 精神衛生研究所                          | 【精神科】 <b>スペシャリスト</b>                                                           |
|      | AP2509-a 老年期精神障害とは                                                                            | ●老年期精神障害の概念を理解することで、臨床で遭遇する精神症状や認知機能障害を呈した高齢患者のアセスメントができる                      |
|      | AP2509-b 老年期精神障害の看護の実際                                                                        | ●事例をととして、老年期精神障害の病態や症状を理解し、とくに認知症との鑑別ができる                                      |
|      | AP2509-c 精神科病棟に入院する認知症患者の看護～ADL低下を制御し、早期退院を支援～                                                | ●認知症の原因疾患の特性をふまえたケアが提供できる<br>●精神科病棟に入院する認知症患者のADL低下を防ぐために必要な看護がわかる             |
|      | AP2509-d 精神科病棟に入院する認知症患者の身体合併症の看護                                                             | ●精神科病棟に入院する認知症患者の主な身体合併症にかかわる適切な看護の方法がわかる                                      |
|      | <b>AP2510</b><br><b>ナラティブ・アプローチを活用した精神科看護</b><br>岡本 真知子 先生 杜のホスピタル                            | 【精神科】 <b>スペシャリスト</b>                                                           |
|      | AP2510-a 当事者の物語を引き出すのはなぜ難しいのか？                                                                | ●当事者の物語を尊重することの大切さ、聴く側が求める答えを誘導しないで、語り手の思いに沿って聴く重要性がわかる<br>●ナラティブ・アプローチの概要がわかる |
|      | AP2510-b ナラティブ・アプローチで当事者の困りごとを一緒に考える                                                          | ●当事者が感じている問題を外在化し、対話のなかで、当事者（語り手）が納得できる対処方法を当事者主導で導き出す過程が理解できる                 |
|      | AP2510-c 看護ケアにおけるナラティブ・アプローチの有用性                                                              | ●看護ケアに活かせるナラティブ・アプローチの活用方法がわかる                                                 |
|      | AP2510-d 看護師が語るナラティブを活かす                                                                      | ●看護師が語るナラティブの効果がわかることで実践知の蓄積を促し、看護を語り合い、学び合う文化を醸成する意義がわかる                      |
| 9月開始 | <b>AP2511</b><br><b>精神科病棟に求められる地域移行・地域定着に向けた支援～精神科地域包括ケア病棟入院料の算定要件の視点から～</b><br>南方 英夫 先生 栗田病院 | 【精神科】 <b>マネジメント</b> <b>地域包括ケア</b>                                              |
|      | AP2511-a 精神疾患のある当事者の地域移行・地域定着の必要性                                                             | ●精神疾患のある当事者が、社会の一員として受け入れられることの必要性がわかる<br>●当事者のリカバリーを信じて、自己決定を支援する必要性がわかる      |
|      | AP2511-b 地域移行・地域定着における多職種とのかかわり方                                                              | ●精神疾患のある当事者が地域に移行・定着するために、精神科看護師が求められる多職種とのかかわり方がわかる<br>●地域移行・定着のための手段がわかる     |
|      | AP2511-c 在宅医療への移行率向上に必要な精神科看護                                                                 | ●精神科病棟の入院患者の在宅医療への移行率向上に向けた精神科看護師の役割がわかる<br>●得意分野の違う支援者との協働関係の必要性が理解できる        |
|      | AP2511-d 精神科病棟における診療のあり方                                                                      | ●精神科看護師が求められる精神科病棟での診療のあり方がわかる                                                 |
|      | <b>AP2512</b><br><b>精神科病棟におけるチーム医療のあり方</b><br>西 宏隆 先生 東京都立松沢病院                                | 【精神科】 <b>マネジメント</b>                                                            |
|      | AP2512-a 精神科チーム医療の必要性                                                                         | ●精神科におけるチーム医療の必要性が理解できる                                                        |
|      | AP2512-b 精神科チーム医療に求められる包括的視点                                                                  | ●精神科チーム医療に求められる包括的視点を理解できる                                                     |
|      | AP2512-c 精神科チーム医療における精神科看護師の役割                                                                | ●精神科チーム医療における精神科看護師の役割を理解できる                                                   |
|      | AP2512-d 精神科チーム医療で看護師の専門性を発揮するために                                                             | ●精神科チーム医療で看護師の専門性を発揮するために必要な考え方を理解できる                                          |

新規配信テーマ 継続配信テーマ

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                | 到達目標                                                                      |
|----------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| AP2551   | 精神科看護に必要な法律の理解<br>～精神保健福祉法の必要性～<br>望月 聡一郎 先生 人間総合科学大学         |                                                                           |
| AP2551-a | 精神保健福祉法と患者の人権                                                 | ●精神科医療・看護を实践するうえで知っておくべき法令のポイントがわかる<br>●精神保健福祉法のアウトラインと患者の人権への配慮の重要性を理解する |
| AP2551-b | 精神保健福祉法からみる精神科の入院形態                                           | ●精神科医療・看護を实践するうえで知っておくべき法令のポイントがわかる<br>●精神科の入院形態について説明できる                 |
| AP2551-c | 令和 4 年 精神保健福祉法改正のポイント①<br>～令和 5 年 4 月からの施行内容～                 | ●令和 5 年 4 月施行の精神保健福祉法改正の内容を理解する<br>●精神保健福祉法改正による医療機関等の業務への影響を考えられる        |
| AP2551-d | 令和 4 年 精神保健福祉法改正のポイント②<br>～令和 6 年 4 月からの施行内容～                 | ●令和 6 年 4 月施行の精神保健福祉法改正の内容を理解する<br>●精神保健福祉法改正による医療機関等の業務への影響を考えられる        |
| AP2552   | 精神科病棟でのインシデントから学ぶ医療安全<br>大谷 須美子 先生 ハートランドしぎさん                 | <b>医療安全</b>                                                               |
| AP2552-a | 精神科看護の現場に潜在するリスクとは                                            | ●精神科特有の潜在リスクを理解できる                                                        |
| AP2552-b | 精神科のインシデント事例①<br>～不慮の事故、自殺・自傷行為など～                            | ●事例から医療安全対策を考えられる                                                         |
| AP2552-c | 精神科のインシデント事例②～無断離院～                                           | ●事例から無断離院予防のためのしくみづくりや組織的対策について考えられる                                      |
| AP2552-d | 日々の精神科看護におけるリスクマネジメント                                         | ●精神科看護におけるリスク回避のために、日々積み重ねるべき行動がわかる                                       |
| AP2553   | 身体的拘束回避のための基礎知識<br>佐藤 雅美 先生 東京武蔵野病院                           |                                                                           |
| AP2553-a | 身体的拘束の現状と課題                                                   | ●精神科病院における身体的拘束の現状がわかる<br>●日本の隔離・身体的拘束に関する課題がわかる                          |
| AP2553-b | 行動制限最小化をめざす意義                                                 | ●身体的拘束の最小化と虐待防止のための法整備と制度の方向性を理解する<br>●隔離・身体的拘束の弊害について理解する                |
| AP2553-c | 身体的拘束を回避する方法と実践                                               | ●隔離・身体的拘束の基本的な考え方がわかる<br>●隔離・身体的拘束の使用防止のために有効な戦略があることがわかる                 |
| AP2554   | 精神科病棟における感染拡大を<br>最小限にとどめるための対策<br>林 智子 先生 松山記念病院             | <b>感染対策</b>                                                               |
| AP2554-a | なぜ難しい？ 精神科病棟における感染症対策                                         | ●感染症を引き起こす精神科特有の要因について理解し、適切な対策を考えられる                                     |
| AP2554-b | 精神科病棟で感染症が確認された際に求められる対策とは                                    | ●感染症確認後に精神科病棟でとるべき対策について理解できる                                             |
| AP2554-c | 感染症に強い精神科病棟にするために                                             | ●持続可能な対策が講じられている精神科病棟にするために取り組むべき課題がわかる                                   |
| AP2555   | 当事者の思いに寄り添う服薬支援<br>畦地 博子 先生 高知県立大学                            |                                                                           |
| AP2555-a | 服薬指導における精神科看護師のかかわり方                                          | ●当事者が納得し主体的に服薬するための支援がわかる                                                 |
| AP2555-b | 症状の安定をはかる薬物療法                                                 | ●症状の安定をはかる薬物療法の考え方がわかる                                                    |
| AP2555-c | 当事者の安全を守る服薬支援                                                 | ●当事者の安全を守る服薬支援の進め方がわかる                                                    |
| AP2556   | 精神科看護で活かせるコミュニケーション技法<br>～バイオリジカルな視点から～<br>川村 道子 先生 宮崎県立看護大学  |                                                                           |
| AP2556-a | 人間にとってのコミュニケーションの意味                                           | ●人間がなぜ言葉を持ち、コミュニケーションを行う能力を獲得したのかを、人間の創生の歴史より理解する                         |
| AP2556-b | コミュニケーションの構造                                                  | ●コミュニケーションとは、「人間の精神と精神の交通関係が成立すること」であることを理解する                             |
| AP2556-c | コミュニケーションの構造：こころの理論                                           | ●対人関係におけるコミュニケーションで大切な要素である他者を思いやり、共感し、その人の身になって考えるためのこころの理論がわかる          |
| AP2556-d | 状況に応じたふさわしいコミュニケーション                                          | ●有効なコミュニケーションを行うためのバイオリジカルなメカニズムがわかる                                      |
| AP2556-e | 精神科看護におけるコミュニケーションの実践                                         | ●精神科看護におけるコミュニケーションの実践を学び、自身の看護ケアに応用できる                                   |
| AP2557   | リカバリーに向けたストレングスの活用<br>西 宏隆 先生 東京都立松沢病院                        |                                                                           |
| AP2557-a | ストレングスの基礎知識                                                   | ●ストレングスの基礎知識がわかる                                                          |
| AP2557-b | ストレングスを活用した有効なクライシスプランを立てるために アセスメント編                         | ●ストレングスに着目した面接方法やアセスメントがわかる                                               |
| AP2557-c | ストレングスを活用した有効なクライシスプランを立てるために 立案編                             | ●リカバリーに向けてストレングスを活用した有効なクライシスプランを考えられる                                    |
| AP2558   | 精神科看護に取り入れたい認知行動療法<br>～地域で安心して暮らすことをめざす～<br>岡田 佳詠 先生 国際医療福祉大学 |                                                                           |
| AP2558-a | 認知行動療法の概要                                                     | ●認知行動療法の概要がわかる                                                            |
| AP2558-b | 認知行動療法の進め方                                                    | ●認知行動療法の進め方がわかる                                                           |
| AP2558-c | 認知行動療法のアプローチ法                                                 | ●認知行動療法の認知・行動へのアプローチ法がわかる                                                 |
| AP2558-d | 生活支援で実践した認知行動療法の実際                                            | ●地域で安心して暮らすための支援方法の 1 つとして、認知行動療法を活用できる                                   |

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                           | 到達目標                                                                                                                                                             |
|------|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 継続配信 | <b>AP2559</b><br><b>精神科看護における地域包括ケアシステム時代の地域連携</b><br>コレット 美喜 先生 東京武蔵野病院 | <b>地域包括ケア</b>                                                                                                                                                    |
|      | <b>AP2559-a</b><br><b>精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●わが国の精神医療の歴史的背景を知り、精神科病院に入院している患者の現状や退院の傾向がわかる</li> <li>●「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（にも包括）における医療機関の役割がわかる</li> </ul>           |
|      | <b>AP2559-b</b><br><b>地域連携に必要な相互理解</b>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域生活支援にかかわる支援機関の役割と職種がわかる</li> <li>●障害者総合支援法の給付・事業ならびに障害福祉サービスの体系がわかる</li> </ul>                                         |
|      | <b>AP2559-c</b><br><b>意思決定支援とピアサポーター</b>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●意思決定を支援するピアサポーターについてわかる</li> <li>●意思決定を支援するプログラムの例を知り、ピアサポーターとの協働の必要性がわかる</li> </ul>                                     |
|      | <b>AP2559-d</b><br><b>地域における精神医療の役割</b>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●関係者カンファレンスにおいて、地域生活の支援者と協働関係を築くコツがわかる</li> <li>●地域特性を理解した地域づくりにおいて、医療機関が担う役割がわかる</li> </ul>                              |
|      | <b>AP2560</b><br><b>虐待につなげない！ 精神科看護ケアのあり方</b><br>畠山 卓也 先生 高知県立大学         | <b>医療安全</b>                                                                                                                                                      |
|      | <b>AP2560-a</b><br><b>なぜ虐待は起きてしまうのか</b>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日々の看護ケアにおいて、虐待につながる可能性のある要因を見出すことができる</li> </ul>                                                                         |
|      | <b>AP2560-b</b><br><b>虐待防止に向けた体制づくり</b>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●法改正の内容を理解し、虐待防止にかかわる体制づくりのために個人のレベルからできることを考えられる</li> </ul>                                                              |
|      | <b>AP2560-c</b><br><b>虐待の芽を摘む組織文化の醸成</b>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●虐待が起こらない組織文化の醸成のために、どのような取り組みが必要か考えることができる</li> </ul>                                                                    |
|      | <b>AP2561</b><br><b>精神科看護師に求められるうつ病看護の実践力</b><br>岡田 佳詠 先生 国際医療福祉大学       |                                                                                                                                                                  |
|      | <b>AP2561-a</b><br><b>知っておきたいうつ病の病態</b>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●うつ病の基本的な病態がわかる</li> </ul>                                                                                                |
|      | <b>AP2561-b</b><br><b>うつ病における精神状態のアセスメント</b>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●うつ病における精神状態のアセスメントの方法がわかる</li> </ul>                                                                                     |
|      | <b>AP2561-c</b><br><b>知っておくべきうつ病の看護実践ポイント</b>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●うつ病の看護実践のポイントがわかる</li> </ul>                                                                                             |
|      | <b>AP2561-d</b><br><b>うつ病からの退院支援の実践</b>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●うつ病を抱える当事者の退院支援に向けた看護実践に必要な取り組みを1つあげられる</li> </ul>                                                                       |
|      | <b>AP2562</b><br><b>児童・思春期の心理的特徴をふまえた精神科看護</b><br>川野 豊 先生 のぞみ総合心療病院      |                                                                                                                                                                  |
|      | <b>AP2562-a</b><br><b>治療共同体をふまえた精神科看護の考え方</b>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●治療共同体をふまえた精神科看護の考え方が理解できる</li> <li>●精神科医療の歴史を振り返り、看護のあり方について考える</li> <li>●多職種連携、チーム医療について理解できる</li> </ul>                |
|      | <b>AP2562-b</b><br><b>児童・思春期の当事者に対する看護介入の難しさ</b>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●疾患でみるのではなく、児童・思春期の子どもたちが抱えるさまざまな背景を理解し、かかわることができる</li> <li>●児童・思春期の子どもたちに対する看護介入の難しさを理解し、子どもたちの成長に寄り添うかわりができる</li> </ul> |
|      | <b>AP2562-c</b><br><b>児童・思春期の当事者に対する治療環境提供のポイント</b>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童・思春期当事者の安全安心な治療環境の提供につながる看護ケアができる</li> <li>●成長発達段階に応じた治療環境を理解し、適切にかかわることができる</li> </ul>                                |
|      | <b>AP2562-d</b><br><b>児童・思春期の当事者の心理的成長に必要な支援</b>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童・思春期の当事者の心理的成長に必要な支援、多職種によるかかわりを理解できる</li> <li>●事例を通じ、回復過程に必要なかわり、そしてそれを支える治療システムを理解する</li> </ul>                      |

☐ 新規配信テーマ
 ☐ 継続配信テーマ

| コード                  | セッション名・講師・テーマ名                                                                       | 到達目標                                                                                                                            |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年目以上：学習のマインドを身につける  |                                                                                      |                                                                                                                                 |
| 5月開始                 | ALA2501<br>チームの一員になるためのメンバーシップ<br>～「伝える」から「伝わる」コミュニケーションへ～<br>平井 亮 先生 クリケア訪問看護ステーション | キャリア開発 多職種連携                                                                                                                    |
|                      | ALA2501-a<br>「チームの一員になる」ってなんだろう？                                                     | ●チームの力を引き出すためのメンバーの役割がわかる                                                                                                       |
|                      | ALA2501-b<br>あなたにできるメンバーシップ                                                          | ●自部署におけるチームメンバーとしての自分の役割がわかる                                                                                                    |
|                      | ALA2501-c<br>「伝わる」コミュニケーションのコツ：<br>先輩看護師編                                            | ●チームの一員として先輩看護師と行うコミュニケーションのコツがわかる                                                                                              |
|                      | ALA2501-d<br>「伝わる」コミュニケーションのコツ：<br>多職種編                                              | ●チームの一員として多職種と行うコミュニケーションのコツがわかる                                                                                                |
| 6月開始                 | ALA2502<br>自分を傷つけずに成長するセルフコンパッション・<br>セルフフレクションの方法<br>高橋 聖子 先生 折尾愛真高等学校              | キャリア開発                                                                                                                          |
|                      | ALA2502-a<br>自分を傷つけない振り返り方                                                           | ●自分を傷つけない振り返り方がわかる<br>●成長マインドセットが理解できる                                                                                          |
|                      | ALA2502-b<br>「共感」は疲れる                                                                | ●共感疲労とその症状について説明できる<br>●共感疲労の対策を1つ以上見つけることができる                                                                                  |
|                      | ALA2502-c<br>自分らしくストレスとつきあう                                                          | ●自分の心身の状態をモニタリングできる<br>●自分のストレスを説明できる<br>●ストレスとのつきあい方を考えることができる                                                                 |
|                      | ALA2502-d<br>セルフコンパッションを実践する                                                         | ●セルフコンパッションの基本的な考え方と、具体的な実践方法について1つ例をあげて説明できる                                                                                   |
| 継続配信                 | ALA2551<br>明日からプリセプター！ 入門編<br>～どうする？ どうやる？ 役割と心構え～<br>宇野 友美 先生 近江草津徳洲会病院             | テストなし キャリア開発                                                                                                                    |
|                      | ALA2551-a<br>プリセプターに求められる役割                                                          | ●プリセプターに求められる役割について説明できる                                                                                                        |
|                      | ALA2551-b<br>プリセプターに必要なマインド                                                          | ●プリセプターに必要なマインドについて説明でき、明日から取り組む内容を1つ宣言できる                                                                                      |
|                      | ALA2551-c<br>プリセプターに必要なスキル                                                           | ●プリセプターに必要なスキルについて説明でき、明日から取り組む内容を1つ宣言できる                                                                                       |
|                      | ALA2552<br>明日からプリセプター！ 実践編<br>～どうする？ どうやる？ 実際のところ～<br>宇野 友美 先生 近江草津徳洲会病院             | テストなし キャリア開発                                                                                                                    |
|                      | ALA2552-a<br>こんなときどうする？：朝の打ち合わせ                                                      | ●朝の打ち合わせ時に後輩をサポートする必要性がわかる                                                                                                      |
|                      | ALA2552-b<br>こんなときどうする？：<br>初めての看護ケアにチャレンジ！                                          | ●初めての看護ケアにチャレンジする後輩をサポートする内容がわかる                                                                                                |
|                      | ALA2552-c<br>こんなときどうする？：振り返り                                                         | ●次の実践につながる振り返りをイメージすることができる                                                                                                     |
|                      | ALA2553<br>みんなが笑顔になれるアサーションの基本<br>～看護師として働く前に知っておきたいこと～<br>宮下 下リ子 先生 県立広島大学          | キャリア開発                                                                                                                          |
|                      | ALA2553-a<br>みんなが笑顔になれるアサーションの基本<br>～看護師として働く前に知っておきたいこと～                            | ●アドラー心理学とアサーションの基本的な考え方がわかる<br>●3つのコミュニケーションタイプとアサーティブなコミュニケーションのコツがわかる<br>●アサーティブなコミュニケーションをとるために明日から取り組む内容を1つ宣言できる            |
|                      | ALA2554<br>困ったときにも役立つアサーションの実際<br>～多職種・患者・家族との円滑なコミュニケーションをめざす～<br>宮下 下リ子 先生 県立広島大学  | テストなし キャリア開発 多職種連携                                                                                                              |
|                      | ALA2554-a<br>困ったときにも役立つアサーションの実際<br>～多職種・患者・家族との円滑なコミュニケーションをめざす～                    | ●多職種・患者・家族とのコミュニケーションで実際に自分が直面した困りごとを3つ書き出すことができる<br>●アサーションを活用して、場面に応じた適切なコミュニケーションをとるポイントが説明できる<br>●日々のコミュニケーションでアサーションを実践できる |
| 実地指導者以上：教育のスキルを身につける |                                                                                      |                                                                                                                                 |
| 7月開始                 | ALB2501<br>看護学生の学習意欲を引き出す臨地実習のヒント<br>～主体的な参加を促すはたらきかけを考えよう～<br>高橋 聖子 先生 折尾愛真高等学校     | キャリア開発                                                                                                                          |
|                      | ALB2501-a<br>承認欲求を満たすアクノレジメント                                                        | ●アクノレジメントとは何か説明できる<br>●承認ポイントがわかる                                                                                               |
|                      | ALB2501-b<br>臨地実習あるあるから学ぶアクノレジメントと参加を促す言葉かけ                                          | ●看護学生の気持ちを考えることができる<br>●参加を促す言葉かけやかかわり方について考えることができる                                                                            |

| コード                     | セッション名・講師・テーマ名                                                           | 到達目標                                                                                                                                              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月開始                    | ALB2502 ともに成長する！<br>対応に配慮が必要な学習者との向き合い方<br>川上 ちひろ 先生 岐阜大学                | キャリア開発                                                                                                                                            |
|                         | ALB2502-a 神経発達症（発達障害）と合理的配慮                                              | ●神経発達症（発達障害）の特性が理解できる<br>●2024（令和6）年4月の障害者差別解消法（改正）による合理的配慮の提供の義務化について理解できる                                                                       |
|                         | ALB2502-b 学習者の課題・問題をとらえる                                                 | ●看護職に求められるコンピテンシー（能力）に照らし合わせて、学習者の課題・問題を考えることができる<br>●課題・問題をとらえる3軸などを参考に、学習者の課題・問題が説明できる                                                          |
|                         | ALB2502-c 事例：後輩を伸ばす向き合い方                                                 | ●事例を通じて後輩を伸ばす向き合い方を知る<br>●明日から取り組む課題を1つあげることができる                                                                                                  |
|                         | ALB2502-d 事例：先輩が疲弊しない向き合い方                                               | ●事例を通じて先輩が疲弊しない向き合い方を知る<br>●明日から取り組む課題を1つあげることができる                                                                                                |
| 継続配信                    | ALB2551 インストラクショナル・デザイン：知識編<br>三科 志穂 先生 神戸大学医学部附属病院                      | テストなし キャリア開発                                                                                                                                      |
|                         | ALB2551-a 学びの支援のプロセスとは                                                   | ●研修の学びが実践でどのように活かされるのかを説明できるようになる                                                                                                                 |
|                         | ALB2551-b 学習ニーズをとらえる                                                     | ●教えたい（学んでほしい）ことを明確にできる                                                                                                                            |
|                         | ALB2551-c 学習目標・評価・内容の整合を考える：知識編                                          | ●学習目標・内容・評価の整合を検討できるようになる                                                                                                                         |
|                         | ALB2552 インストラクショナル・デザイン：技術・態度編<br>三科 志穂 先生 神戸大学医学部附属病院                   | テストなし キャリア開発                                                                                                                                      |
|                         | ALB2552-a 学習目標・評価・内容の整合を考える：技術編                                          | ●学習目標・内容・評価の整合を検討できるようになる                                                                                                                         |
|                         | ALB2552-b 学習目標・評価・内容の整合を考える：態度編                                          | ●教えたい（学んでほしい）ことを明確にできる<br>●学習目標・内容・評価の整合を検討できるようになる                                                                                               |
|                         | ALB2552-c チャレンジ：研修計画に自分の工夫を取り入れる<br>（ARCSモデルの活用）                         | ●研修計画に「研修と看護実践をつなげる工夫」を取り入れてみる                                                                                                                    |
|                         | ALB2552-d まとめ：研修計画書を書いてみよう                                               | ●研修計画書を書いてみる                                                                                                                                      |
|                         | ALB2553 新人スタッフの個性を活かす学び伝授のコツ<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院                    | キャリア開発                                                                                                                                            |
|                         | ALB2553-a 新人世代の特徴をつかもう                                                   | ●新人世代の特徴について説明できる                                                                                                                                 |
|                         | ALB2553-b リアリティショックを乗り越えるための支援                                           | ●新人スタッフがリアリティショックを乗り越えるために、指導者として行う支援を1つ宣言できる                                                                                                     |
|                         | ALB2553-c 一人ひとりの個性を輝かせる！ 学び伝授のコツ                                         | ●新人スタッフ一人ひとりの個性に合った学習のサポートについて知り、指導者として明日から取り組む行動を1つ宣言できる                                                                                         |
|                         | ALB2554 シミュレーションのいろはを学ぶ<br>～いまどき学習者の伸ばし方～<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院       | テストなし キャリア開発                                                                                                                                      |
|                         | ALB2554-a シミュレーションのいろはを学ぶ<br>～いまどき学習者の伸ばし方～                              | ●シミュレーション教育の概要と、現代の看護師教育において注目される理由について説明できる<br>●さまざまなシミュレーション教育と獲得をめざすスキルについて説明できる<br>●自施設でシミュレーション教育を通じてどのような人材を育成したいか考え、1つあげることができる            |
|                         | ALB2555 これからのティーチング～基礎から実践のコツまで～<br>高橋 平徳 先生 愛媛大学                        | キャリア開発                                                                                                                                            |
|                         | ALB2555-a これからのティーチング<br>～基礎から実践のコツまで～                                   | ●成人教育の考え方について、大人と子どもの学びの違いの観点から説明できる<br>●ティーチングの基本的な考え方とさまざまな技法について説明できる<br>●発問や応答を活用した学びを深めるための工夫について説明できる<br>●明日から活用できるティーチングの技法について1つあげることができる |
|                         | ALB2556 これからのコーチング、ファシリテーション<br>～基礎から実践のコツまで～<br>高橋 平徳 先生 愛媛大学           | キャリア開発                                                                                                                                            |
|                         | ALB2556-a これからのコーチング、ファシリテーション<br>～基礎から実践のコツまで～                          | ●コーチングの基本的な考え方とさまざまな技法について説明できる<br>●ファシリテーションの基本的な考え方とさまざまな技法について説明できる<br>●明日から活用できるコーチング・ファシリテーションの技法について1つあげることができる                             |
| 教育担当者：研修計画をサポートするお役立ち資料 |                                                                          |                                                                                                                                                   |
| 4月開始                    | ALC2501 つくって学ぼう！ 学研研修お助けキット<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院                     | テストなし ワークなし                                                                                                                                       |
|                         | ALC2501-a つくって学ぼう！ 学研研修お助けキット                                            |                                                                                                                                                   |
| 継続配信                    | ALC2599 実践につなげる！ 効果的な研修のヒント<br>～サポート便利コラムアーカイブ～<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院 | テストなし ワークなし キャリア開発                                                                                                                                |
|                         | ALC2599-a 実践につなげる！ 効果的な研修のヒント<br>～サポート便利コラムアーカイブ～                        |                                                                                                                                                   |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

NEXT管理職に求められるマネジメントのヒントがここにある

1テーマ約15分

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                             | 到達目標                                                                                                                                         |
|------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月開始 | AC2501 <u>ダイバーシティを活かす組織のつくり方</u><br>高田 誠 先生 株式会社オーセンティックス                  | キャリア開発                                                                                                                                       |
|      | AC2501-a ダイバーシティとは                                                         | ●組織マネジメントにおけるダイバーシティの概念を理解する<br>●自身と自身のチームの現状をとらえ、必要なアクションを考える                                                                               |
|      | AC2501-b ダイバーシティの問題と価値                                                     | ●ダイバーシティがなぜ問題になるのかを理解する<br>●ダイバーシティが組織にとってなぜ大切なのかを理解する<br>●自身と自身のチームの現状をとらえ、必要なアクションを考える                                                     |
|      | AC2501-c ダイバーシティを活かす管理者へのみち                                                | ●ダイバーシティを活かす人材になるためには、どのような力をつける必要があるかを理解する<br>●自身と自身のチームの現状をとらえ、必要なアクションを考える                                                                |
|      | AC2501-d ダイバーシティを活かすチームとは                                                  | ●ダイバーシティを活かすチームは、何ができるチームかを理解する<br>●自身と自身のチームの現状をとらえ、必要なアクションを考える                                                                            |
| 6月開始 | AC2502 <u>看護補助者の確保と育成～多様なスタッフがチームの一員として活躍するために～</u><br>中村 真寿美 先生 金沢医科大学病院  | キャリア開発 多種連携                                                                                                                                  |
|      | AC2502-a 看護補助者を取り巻く環境の変化                                                   | ●現在の看護補助者に求められる役割と、適切な配置の必要性について理解できる                                                                                                        |
|      | AC2502-b 多様な人材を活かす看護補助者の人事システム                                             | ●看護補助者の能力を活かす教育と評価制度について、人事システムの観点から考えることができる                                                                                                |
|      | AC2502-c 看護補助者の育成・定着に向けた環境づくり                                              | ●看護補助者が最大限に力を発揮できる環境づくり（やりがい、労務管理、職場環境）について、自施設でできることをあげられる                                                                                  |
|      | AC2502-d 多様な人材を活かす看護補助者確保の取り組み                                             | ●看護補助者確保の取り組みについて、ダイバーシティの観点からヒントを得ることができる                                                                                                   |
| 7月開始 | AC2503 <u>リーダー・ファーストステップ！～メンバーの力を引き出すリーダーになる～</u><br>鎌田 桃子 先生 市立青梅総合医療センター | キャリア開発                                                                                                                                       |
|      | AC2503-a 自分がリーダーに！？～役割と心構え～                                                | ●組織における自分の立ち位置と役割を理解し、リーダーとしての心構えができる                                                                                                        |
|      | AC2503-b ちょっとした工夫で変わる！<br>伝わるコミュニケーション術                                    | ●チームメンバーに伝わるコミュニケーション方法を意識し、明日から実践することを1つあげられる                                                                                               |
|      | AC2503-c 実践！イレギュラーにも強くなるリーダー―問―答                                           | ●リーダーとしての業務とイレギュラー時の対応方法についてイメージすることができる                                                                                                     |
|      | AC2503-d これからどんなリーダーになろう？<br>～いちばん身近なサポーターとして～                             | ●部署の目標やチームの目標を理解し、これからどのようなリーダーになるかイメージすることができる                                                                                              |
| 8月開始 | AC2504 <u>主任のトリセツ～NEXT 管理職を育てる～</u><br>山元 恵子 先生 富山福祉短期大学                   | キャリア開発                                                                                                                                       |
|      | AC2504-a トリセツその壱：主任世代を理解する                                                 | ●Y世代、Z世代の考え方やコミュニケーションの特徴について理解できる                                                                                                           |
|      | AC2504-b トリセツその弐：主任の役割とは                                                   | ●自施設において主任に求められる役割を説明できる                                                                                                                     |
|      | AC2504-c トリセツその参：主任が輝く環境とは                                                 | ●自施設において主任がいま以上に力を発揮するための方策をあげられる                                                                                                            |
|      | AC2504-d トリセツその肆：あこがれの管理者になるには                                             | ●主任のロールモデルとしての自らの役割を言語化できる                                                                                                                   |
| 9月開始 | AC2505 <u>現場で鍛える政策提言力</u><br>福井 トシ子 先生 国際医療福祉大学大学院                         | キャリア開発                                                                                                                                       |
|      | AC2505-a 自分ごと・みんなごととしての制度・政策と看護                                            | ●これまでの看護政策の変遷を理解し、政策提言が自分とどのように関わってくるのか理解できる                                                                                                 |
|      | AC2505-b 政策実現のプロセス                                                         | ●政策提言の流れを理解し、政策実現に必要なプロセスが説明できる                                                                                                              |
|      | AC2505-c 政策提言のためのデータの取り扱い<br>～日々の臨床実践をエビデンスにする～                            | ●政策提言のエビデンスとしての量的データ・質的データについて説明できる                                                                                                          |
|      | AC2505-d 看護職の処遇改善に関する政策提言                                                  | ●事例をとおして、政策提言のプロセスが具体的にイメージできる                                                                                                               |
| 継続配信 | AC2551 <u>管理者としてこれだけは知っておきたい労務管理入門</u><br>熊谷 雅美 先生 康心会汐見台病院                | キャリア開発                                                                                                                                       |
|      | AC2551-a 看護にかかわる労働関係法令                                                     | ●現在の日本の労働関係法令のうち、看護業務にかかわるものがあげられる<br>●労働基準法：時間外労働（月 45 時間、年 360 時間）<br>●労働時間等設定改善法：勤務間インターバル制度の普及促進<br>●労働時間等設定改善法指針<br>●看護師等の人材確保の促進に関する法律 |
|      | AC2551-b 看護にかかわる労務管理に関する業務                                                 | ●看護管理者が行う労務管理について説明できる<br>●看護はサービスです！<br>●どうやって行う？労務管理の実際<br>●その時間、労働時間が自己研鑽か                                                                |
|      | AC2551-c 看護の現場にありがちな労務管理における困りごと                                           | ●看護部の労務の問題点を知り、自施設の課題をあげられる<br>●安全な職場：『ハラスメント』について理解する<br>●業務の効率化：『タスクシフト』<br>●持続可能な働き方                                                      |
|      | AC2551-d 働きやすい組織をつくるためのマネジメントのポイント                                         | ●自施設を健康で安全な職場とするために明日からできることを1つあげられる<br>●心理的安全性の高い組織づくり<br>●大人の学びを支援する                                                                       |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                                  | 到達目標                                                                                                                                                                      |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AC2552   | コンピテンシー・モデルを用いた人材の評価と育成<br>～行動し、成長する組織へ～<br>武村 雪絵 先生 東京大学医学部附属病院                                | キャリア開発                                                                                                                                                                    |
| AC2552-a | 看護管理におけるコンピテンシーの考え方                                                                             | ●コンピテンシーとは何か説明できる<br>●コンピテンシーにより何が実現できるのかを説明できる                                                                                                                           |
| AC2552-b | 看護管理者のコンピテンシー・モデル①                                                                              | ●コンピテンシー・モデルを用いた評価の意義について説明できる<br>●看護管理者のコンピテンシー・モデル（東大コンピテンシー・モデル）における、領域 1 および 2 について説明できる                                                                              |
| AC2552-c | 看護管理者のコンピテンシー・モデル②                                                                              | ●看護管理者のコンピテンシー・モデル（東大コンピテンシー・モデル）における、領域 3、4 および 5 について説明できる                                                                                                              |
| AC2552-d | コンピテンシー・モデルを用いた評価の実際                                                                            | ●コンピテンシー評価をとおした 3 つのリフレクションについて説明できる                                                                                                                                      |
| AC2553   | 看護マネジメントの視点から考える<br>専門性の高い看護師の活かし方<br>西宮 岳 先生 千葉大学医学部附属病院                                       | キャリア開発                                                                                                                                                                    |
| AC2553-a | 現在の医療を取り巻く状況における<br>専門性の高い看護師とは                                                                 | ●現在の日本の医療における専門性の高い看護師の重要性について認識できる                                                                                                                                       |
| AC2553-b | 専門性の高い看護師の特徴と活躍の場                                                                               | ●専門性の高い看護師が活躍するための場の提供について、自施設を振り返りながら考えることができる                                                                                                                           |
| AC2553-c | 専門性の高い看護師の組織における<br>位置づけの考え方                                                                    | ●組織の課題から専門性の高い看護師の活用を考えることができる                                                                                                                                            |
| AC2553-d | 専門性の高い看護師を活かす<br>組織をつくるための支援                                                                    | ●強い組織をつくるために看護管理者ができる、専門性の高い看護師に対する継続的な支援をあげられる                                                                                                                           |
| AC2554   | 看護管理者から始めるレジリエンス<br>～管理者ならではの困難を乗り越える～<br>佐久間 あゆみ 先生 東京都済生会向島病院                                 | テストなし キャリア開発                                                                                                                                                              |
| AC2554-a | 看護管理業務における困難                                                                                    | ●看護管理者に特有の「困難」や「つまずき」を理解し心構えができる                                                                                                                                          |
| AC2554-b | 看護管理者に求められるレジリエンスとは                                                                             | ●看護管理者がなぜレジリエントである必要があるのか、自分の言葉で説明できる                                                                                                                                     |
| AC2554-c | 組織において発揮される看護管理者のレジリエンス                                                                         | ●組織づくりに関する看護管理者のレジリエンスの重要性が理解できる                                                                                                                                          |
| AC2554-d | 事例で学ぶ看護管理者サバイバルガイド                                                                              | ●看護管理者がスタッフのレジリエンスへ与える影響について説明できる                                                                                                                                         |
| AC2555   | 地域医療を支える中堅看護師の育成<br>～クリニカルラダー・人事交流をとおした<br>キャリア形成支援～<br>秋山 智弥 先生 名古屋大学医学部附属病院                   | キャリア開発 地域包括ケア                                                                                                                                                             |
| AC2555-a | これからの中堅看護師に求められること                                                                              | ●現在の看護に求められている機能のなかで、中堅看護師に期待する役割（や能力）について理解できる                                                                                                                           |
| AC2555-b | クリニカルラダーを用いた<br>中堅看護師のキャリア支援                                                                    | ●クリニカルラダーを活用した自施設での中堅看護師育成について検討できる                                                                                                                                       |
| AC2555-c | 地域における人事交流をとおした<br>中堅看護師のキャリア支援                                                                 | ●地域の人事交流プログラムをとおしたキャリア形成支援モデルについて学び、自分たちがめざす中堅看護師のキャリア開発について述べられる                                                                                                         |
| AC2555-d | 中堅看護師のモチベーションマネジメント                                                                             | ●看護管理者として明日からできる中堅看護師のモチベーションアップの方策を 1 つあげられる                                                                                                                             |
| AC2556   | チームで成果を上げる目標管理<br>～目標管理シートの考え方と書き方～<br>山元 恵子 先生   高田 誠 先生<br>東京都看護協会 / 株式会社オーセンティックス            | キャリア開発                                                                                                                                                                    |
| AC2556-a | チームで成果を上げる目標管理<br>～目標管理シートの考え方と書き方～                                                             | ●組織における目標管理の目的と価値が理解できる<br>●管理者が問題意識をもち、目標項目として考えるべきことを理解できている<br>●自身とチームが成果を上げる目標の書き方が理解できている<br>●目標を達成する方法のアイデア出しプロセスが理解できている<br>●目標管理シートの内容を成果につなげるための実務上のポイントが理解できている |
| AC2557   | 目標管理の中間評価<br>～成果を上げる評価方法とコミュニケーション～<br>山元 恵子 先生   高田 誠 先生<br>富山福祉短期大学 / 株式会社オーセンティックス           | キャリア開発                                                                                                                                                                    |
| AC2557-a | 目標管理の中間評価<br>～成果を上げる評価方法とコミュニケーション～                                                             | ●目標管理における中間評価の意義と目的を理解し説明できる<br>●年間目標の達成のために中間評価を活かす考え方を理解し、見直しと計画ができる<br>●中間面談においてスタッフのモチベーションを高めるコミュニケーションのポイントを理解し、コミュニケーションの準備ができる                                    |
| AC2558   | 目標管理の期末評価<br>～成果を上げる評価方法と<br>モチベーションを高める最終面談～<br>山元 恵子 先生   高田 誠 先生<br>富山福祉短期大学 / 株式会社オーセンティックス | キャリア開発                                                                                                                                                                    |
| AC2558-a | 目標管理における期末評価の意義と目的                                                                              | ●目標管理における期末評価の意義と目的を理解し、説明できる                                                                                                                                             |
| AC2558-b | 期末評価で何をどう評価するのか                                                                                 | ●的確な期末評価を行うためのポイントが理解できる                                                                                                                                                  |
| AC2558-c | 成果を上げる面談のポイント                                                                                   | ●最終面談においてスタッフのモチベーションを高めるコミュニケーションのポイントが理解できる                                                                                                                             |
| AC2558-d | 期末評価を次年度の目標につなげる                                                                                | ●組織の成果を上げるために期末評価の結果を活用するポイントが理解できる                                                                                                                                       |

# 看護補助者関連コース

制作協力  
日本赤十字社医療センター

看護補助者加算・  
看護補助体制充実加算に対応！

全テーマ通年配信

リニューアル

豊富な動画で看護補助業務に必要な知識を学び、業務マニュアルも活用して自施設の求める看護補助者をサポート

1テーマ約10分

## 「看護補助者関連 外国語版コース」オプションが好評配信中

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                          | 到達目標                                                                           |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| BAA2501   | 医療制度の概要および病院の機能と組織の理解<br>渡邊 美香 先生 日本赤十字社医療センター                          | ワークなし                                                                          |
| BAA2501-a | 日本の医療の現状および医療機関の機能と役割                                                   | ●日本の医療の現状と問題について理解する ●自分の働く医療機関の機能がわかる                                         |
| BAA2501-b | 日本の医療制度と今後の課題                                                           | ●日本の医療の制度と今後の課題について理解する                                                        |
| BAA2501-c | チーム医療推進と看護補助者との協働推進                                                     | ●自分の働く組織のしくみがわかる ●チーム医療における看護の役割を把握する<br>●チームの一員としての看護補助者の役割と看護師との協働推進について理解する |
| BAA2502   | チームの一員としての看護補助業務の理解<br>～業務範囲と役割、夜勤業務、ほう・れん・そう～<br>渡邊 美香 先生 日本赤十字社医療センター | ワークなし                                                                          |
| BAA2502-a | 医療チームの機能と役割                                                             | ●医療チームの機能と役割がわかる                                                               |
| BAA2502-b | 看護補助者の業務について                                                            | ●看護補助者の業務がわかる ●看護補助者の業務範囲と実施についてわかる                                            |
| BAA2502-c | 夜勤業務の内容と<br>報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）について                                      | ●夜勤業務の内容がわかる<br>●報告・連絡・相談について理解する<br>●他職種との連携について理解する                          |
| BAA2503   | 守秘義務、個人情報保護の基礎知識<br>金子 まなぶ 先生 日本赤十字社医療センター                              | ワークなし                                                                          |
| BAA2503-a | 守秘義務について                                                                | ●守秘義務とは何かがわかる                                                                  |
| BAA2503-b | 個人情報とは                                                                  | ●個人情報とは何かがわかる                                                                  |
| BAA2503-c | 個人情報の保護について                                                             | ●個人情報の保護の方法がわかる                                                                |
| BAA2504   | 労働安全衛生の基本的知識<br>渡辺 美奈 先生 前 日本赤十字社医療センター                                 | ワークなし                                                                          |
| BAA2504-a | 安全衛生とは～業務のなかで起こり得る事故や疾病～                                                | ●安全に働くための基本的な知識がわかる                                                            |
| BAA2504-b | 事故や疾病の具体例と予防策および健康管理                                                    | ●業務に関連して発生するおそれのある事故や疾病について理解し、その予防ができる                                        |
| BAA2505   | 接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～<br>金子 まなぶ 先生 日本赤十字社医療センター                       | ワークなし                                                                          |
| BAA2505-a | 接遇・マナーとは                                                                | ●接遇の基本がわかる ●医療従事者に求められるマナーの基本がわかる                                              |
| BAA2505-b | 身だしなみの基本                                                                | ●医療従事者に求められる身だしなみの基本がわかる                                                       |
| BAA2505-c | 医療現場での接遇・マナーの実際                                                         | ●接遇・マナーの実際がわかる                                                                 |
| BAA2506   | 倫理の基本～医療機関において求められる倫理的な行動～<br>元田 敦子 先生 日本赤十字社医療センター                     | ワークなし                                                                          |
| BAA2506-a | 倫理とは                                                                    | ●医療現場で求められる倫理について知り、患者の尊厳や安全を守ることを考えられる                                        |
| BAA2506-b | 医療機関で求められる倫理的な視点                                                        | ●医療機関で求められる倫理的な視点と倫理的な行動のために留意する事柄がわかる                                         |
| BAA2506-c | 援助者として望ましくないケア                                                          | ●援助者として望ましくないケアが理解できる                                                          |
| BAA2507   | 環境整備～ベッドメイキング、リネン交換など～<br>田中 絢子 先生 日本赤十字社医療センター                         | ワークなし                                                                          |
| BAA2507-a | 入院・療養生活における日常の環境整備                                                      | ●安全で快適な入院・療養生活のための環境整備ができる                                                     |
| BAA2507-b | ベッドメイキング・リネン交換の実際                                                       | ●臥床患者のベッドメイキング・リネン交換の方法がわかる                                                    |
| BAA2508   | 入浴のお世話<br>北川 千夏子 先生 日本赤十字社医療センター                                        | ワークなし                                                                          |
| BAA2508-a | 入浴とは                                                                    | ●入浴の効果がわかる ●入浴の目的がわかる                                                          |
| BAA2508-b | 入浴介助のポイントと注意点                                                           | ●入浴介助のポイントがわかる ●入浴介助の注意点がわかる                                                   |
| BAA2508-c | 入浴介助の手順                                                                 | ●入浴介助の準備ができる ●入浴介助の手順がわかる                                                      |
| BAA2509   | 清潔のお世話～清拭、洗髪～<br>藤田 好美 先生 日本赤十字社医療センター                                  | ワークなし                                                                          |
| BAA2509-a | 清潔ケアの目的と種類                                                              | ●清潔ケアの目的がわかる                                                                   |
| BAA2509-b | 清潔ケアの方法：清拭・陰部洗浄の介助                                                      | ●清拭・陰部洗浄の介助の方法・注意点がわかる                                                         |
| BAA2509-c | 清潔ケアの方法：洗髪の介助                                                           | ●洗髪の介助の方法・注意点がわかる                                                              |
| BAA2510   | 排泄のお世話～排尿・排便のお世話、おむつ交換など～<br>川崎 充 先生 日本赤十字社医療センター                       | ワークなし                                                                          |
| BAA2510-a | 排泄ケアの目的と感染対策                                                            | ●排泄ケアの目的がわかる ●感染対策の方法と必要性がわかる                                                  |
| BAA2510-b | 排尿・排便ケアの方法と必要物品                                                         | ●適切な排尿・排便ケアの方法がわかる<br>●排尿・排便ケアに必要な物品がわかる<br>●床上排泄を行う患者の心情に配慮することができる           |
| BAA2510-c | おむつ交換の方法と必要物品                                                           | ●おむつ交換に用いる物品がわかる<br>●おむつの正しい装着方法がわかる<br>●おむつ交換を受ける患者の心情に配慮した介助ができる             |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                             | 到達目標                                                                                     |
|-----------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| BAA2511   | 食事のお世話～食事介助の基本～<br>暮松 咲 先生 日本赤十字社医療センター                    | ワークなし                                                                                    |
| BAA2511-a | 食事につながる基礎知識                                                | ●食事の基礎知識を理解できる                                                                           |
| BAA2511-b | 食事介助の基本                                                    | ●食事介助の基本的な方法がわかる                                                                         |
| BAA2511-c | 誤嚥や窒息を予防するための注意点                                           | ●誤嚥や窒息予防のための注意点がわかる                                                                      |
| BAA2512   | 洗面、整容のお世話～顔を拭く、身だしなみを整えるお手伝い～<br>中澤 清香 先生 日本赤十字社医療センター     | ワークなし                                                                                    |
| BAA2512-a | 洗面、整容のお世話とは                                                | ●洗面、整容のお世話の目的がわかる                                                                        |
| BAA2512-b | 洗面：顔を拭く                                                    | ●洗面に必要な物品がわかる ●洗面（顔を拭く）の方法がわかる                                                           |
| BAA2512-c | 整容：身だしなみを整える～ひげ剃りの介助・髪をとかす～                                | ●ひげ剃りのお世話の方法がわかる ●髪をとかすお世話の方法がわかる                                                        |
| BAA2513   | 口腔ケア<br>水澤 諒子 先生 日本赤十字社医療センター                              | ワークなし                                                                                    |
| BAA2513-a | 口腔ケアの意義                                                    | ●口腔ケアのもたらす効果がわかる                                                                         |
| BAA2513-b | 口腔内の観察と口腔ケアの手順                                             | ●口腔内の観察ポイントと、口腔ケアの手順がわかる                                                                 |
| BAA2513-c | 口腔ケアの実際                                                    | ●口腔ケアの実際をととして、ケアのポイントや注意点がわかる                                                            |
| BAA2514   | 移動のお世話～歩行、車椅子、ストレッチャー、スライディングボード～<br>鶴岡 佑太 先生 日本赤十字社医療センター | ワークなし                                                                                    |
| BAA2514-a | 移送用具の種類、正しい使用方法                                            | ●杖の種類、正しい使用方法がわかる<br>●車椅子の正しい使用方法がわかる<br>●スライディングボードの正しい使用方法がわかる<br>●ストレッチャーの正しい使用方法がわかる |
| BAA2514-b | 安全・安心・安楽な移送方法                                              | ●安全・安心・安楽な移送方法がわかる                                                                       |
| BAA2515   | 診療にかかわる補助業務の基本<br>中田 由紀 先生 日本赤十字社医療センター                    | ワークなし                                                                                    |
| BAA2515-a | 診療にかかわる補助業務                                                | ●診療にかかわる補助業務の目的がわかる ●補助業務を実施する際に必要なポイントがわかる                                              |
| BAA2515-b | 物品の準備と片づけ、検体の搬送                                            | ●診療業務の準備ができる<br>●使用済み物品を正しく安全に片づけることができる<br>●検体を適切に取り扱うことができる                            |
| BAA2515-c | 入退院や転入、転出の準備と介助                                            | ●安全に補助業務を実施するためのポイントがわかる ●患者にかかわる際の注意事項がわかる                                              |
| BAA2516   | 医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に～<br>池田 美里 先生 日本赤十字社医療センター           | ワークなし 医療安全                                                                               |
| BAA2516-a | 医療安全の基礎知識                                                  | ●患者の安全を守るために必要な知識を学び、基本的な心構えができる                                                         |
| BAA2516-b | 患者誤認を防止するための基本                                             | ●患者誤認の防止対策を学び、事故防止につなげるための注意点がわかる                                                        |
| BAA2516-c | 事故発生時の対応                                                   | ●事故発生時に行動すべき対応がわかる                                                                       |
| BAA2517   | 感染予防～手指衛生、標準予防策など～<br>土屋 圭祐 先生 日本赤十字社医療センター                | ワークなし                                                                                    |
| BAA2517-a | 感染とは～標準予防策（スタンダードプリコーション）～                                 | ●感染対策に必要な知識と技術がわかる                                                                       |
| BAA2517-b | 感染経路別予防策とは                                                 | ●標準予防策と感染経路別予防策について正しい知識を得ることができる                                                        |
| BAA2517-c | 職業感染対策とは                                                   | ●職業感染対策、とくに廃棄物の扱いについて理解することができる                                                          |
| BAA2518   | 認知症患者の対応<br>甲斐 真沙実 先生 日本赤十字社医療センター                         | ワークなし                                                                                    |
| BAA2518-a | 認知症の特徴とかわり方                                                | ●認知症の特徴と症状がわかる                                                                           |
| BAA2518-b | 認知症患者の心理                                                   | ●認知症患者の心理状態の特徴がわかる ●認知症患者の体験している世界がわかる                                                   |
| BAA2518-c | 認知症患者に対する対応                                                | ●認知症患者とのコミュニケーションの基本がわかる ●認知症患者とのかかわり方がわかる                                               |
| BAA2519   | 療養生活上の世話にかかわる業務マニュアル<br>看護補助者研修業務マニュアル作成委員会                | テストなし ワークなし                                                                              |
| BAA2519-a | 療養生活上の世話にかかわる業務マニュアル                                       |                                                                                          |
| BAA2520   | 看護補助者が知っておきたい実践医療用語<br>看護補助者研修実践医療用語集作成委員会                 | ワークなし                                                                                    |
| BAA2520-a | 体位、患者の症状・状態、治療・処置に関する用語                                    |                                                                                          |
| BAA2520-b | 医療器材・機器、中央材料室に関する用語                                        |                                                                                          |
| BAA2520-c | 医療現場でよく使われる用語～多職種連携、身体の部位の名称など～                            |                                                                                          |
| BAA2520-d | 動画で学ぶ車椅子各部の名称と使用前の主な留意点                                    |                                                                                          |

 新規配信テーマ
 継続配信テーマ

| コード              | セッション名・講師・テーマ名                                                                | 到達目標                                                        |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 看護職向け<br>(師長等以外) | <b>BAB2501</b><br>看護職と看護補助者との協働推進の背景<br>池田 美里 先生 日本赤十字社医療センター                 |                                                             |
|                  | BAB2501-a 国の施策について                                                            | ●国の施策を学び、看護補助者との協働の背景と必要性がわかる                               |
|                  | BAB2501-b 医療の動向について                                                           | ●医療の動向を学び、看護補助者との協働の背景と必要性がわかる                              |
|                  | BAB2501-c タスク・シフト / シェアについて                                                   | ●タスク・シフト / シェアについて学び、看護補助者との協働の背景と必要性がわかる                   |
|                  | <b>BAB2502</b><br>看護補助者の位置づけ<br>池田 美里 先生 日本赤十字社医療センター                         |                                                             |
|                  | BAB2502-a 看護補助者の制度的な位置づけについて                                                  | ●看護補助者の制度的な位置づけがわかる                                         |
|                  | BAB2502-b 告示・通知などで規定されている業務について                                               | ●告示・通知などで規定されている看護補助者の業務がわかる                                |
|                  | BAB2502-c 看護補助者との協働の背景および教育・研修内容について                                          | ●看護補助者の教育・研修内容とその必要性がわかる                                    |
|                  | <b>BAB2503</b><br>看護補助者との協働における看護業務の基本的な考え方<br>柿沼 裕子 先生 日本赤十字社医療センター          |                                                             |
|                  | BAB2503-a 看護職の看護チームにおける役割と責任                                                  | ●看護職と看護補助者それぞれの役割と責任がわかる                                    |
|                  | BAB2503-b 看護補助者との協働における業務内容とその範囲                                              | ●看護補助者との協働における基本的な考え方がわかる                                   |
|                  | BAB2503-c 情報共有の重要性について                                                        | ●情報共有の重要性がわかる                                               |
|                  | <b>BAB2504</b><br>看護補助者との協働における業務実施体制<br>田中 恵美 先生 日本赤十字社医療センター                |                                                             |
|                  | BAB2504-a 看護補助者の業務内容および業務範囲とは                                                 | ●看護補助者の業務内容および業務範囲がわかる                                      |
|                  | BAB2504-b 指示の規定の整備について                                                        | ●看護補助者との協働に必要な看護について、指示の規定の整備の重要性や内容が理解できる                  |
|                  | BAB2504-c 業務の標準化について                                                          | ●看護補助者との協働に必要な看護について、効果的かつ効率的に提供するための業務の標準化における重要性や内容が理解できる |
|                  | <b>BAB2505</b><br>看護師による看護補助者への指示について<br>田中 恵美 先生 日本赤十字社医療センター                |                                                             |
|                  | BAB2505-a 看護補助者への指示責任と指示内容の特徴について                                             | ●看護補助者へ業務指示を行う指示責任と指示内容の特徴についてわかる                           |
|                  | BAB2505-b 指示を出した業務の確認と評価について                                                  | ●看護補助者に指示した業務について適切な確認と評価ができる                               |
|                  | BAB2505-c 指示と実施に関する記録について                                                     | ●看護補助者への適切な指示とその実施に関する記録が適切にできる                             |
|                  | <b>BAB2506</b><br>知っておきたい<br>看護補助者へ適切な業務指示を行うための留意事項<br>柿沼 裕子 先生 日本赤十字社医療センター |                                                             |
|                  | BAB2506-a 看護補助者の能力および業務範囲をふまえた判断とは                                            | ●看護補助者の能力および業務範囲をふまえた判断ができる                                 |
|                  | BAB2506-b 看護補助者への適切な指示と指導を行う責任について                                            | ●看護補助者に適切な指示を出す際の留意事項がわかる                                   |
|                  | <b>BAB2507</b><br>看護補助者と協働するための<br>情報共有とコミュニケーション<br>加藤 ひろみ 先生 日本赤十字社医療センター   |                                                             |
|                  | BAB2507-a 看護職が取り扱う情報とは                                                        | ●看護職が取り扱う情報についてわかる                                          |
|                  | BAB2507-b 看護チームとしての情報共有のあり方<br>～協働に必要なコミュニケーション～                              | ●看護チームとしての情報共有のあり方を学び、看護補助者と協働するためのコミュニケーションができる            |
|                  | BAB2507-c 看護チームとしての情報管理のあり方                                                   | ●看護チームとしての情報管理のあり方がわかる                                      |

☐ 新規配信テーマ ☐ 継続配信テーマ

## 様式9研修コース

監修  
日本施設基準管理士協会

テストなし

ワークなし

2025年7月1日から2026年3月31日まで配信

コース新設

様式9を正しく理解し、適正な勤務表管理に活かそう！

1テーマ約15分

| コード           | セッション名・講師・テーマ名                        |
|---------------|---------------------------------------|
| <b>BE2500</b> | オリエンテーション<br>日本施設基準管理士協会              |
| BE2500-a      | オリエンテーション                             |
| <b>BE2501</b> | 看護職の働く環境と勤務表<br>福井 トシ子 先生 国際医療福祉大学大学院 |
| BE2501-a      | 看護職の働く環境について                          |
| BE2501-b      | 看護職の勤務表について                           |
| BE2501-c      | 労働基準法と就業規則、施設基準からみた勤務表作成における基本事項      |
| BE2501-d      | 日本看護協会「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」について    |

☐ 新規配信テーマ ☐ 継続配信テーマ

| コード           | セッション名・講師・テーマ名                               |
|---------------|----------------------------------------------|
| <b>BE2502</b> | 看護職に関連する施設基準と管理・運用<br>長面川 さより 先生 株式会社ウォームハーツ |
| BE2502-a      | 看護職に関係する施設基準                                 |
| BE2502-b      | 施設基準にもとづく看護記録、病棟日誌                           |
| BE2502-c      | 研修等の管理                                       |
| BE2502-d      | 保険医療機関への行政指導・適時調査における書類の準備と提出方法              |
| <b>BE2503</b> | 勤務表作成のポイントと様式9作成のルール<br>大亀 彩子 先生 済生会広島病院     |
| BE2503-a      | 勤務表の基準と適切な勤務表作成のポイント                         |
| BE2503-b      | 「様式9」の基礎知識と記載方法の概要                           |
| BE2503-c      | 多様な勤務時間の導入と月平均夜勤時間の確保（より働きやすい職場へ）            |
| BE2503-d      | 様式9作成の具体例（他部署の応援、出張や院外研修）                    |

重症度、医療・看護必要度コース

監修 箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学  
看護学研究科 看護学部 看護学科 教授

配信開始日から  
2026年3月31日まで配信

リニューアル

基本からわかる！ 重症度、医療・看護必要度を病棟マネジメントに活用

1テーマ約15分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                     | 到達目標                                                            |
|----------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| BC2501   | 評価チェック動画：一般病棟編<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                                | テストなし                                                           |
| BC2501-a | 評価チェック動画：一般病棟編                                                     |                                                                 |
| BC2502   | 評価チェック動画：地ケア・療養病棟編<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                            | テストなし                                                           |
| BC2502-a | 評価チェック動画：地ケア・療養病棟編                                                 |                                                                 |
| BC2503   | 評価チェック動画：回リハ病棟編<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                               | テストなし                                                           |
| BC2503-a | 評価チェック動画：回リハ病棟編                                                    |                                                                 |
| BC2504   | 評価チェック動画：HCU 編<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                                | テストなし                                                           |
| BC2504-a | 評価チェック動画：HCU 編                                                     |                                                                 |
| BC2505   | 評価チェックテスト No.1<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                                | ワークなし                                                           |
| BC2505-a | 評価チェックテスト No.1                                                     |                                                                 |
| BC2506   | 評価チェックテスト No.2<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                                | 2025 年 9 月公開 ワークなし                                              |
| BC2506-a | 評価チェックテスト No.2                                                     |                                                                 |
| BC2551   | 入門編：重症度、医療・看護必要度、どうやって評価する？<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                   |                                                                 |
| BC2551-a | 重症度、医療・看護必要度とは                                                     | ●重症度、医療・看護必要度の基礎的な知識を身につける                                      |
| BC2551-b | 重症度、医療・看護必要度評価の基本的な考え方                                             | ●重症度、医療・看護必要度評価の基本的な考え方がわかる                                     |
| BC2552   | 重症度、医療・看護必要度の評価の手引きを理解する<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                      |                                                                 |
| BC2552-a | 重症度、医療・看護必要度の評価の手引きとは                                              | ●評価の手引きの概要がわかる                                                  |
| BC2552-b | 重症度、医療・看護必要度の評価票                                                   | ●評価票の見方がわかる                                                     |
| BC2552-c | 評価項目の定義① A 項目                                                      | ●A 項目の定義がわかる                                                    |
| BC2552-d | 評価項目の定義② B 項目                                                      | ●B 項目の定義がわかる                                                    |
| BC2553   | 一般急性期病棟編：重症度、医療・看護必要度の評価のポイントと活かし方<br>谷口 孝江 先生 株式会社 スーパー・コート       |                                                                 |
| BC2553-a | 一般急性期病棟での評価①<br>～令和 6 年度診療報酬改定のポイントについて～                           | ●令和 6 年度診療報酬改定に伴う変更点を理解できる                                      |
| BC2553-b | 一般急性期病棟での評価② ～ A 項目の評価方法について～                                      | ●一般急性期病棟において、重症度、医療・看護必要度の A 項目を評価することができる                      |
| BC2553-c | 一般急性期病棟での評価③ ～ B・C 項目の評価方法について～                                    | ●一般急性期病棟において、重症度、医療・看護必要度の B・C 項目を評価することができる                    |
| BC2553-d | 一般急性期病棟で必要度データを活用する                                                | ●看護必要度データ活用の方法を述べることができる<br>●自施設、自病棟での活用について自分の考えを 1 つ述べることができる |
| BC2554   | 地域包括ケア・療養病棟編：<br>重症度、医療・看護必要度の評価のポイントと活かし方<br>吉田 かおり 先生 姫路聖マリア病院   |                                                                 |
| BC2554-a | 地域包括ケア・療養病棟での評価                                                    | ●地域包括ケア病棟・療養病棟における重症度、医療・看護必要度について評価のポイントを説明できる                 |
| BC2554-b | 地域包括ケア・療養病棟で必要度データを活用する①                                           | ●地域包括ケア病棟・療養病棟における重症度、医療・看護必要度データの活用方法を理解できる                    |
| BC2554-c | 地域包括ケア・療養病棟で必要度データを活用する②                                           | ●地域包括ケア病棟・療養病棟における重症度、医療・看護必要度データの活用方法を理解できる                    |
| BC2555   | 回復期リハビリテーション病棟編：<br>重症度、医療・看護必要度の評価のポイントと活かし方<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学 |                                                                 |
| BC2555-a | 回復期リハビリテーション病棟における<br>重症度、医療・看護必要度評価                               | ●回復期リハビリテーション病棟における重症度、医療・看護必要度評価の考え方を理解できる                     |
| BC2555-b | 日常生活機能評価票による評価のポイント①                                               | ●回復期リハビリテーション病棟で重症度、医療・看護必要度の評価ができる                             |
| BC2555-c | 日常生活機能評価票による評価のポイント②                                               | ●回復期リハビリテーション病棟で重症度、医療・看護必要度の評価ができる                             |
| BC2555-d | 回復期リハビリテーション病棟で必要度データを活用する                                         | ●必要度データを理解し、どのように活用するか自分の考えを 1 つ述べることができる                       |
| BC2556   | HCU 編：<br>重症度、医療・看護必要度の評価のポイントと活かし方<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学           |                                                                 |
| BC2556-a | ハイケアユニットでの評価①                                                      | ●ハイケアユニット（HCU）における重症度、医療・看護必要度で重症度、医療・看護必要度の評価ができる              |
| BC2556-b | ハイケアユニットでの評価②：A 項目                                                 | ●ハイケアユニット（HCU）の重症度、医療・看護必要度の A 項目における重症度、医療・看護必要度の評価ができる        |
| BC2556-c | ハイケアユニットでの評価③：B 項目                                                 | ●ハイケアユニット（HCU）の重症度、医療・看護必要度の B 項目における重症度、医療・看護必要度の評価ができる        |
| BC2556-d | ハイケアユニットで必要度データを活用する                                               | ●必要度データをどのように理解し、活用するか自分の考えを 1 つ述べることができる                       |
| BC2557   | 評価チェック動画（アーカイブ）<br>箕浦 洋子 先生 関西看護医療大学                               |                                                                 |
| BC2557-a | 評価チェック動画（アーカイブ）                                                    |                                                                 |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                 | 到達目標                                                                                            |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初めての院内発表 | BBH2501<br>院内発表につなげる気づき<br>～気づきから臨床研究につなげるために～<br>藤倉 由美恵 先生 神奈川歯科大学短期大学部       | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2501-a<br>実践での気づきや疑問について理解を深めることの大切さ                                        | ●実践をとおして気づきや疑問をもつことの大切さを知り、研究疑問に発展させる考え方が理解できる                                                  |
|          | BBH2501-b<br>気づきや疑問について理解を深める方法                                                | ●気づきや疑問に向き合うために文献を読み深める際のポイントが理解できる                                                             |
|          | BBH2501-c<br>看護実践をとおして得られた成果をまとめる意義                                            | ●よりよい看護ケアのために実践上の成果を共有することの意義が理解できる                                                             |
|          | BBH2502<br>文章の書き方～人に伝わる文章を書くコツ～<br>明神 哲也 先生 東京慈恵会医科大学                          | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2502-a<br>文章の書き方<br>～人に伝わる文章を書くコツ～                                          | ●人に伝える文章を意識できる<br>●文章の基本が理解できる<br>●発表の項目に必要な内容がわかる                                              |
|          | BBH2503<br>よりよい看護ケアのためのケーススタディ（事例研究）<br>～実践につなげる研究とは～<br>渡邊 好江 先生 杏林大学医学部付属病院  | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2503-a<br>よりよい看護ケアのためのケーススタディ（事例研究）<br>～実践につなげる研究とは～                        | ●日常にある看護ケアの疑問、課題に気づくことができる<br>●まわりと疑問を共有し、看護ケアにつながるキーワードを見出せる<br>●文献・ガイドラインの内容を看護ケアに結びつけることができる |
|          | BBH2504<br>倫理的配慮の基本<br>佐伯 裕美 先生 東京慈恵会医科大学大学院                                   | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2504-a<br>研究における倫理原則                                                        | ●研究における倫理原則がわかる                                                                                 |
|          | BBH2504-b<br>研究における倫理的配慮                                                       | ●倫理的配慮について対策を講じられる                                                                              |
|          | BBH2504-c<br>研究に必要な倫理の手続き                                                      | ●院内発表に必要な倫理の手続きがわかる                                                                             |
|          | BBH2505<br>文献はなぜ読むの？ どう探すの？<br>室岡 陽子 先生 東京慈恵会医科大学                              | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2505-a<br>文献はなぜ読むの？ どう探すの？                                                  | ●研究において文献検索の必要性がわかる<br>●よい文献とはどういうものがわかる<br>●検索の方法がわかる                                          |
|          | BBH2506<br>院内発表で気をつけること<br>～パワーポイント作成のポイントと<br>次の看護研究へつなげるために～<br>小幡 祐司 先生 看護師 | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBH2506-a<br>院内発表が行われる場面                                                       | ●院内発表が行われる場面とその意義が理解できる                                                                         |
|          | BBH2506-b<br>院内発表に向けた準備<br>～パワーポイント作成の実際～                                      | ●パワーポイントの見せる技術のポイントが理解できる<br>●院内発表に向けた発表資料の作成ができる                                               |
|          | BBH2506-c<br>院内発表に向けた準備<br>～プレゼンテーションのコツ～                                      | ●プレゼンテーションに必要な話す技術のポイントが理解できる                                                                   |
| 初めての学会発表 | BBS2501<br>コースオリエンテーション<br>～看護研究をはじめるために～<br>中村 美鈴 先生 東京慈恵会医科大学                | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBS2501-a<br>コースオリエンテーション<br>～看護研究をはじめるために～                                    | ●看護研究の必要性和面白味がわかる<br>●看護研究を進めるための方法の大枠がわかる                                                      |
|          | BBS2502<br>看護研究とは？ どうして研究するの？<br>上澤 弘美 先生 総合病院土浦協同病院                           | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBS2502-a<br>看護研究とは？ どうして研究するの？                                                | ●看護研究に取り組む際に必要な基本的知識を理解する                                                                       |
|          | BBS2503<br>研究デザインを理解する<br>縦山 定美 先生 医療創生大学                                      | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBS2503-a<br>研究デザインを理解する                                                       | ●質的・量的に関する研究方法を理解し、研究目的を明らかにする研究方法がわかる                                                          |
|          | BBS2504<br>文献の読み方Ⅰ～量的研究のクリティック～<br>縦山 定美 先生 前 横浜創英大学                           | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBS2504-a<br>文献の読み方Ⅰ<br>～量的研究のクリティック～                                          | ●量的研究論文を批判的に読むための方法がわかる                                                                         |
|          | BBS2505<br>文献の読み方Ⅱ～質的研究のクリティック～<br>吉田 紀子 先生 獨協医科大学病院                           | テストなし ワークなし                                                                                     |
|          | BBS2505-a<br>文献の読み方Ⅱ<br>～質的研究のクリティック～                                          | ●質的研究論文を批判的に読むための方法がわかる                                                                         |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                   | 到達目標                                                                                                     |
|-----------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| BBS2506   | 研究テーマの絞り込み<br>谷島 雅子 先生 自治医科大学附属病院                                | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2506-a | 研究テーマの絞り込み                                                       | ●看護研究の取り組みに際し、研究テーマの選択に必要な基本的知識を理解する                                                                     |
| BBS2507   | 文献検索と文献検討を行う<br>渡邊 好江 先生 杏林大学医学部付属病院                             | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2507-a | 文献検索と文献検討を行う                                                     | ●研究テーマに関して文献検索・検討がわかる                                                                                    |
| BBS2508   | 研究にまつわる倫理的配慮<br>中村 美鈴 先生 名古屋市立大学大学院                              | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2508-a | 研究のために必要な倫理的配慮とは                                                 | ●研究を進めるうえでの倫理的配慮がわかる                                                                                     |
| BBS2508-b | 研究方法に応じた必要な倫理的配慮                                                 | ●研究方法に応じた倫理的配慮がわかる                                                                                       |
| BBS2508-c | 倫理審査委員会への申請内容                                                    | ●倫理審査委員会への申請内容がわかる                                                                                       |
| BBS2508-d | 利益相反                                                             | ●利益相反について適切な取り扱いができる                                                                                     |
| BBS2509   | 研究計画書を作成する<br>務基 理恵子 先生 東京慈恵会医科大学                                | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2509-a | 研究計画書を作成する                                                       | ●研究計画書の構成と要素および、その作成方法がわかる                                                                               |
| BBS2510   | 研究活動を実施し、データを得る<br>上澤 弘美 先生 総合病院土浦協同病院                           |                                                                                                          |
| BBS2510-a | 研究活動を実施し、データを得る                                                  | ●研究活動を実施するなかで、自身の研究に必要なデータの収集方法がわかる                                                                      |
| BBS2511   | 量的データと質的データの分析<br>山本 伊都子 先生 東京慈恵会医科大学                            | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2511-a | 量的データと質的データの分析                                                   | ●量的データの種類とその分析方法がわかる<br>●質的データの種類とその分析方法がわかる                                                             |
| BBS2512   | 研究成果を発表するⅠ～演題応募と発表のタイプ～<br>段ノ上 秀雄 先生 和洋女子大学                      | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2512-a | 研究成果を発表するⅠ<br>～演題応募と発表のタイプ～                                      | ●研究成果を発表する方法がわかる<br>●発表学会を選定する方法がわかる<br>●抄録作成のポイントがわかる<br>●演題応募と査読についてわかる<br>●ポスター発表、オンライン発表のコツとポイントがわかる |
| BBS2513   | 研究成果を発表するⅡ<br>～パワーポイントを活用する～<br>小幡 祐司 先生 看護師                     | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2513-a | 看護研究成果を発表する意義                                                    | ●研究成果を発表する意義がわかる<br>●研究成果の発表形式がわかる                                                                       |
| BBS2513-b | パワーポイント作成の実際                                                     | ●パワーポイント資料作成時のポイント・ルールがわかる<br>●パワーポイントを使った発表資料を作成することができる                                                |
| BBS2513-c | パワーポイントを用いた<br>院内発表・学会発表の実際                                      | ●実際に院内発表・学会発表に臨む際、気をつけるべきポイントを1つあげることができる                                                                |
| BBS2513-d | 示説（ポスター）発表準備と一般的なマナー                                             | ●示説（ポスター）発表に向けたポスターのつくり方のポイントがわかる<br>●示説（ポスター）発表時の注意点がわかる                                                |
| BBS2514   | 研究論文を作成するⅠ～研究結果を表現する～<br>段ノ上 秀雄 先生 和洋女子大学                        | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2514-a | 研究結果の言語化の概要                                                      | ●研究結果を言語化する意義と代表的な方法が理解できる<br>●研究結果のまとめに必要な基礎を理解できる                                                      |
| BBS2514-b | 研究結果をまとめる際におさえるポイントと<br>Excel を活用した研究結果のまとめ方<br>～研究概要・研究対象者のまとめ～ | ●研究対象の特性を記述統計としてまとめる方法が理解できる<br>●表計算ソフト（Microsoft Excel）を用いたまとめ方が理解できる                                   |
| BBS2514-c | Excel を活用した研究結果のまとめ方<br>～質的研究データのまとめ～                            | ●Excel を用いた質的研究結果の効果的なまとめ方が理解できる                                                                         |
| BBS2514-d | Excel を活用した研究結果のまとめ方<br>～量的研究データのまとめ～                            | ●Excel を活用した効果的な量的分析の方法が理解できる                                                                            |
| BBS2515   | 研究論文を作成するⅡ<br>～研究結果を考察する～<br>中村 美鈴 先生 東京慈恵会医科大学                  | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2515-a | 研究論文を作成するⅡ<br>～研究結果を考察する～                                        | ●研究成果を論文にまとめる方法がわかる                                                                                      |
| BBS2516   | 研究論文を作成するⅢ<br>～論文にまとめる～<br>中村 美鈴 先生 東京慈恵会医科大学                    | テストなし ワークなし                                                                                              |
| BBS2516-a | 研究論文を作成するⅢ<br>～論文にまとめる～                                          | ●研究成果を論文にまとめる方法がわかる                                                                                      |

初めての学会発表

新規配信テーマ

継続配信テーマ

事例動画で認知症の知識を深め、専門性を活かした高齢者ケアのための看護実践能力を養う

1テーマ約15分

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                                   | 到達目標                                                                            |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| BDA2501   | <b>&lt;看護編 1&gt; 治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア</b><br>杉山 智子 先生 順天堂大学       |                                                                                 |
| BDA2501-a | 認知症の人にかかわるための基本的な考え方                                                             | ● 認知症の人にかかわるための基本的な考え方が理解できる                                                    |
| BDA2501-b | 認知機能障害を把握するためのポイント                                                               | ● 認知機能障害の特徴を理解できる<br>● 認知機能障害を把握するためのポイントを理解できる                                 |
| BDA2501-c | 認知機能障害に伴う日常生活動作への支障を把握するためのポイント                                                  | ● 認知機能障害がどのような生活上の支障をもたらすか知ることができる<br>● 生活障害のアセスメントのポイントが理解できる                  |
| BDA2502   | <b>&lt;看護編 1 事例動画&gt; 治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア</b><br>杉山 智子 先生 順天堂大学  |                                                                                 |
| BDA2502-a | 治療を受ける認知症の人との対応場面でのアセスメント                                                        | ● 治療を受ける認知症の人との対応場面におけるアセスメントができる                                               |
| BDA2502-b | 期待する行動をしてもらえない場面でのアセスメント                                                         | ● 看護師が期待する行動をしない認知症の人への対応のポイントが理解できる                                            |
| BDA2502-c | 生活障害のアセスメント～食事の場面～                                                               | ● 認知機能障害による生活障害をとらえることができる<br>● 生活障害への対応を1つ以上考えることができる                          |
| BDA2503   | <b>&lt;看護編 2&gt; 治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント</b><br>湯浅 美千代 先生 順天堂大学      |                                                                                 |
| BDA2503-a | 認知症の人とのコミュニケーションの原則                                                              | ● 治療を受ける認知症の人に対するコミュニケーションの原則を理解し実践に活用できる                                       |
| BDA2503-b | 認知症の人とのコミュニケーション上の留意点                                                            | ● 認知症の人との情報のやりとりをしやすくするポイントを理解してかかわることができる<br>● 認知症の人とのコミュニケーションを楽しむことができる      |
| BDA2503-c | 療養環境調整のポイント                                                                      | ● 認知症の人の能力が発揮しやすくなる環境調整のポイントを理解し実践に活用できる                                        |
| BDA2504   | <b>&lt;看護編 2 事例動画&gt; 治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント</b><br>湯浅 美千代 先生 順天堂大学 |                                                                                 |
| BDA2504-a | 会話がかみ合わない場面での対応方法                                                                | ● かみ合わない会話の原因を考えることができる<br>● 認知症の人の気持ちに配慮した話の進め方を考えることができる                      |
| BDA2504-b | 対応に困る場面でのかわり方                                                                    | ● 認知症の人の言動の意味、原因を考えることができる<br>● その場に適したかわり方を考えることができる                           |
| BDA2504-c | 認知症の人の尊厳を損なう対応                                                                   | ● 自分たちが行っているスピーチロック（言葉による行動の制限）に気づくことができる<br>● 自分たちが認知症の人の尊厳を損なっていることに気づくことができる |
| BDA2551   | <b>&lt;医学編 1&gt; 認知症にみる原因疾患とその症状・治療法</b><br>古田 伸夫 先生 浴風会病院                       |                                                                                 |
| BDA2551-a | 認知症の主な症状                                                                         | ● 認知症の定義がわかる<br>● 認知機能障害・生活機能障害についてわかる                                          |
| BDA2551-b | 認知症の主な原因疾患                                                                       | ● 認知症の主な原因疾患とその特徴についてわかる<br>● 治療可能な認知症についてわかる                                   |
| BDA2551-c | 認知症の治療方法～薬物療法・非薬物療法～                                                             | ● 認知症に対する治療の目標がわかる<br>● 認知症に対する非薬物的治療、薬物治療がわかる                                  |
| BDA2552   | <b>&lt;医学編 2&gt; 事例から学ぶ認知症とせん妄</b><br>古田 伸夫 先生 浴風会病院                             |                                                                                 |
| BDA2552-a | 認知症とせん妄の違い                                                                       | ● 認知症とせん妄の違いが理解できる<br>● せん妄のサブタイプ、症状、3因子がわかる<br>● せん妄の対応・予防のポイントがわかる            |
| BDA2552-b | 行動・心理症状（BPSD）                                                                    | ● BPSD の特徴がわかる<br>● BPSD の主な症状と分類がわかる<br>● BPSD の評価・対応・予防のポイントがわかる              |
| BDA2552-c | 事例にみるケアのポイント                                                                     | ● 症状に応じたケアのポイントがわかる                                                             |
| BDA2553   | <b>&lt;事故防止編&gt; 認知症のケアにおける医療安全</b><br>萩原 淳子 先生 国立長寿医療研究センター                     | <b>医療安全</b>                                                                     |
| BDA2553-a | 認知症によって脅かされる医療安全上のリスク                                                            | ● 認知症によって脅かされる医療安全上のリスクがわかる                                                     |
| BDA2553-b | ヒヤリハット事例から対策行動を考える～転倒・転落など～                                                      | ● 事例を通じて必要な対策行動が考えられる                                                           |
| BDA2553-c | 認知症患者を守るリスクマネジメントの考え方                                                            | ● 認知症患者を守るためのリスクマネジメントの考え方がわかる                                                  |
| BDA2554   | <b>&lt;倫理編&gt; 認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題</b><br>四垂 美保 先生 青梅慶友病院                        |                                                                                 |
| BDA2554-a | 認知症患者の尊厳と権利を守る看護ケア                                                               | ● 認知症患者の尊厳と権利の重要性をふまえた看護ケアができる                                                  |
| BDA2554-b | 認知症患者の看護ケアで直面する倫理的課題                                                             | ● 認知症ケアの現場で必要な倫理的課題をふまえた看護ケアがわかる                                                |
| BDA2554-c | 認知症患者とその家族の意思決定支援のあり方                                                            | ● 認知症患者とその家族の意思決定支援へのかかわり方がわかる                                                  |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                             | 到達目標                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| BDB2501   | 大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折の予防<br>～骨折リエゾンサービスと<br>骨粗鬆症リエゾンサービスの意義～<br>石橋 英明 先生 伊奈病院 |                                                             |
| BDB2501-a | 大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症の評価と治療                                                        | ●大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症の評価と治療の基本的な知識が身につく                            |
| BDB2501-b | 骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービス                                                    | ●骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービスの概要と意義を学び、活用のしかたがわかる                |
| BDB2501-c | 大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組み                                         | ●大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組みについて説明できる                |
| BDB2502   | 看護師が知っておきたい食事介助の心得<br>永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院                                 |                                                             |
| BDB2502-a | 摂食嚥下障害にかかわる看護ケア                                                            | ●摂食嚥下障害にかかわる看護ケアの考え方がわかる                                    |
| BDB2502-b | 食事介助の観察項目                                                                  | ●食事介助の観察項目がわかる                                              |
| BDB2502-c | 食事介助における事故事例                                                               | ●食事介助における事故リスクを予測できる                                        |
| BDB2503   | ADL 低下につながる高齢者の脳卒中<br>川合 茜 先生 中村記念病院                                       |                                                             |
| BDB2503-a | 高齢者に多い脳卒中                                                                  | ●高齢者に多い脳卒中の種類と特徴がわかる                                        |
| BDB2503-b | 脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア<br>～迅速な治療につなげるために～                                      | ●脳卒中における迅速な治療につなげるための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる                    |
| BDB2503-c | 脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア<br>～再発防止のポイント～                                          | ●脳卒中の再発防止のための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる                            |
| BDB2504   | 高齢者の褥瘡形成の特徴<br>政田 美喜 先生 三豊総合病院                                             |                                                             |
| BDB2504-a | 高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメント                                                      | ●高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメントがわかる                                  |
| BDB2504-b | 褥瘡予防のための基本的看護ケア<br>～ポジショニング・スキンケア・栄養管理～                                    | ●褥瘡予防のための基本的看護ケアがわかる                                        |
| BDB2504-c | 褥瘡発生後の創傷観察と基本的看護ケア                                                         | ●褥瘡発生後の創傷の評価と基本的看護ケアがわかる                                    |
| BDB2551   | サルコペニア・フレイル予防のために<br>看護師ができること<br>永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院                     |                                                             |
| BDB2551-a | サルコペニア・フレイルとは                                                              | ●サルコペニアとフレイルがわかる                                            |
| BDB2551-b | 栄養面から考える看護ケア                                                               | ●栄養面をふまえた看護ケアの方法がわかる                                        |
| BDB2551-c | 運動面から考える看護ケア                                                               | ●運動面をふまえた看護ケアの方法がわかる                                        |
| BDB2552   | 高齢心不全患者の緩和ケア<br>岡本 聡一郎 先生 大分大学医学部附属病院                                      |                                                             |
| BDB2552-a | 高齢心不全患者の特徴～特有の併存疾患・リスク因子～                                                  | ●高齢心不全患者の特徴が理解できる<br>●高齢心不全患者の特徴をふまえた介入の方法について理解することができる    |
| BDB2552-b | 心不全がもたらすフレイルサイクル                                                           | ●心不全がもたらすフレイルサイクルについて理解できる<br>●高齢心不全患者のフレイルを予防するための方法が理解できる |
| BDB2552-c | 高齢心不全患者の緩和ケア                                                               | ●高齢心不全患者への緩和ケアの方法がわかる                                       |
| BDB2553   | 高齢の糖尿病患者の QOL 向上につながる看護ケア<br>加藤 知子 先生 食サポートオフィス                            |                                                             |
| BDB2553-a | 高齢者糖尿病の特徴と看護ケアの基本的な考え方                                                     | ●高齢者糖尿病の特徴と看護ケアの基本的な考え方がわかる                                 |
| BDB2553-b | 知っておきたい高齢者糖尿病の薬物療法                                                         | ●高齢者糖尿病の薬物療法について理解できる<br>●低血糖・シックデいの予防・対応について理解できる          |
| BDB2553-c | QOL 向上につなげる看護師のセルフケア支援                                                     | ●高齢期の糖尿病患者への支援のポイントがわかる<br>●食事療法・運動療法・薬物療法のポイントがわかる         |
| BDB2554   | 透析患者のための運動療法<br>大山 恵子 先生 つばさクリニック                                          |                                                             |
| BDB2554-a | 透析患者に対する運動療法のすすめ<br>～現況、運動耐容能、運動効果～                                        | ●透析患者に対する運動療法の必要性がわかる                                       |
| BDB2554-b | 透析患者に対する運動療法の方法<br>～SPPB、運動の3大原則、有酸素運動、レジスタンス運動～                           | ●透析患者に対する運動療法の適応、方法を述べることができる                               |
| BDB2554-c | 透析中の運動療法に対する看護ケア<br>～禁忌、安全性、アクシデント～                                        | ●透析患者に対する運動療法の看護ケアの方法がわかる                                   |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

それぞれの職種が専門性を活かし、患者の望む暮らしをチームでサポートしよう

1テーマ約15～30分

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                  | 到達目標                                                                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| FAA2501   | 早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組み<br>楠川 翠里 先生 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション          | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2501-a | 早期離床・早期退院の重要性                                                   | ●早期離床・早期退院がなぜ重要なのか説明できる<br>●早期離床・早期退院にかかわる診療報酬が理解できる                                                     |
| FAA2501-b | 早期離床・早期退院に向けた各職種の役割                                             | ●早期離床・早期退院に向けた各職種の役割が説明できる                                                                               |
| FAA2501-c | チームで行う早期離床に向けた介入                                                | ●早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組みとして、自施設でできることをあげられる                                                               |
| FAA2502   | 「リハビリテーション・栄養・口腔管理」の一体的取り組みの進め方 ～実践事例からヒントを得よう～<br>宮島 功 先生 近森病院 | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2502-a | 入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を一体的に行うことの重要性                             | ●入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を一体的に行うことの重要性を説明することができる                                                          |
| FAA2502-b | リハビリテーション・栄養・口腔管理を多職種でやってみよう！                                   | ●多職種でできるリハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みを知り、自施設で実施するイメージができる                                                    |
| FAA2502-c | 事例：リハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みの実践                                 | ●事例を通じて一体的取り組みを知り、明日から取り組む課題を1つあげることができる                                                                 |
| FAA2503   | 多職種ロールプレイをやってみよう ～身体的拘束防止編～<br>小坂 智恵子 先生 東京都リハビリテーション病院         | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2503-a | 多職種ロールプレイって何？                                                   | ●多職種ロールプレイの目的と意義が説明できる ●ロールプレイの種類と活用が理解できる                                                               |
| FAA2503-b | 多職種ロールプレイに必要なこと                                                 | ●ロールプレイを効果的に行うためのポイント、留意点が理解できる<br>●多職種ロールプレイの計画が立てられる                                                   |
| FAA2503-c | やってみよう！ 多職種ロールプレイ～身体的拘束事例をもとに考えてみよう～                            | ●多職種ロールプレイを自施設で開催するイメージができる                                                                              |
| FAA2504   | 教えて PT さん！<br>腰にやさしく患者さんに負担をかけない移乗方法<br>豊田 輝 先生 帝京科学大学          | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2504-a | 本当に大丈夫？ その移乗                                                    | ●事例動画を通じてこれまでの自身の移乗動作介助方法を振り返ることができる                                                                     |
| FAA2504-b | 移乗の動きを分析しよう                                                     | ●移乗動作を構成するそれぞれの動作におけるボディメカニクスを理解し、患者および介助者にとって負担のない動きをイメージできる                                            |
| FAA2504-c | これでカンペキ！ 移乗の実践                                                  | ●移乗動作介助における動作のボディメカニクスを理解したうえで、患者の機能・能力に対するアセスメントを行い、その結果をふまえて適切な移乗動作介助方法が選択・実践できる                       |
| FAA2551   | 基礎からわかるチーム医療<br>牧野 茂義 先生 東京都赤十字血液センター                           | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2551-a | チーム医療とはなんだろう～とくに輸血医療について～                                       | ●チーム医療とは何か説明できる<br>●とくに輸血領域におけるチーム医療の必要性について理解する                                                         |
| FAA2551-b | チーム医療を円滑に進めていくために：環境編                                           | ●チーム医療を円滑に進めていくために、どういった環境が必要かわかる<br>●とくに輸血チーム医療を進めていくうえで整えるべき環境について説明できる                                |
| FAA2551-c | チーム医療を円滑に進めていくために：心がまえ編                                         | ●チーム医療を円滑に進めていくために、どういった心がまえをもてばよいかわかる<br>●心理的安全性について理解できる                                               |
| FAA2552   | 外国人スタッフとの協働<br>～思いやりと信頼をもってともに歩もう～<br>谷口 淳子 先生 生長会・悠人会          | 多職種連携                                                                                                    |
| FAA2552-a | 医療・介護現場における外国人スタッフの活躍                                           | ●医療・介護現場における外国人スタッフの現状と制度についてわかる                                                                         |
| FAA2552-b | 外国人スタッフと協働するために大切なこと                                            | ●外国人人材を受け入れるにあたり、協働するための組織づくりを進める考え方がわかる                                                                 |
| FAA2552-c | 思いやりと信頼をもって協働していくために大切なこと                                       | ●外国人人材を受け入れたあと、協働するための組織づくりを進めていく考え方がわかる                                                                 |
| FAB2501   | 患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携<br>永沼 明美 先生 光が丘訪問看護ステーション             | テストなし ワークなし 多職種連携                                                                                        |
| FAB2501-a | 患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携                                       | ●チーム医療におけるケアマネジャーの役割について説明できる<br>●患者が退院後どのような生活をしているのか想像することができる<br>●ケアマネジャーとの連携について、明日から実践できることを1つあげられる |
| FAB2502   | 健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携<br>坂井 鮎 先生 藤田医科大学病院                   | テストなし ワークなし 多職種連携                                                                                        |
| FAB2502-a | 健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携                                       | ●チーム医療における歯科衛生士の役割について説明できる<br>●自らの業務における歯科衛生士との連携について明日から実践できることを1つあげられる                                |
| FAB2503   | 暮らしのなかでもてる力を発揮する！<br>介護福祉士との連携<br>石本 淳也 先生 熊本県介護福祉士会            | テストなし ワークなし 多職種連携                                                                                        |
| FAB2503-a | 暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携                                     | ●チーム医療における介護福祉士の役割について説明できる<br>●自らの業務における介護福祉士との連携について明日から実践できることを1つあげられる                                |
| FAB2551   | チーム力を底上げする！ 薬剤師との連携<br>百瀬 智恵 先生 牧田リハビリテーション病院                   | テストなし ワークなし 多職種連携                                                                                        |
| FAB2551-a | チーム力を底上げする！ 薬剤師との連携                                             | ●チーム医療における薬剤師の役割について説明できる<br>●自らの業務における薬剤師との連携について明日から実践できることを1つあげられる                                    |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                     | 到達目標                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| FAB2552   | 患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携<br>大島 真理子 先生 多摩北部医療センター     | テストなし ワークなし 多職種連携                                                         |
| FAB2552-a | 患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携                             | ●チーム医療における管理栄養士の役割について説明できる<br>●自らの業務における管理栄養士との連携について明日から実践できることを1つあげられる |
| FAB2553   | 地域の健康を守る！ 保健師との連携<br>堀間 華世 先生 保健師                  | テストなし ワークなし 多職種連携                                                         |
| FAB2553-a | 地域の健康を守る！ 保健師との連携                                  | ●多職種連携における保健師の役割について説明できる<br>●自らの業務における保健師との連携について明日から実践できることを1つあげられる     |
| FAB2554   | 患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携<br>出島 慶之 先生 牧田リハビリテーション病院  | テストなし ワークなし 多職種連携                                                         |
| FAB2554-a | 患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携                            | ●チーム医療における理学療法士の役割について説明できる<br>●自らの業務における理学療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる |
| FAB2555   | 患者のADLを高める！ 作業療法士との連携<br>泉 真理 先生 牧田リハビリテーション病院     | テストなし ワークなし 多職種連携                                                         |
| FAB2555-a | 患者のADLを高める！ 作業療法士との連携                              | ●チーム医療における作業療法士の役割について説明できる<br>●自らの業務における作業療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる |
| FAB2556   | 患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携<br>半田 央梨緒 先生 牧田リハビリテーション病院 | テストなし ワークなし 多職種連携                                                         |
| FAB2556-a | 患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携                            | ●チーム医療における言語聴覚士の役割について説明できる<br>●自らの業務における言語聴覚士との連携について明日から実践できることを1つあげられる |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

ミミガクコース

テストなし

ワークなし

全テーマ通年配信

リニューアル

ミミで学んで心をミガク！ いま知りたいトピックスを効率よく学べる、音声だけのコンテンツ

1テーマ約

10～20分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                    |
|----------|-------------------------------------------------------------------|
| FB2501   | 私の忘れられない看護～暮らしは予想外の連続～<br>角田 直枝 先生 常磐大学                           |
| FB2501-a | 私の忘れられない看護<br>～暮らしは予想外の連続～                                        |
| FB2502   | 看護師が知っておきたいやさしい日本語<br>～表現ひとつでこんなに変わる～<br>黒田 友子 先生 やさしいコミュニケーション協会 |
| FB2502-a | 看護師が知っておきたいやさしい日本語<br>～表現ひとつでこんなに変わる～                             |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                   |
|----------|------------------------------------------------------------------|
| FB2551   | 私の忘れられない看護<br>任 和子 先生 京都大学大学院                                    |
| FB2551-a | 私の忘れられない看護                                                       |
| FB2552   | 明日から使える！ コミュニケーション・テクニック<br>～患者さんへの接し方～<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院 |
| FB2552-a | 明日から使える！ コミュニケーション・テクニック<br>～患者さんへの接し方～                          |
| FB2553   | 聴診のワンポイントレッスン【呼吸器編】<br>皿谷 健 先生 杏林大学医学部付属病院                       |
| FB2553-a | 聴診のワンポイントレッスン【呼吸器編】                                              |
| FB2554   | 明日から使える！<br>スタッフのこころを動かす声かけのコツ<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院          |
| FB2554-a | 明日から使える！ スタッフのこころを動かす声かけのコツ                                      |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

看護のプロフェッショナル

テストなし

ワークなし

全テーマ通年配信

リニューアル

看護界のレジェンドが語る「看護のプロフェッショナル」とは？ すべての看護師に贈る、胸に刻まれる講義！

約

40～45分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                         |
|----------|--------------------------------------------------------|
| GT2501   | 一生看護師であるための私のレジリエンス<br>川嶋 みどり 先生 日本赤十字看護大学名誉教授         |
| GT2501-a | 一生看護師であるための私のレジリエンス                                    |
| GT2551   | 50年の看護経験から語られる看護のプロフェッショナルとは<br>村松 静子 先生 在宅看護研究センターLLP |
| GT2551-a | 50年の看護経験から語られる看護のプロフェッショナルとは                           |
| GT2552   | 豊富な国際活動経験から語られる看護師のあるべき姿とは<br>伊藤 明子 先生 元名古屋第二赤十字病院     |
| GT2552-a | 豊富な国際活動経験から語られる看護師のあるべき姿とは                             |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                         |
|----------|--------------------------------------------------------|
| GT2553   | 看護の対象はすべての人 ～いろいろな人を支えたい～<br>惣万 佳代子 先生 デイサービス このゆびとーまれ |
| GT2553-a | 看護の対象はすべての人 ～いろいろな人を支えたい～                              |
| GT2554   | 人を支え、地域を支える看護職に求められる力とは<br>坂本 すが 先生 東京医療保健大学           |
| GT2554-a | 人を支え、地域を支える看護職に求められる力とは                                |
| GT2555   | 日々の看護実践からみつける私の看護、私の生き方<br>陣田 泰子 先生 聖マリアンナ医科大学         |
| GT2555-a | 日々の看護実践からみつける私の看護、私の生き方                                |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

多職種連携コース

ミミガクコース

看護のプロフェッショナル

# 病院経営・マネジメントコース

ワークなし

全テーマ通年配信

リニューアル

人手不足へのソリューション！ 事務部門発、魅力ある労働環境の構築戦略

1テーマ約15分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                    | 到達目標                                                |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| FC2501   | 業務に改革を巻き起こせ！ 待ったなしで進める医療 DX<br>村岡 修子 先生 NTT 東日本関東病院                               |                                                     |
| FC2501-a | いまやこまで来た、医療 DX の波 ～追い風となる情報をキャッチしよう～                                              | ●医療 DX の取り組みがどこまで進んでいるのか理解できる                       |
| FC2501-b | 医療 DX を進めるうえで、整理しておきたいポイント                                                        | ●医療 DX にかかわるポイントがわかる                                |
| FC2501-c | 導入事例から学ぶ、メリットと難しさ                                                                 | ●導入事例と自施設の状況を対照して考えることができる                          |
| FC2501-d | 自施設へのシステム導入のヒント ～めざすべき将来ビジョン・将来戦略に向けて～                                            | ●自施設の将来ビジョンに医療 DX をどう位置づけるのかがわかる                    |
| FC2502   | いまこそ人材定着の好機！「勤め続けたい」職場づくりの処方箋<br>～ベースアップ評価料を含む処遇改善から人材採用と定着を考える～<br>藤井 将志 先生 谷田病院 |                                                     |
| FC2502-a | ベースアップ評価料、うまく活用できていますか？                                                           | ●ベースアップ評価料の有効な活用方法がわかる                              |
| FC2502-b | 処遇改善・環境整備で「勤め続けたい職場」を創造する                                                         | ●処遇改善・環境整備について自施設でも取り入れられる方策を1つあげることができる            |
| FC2502-c | ミスマッチを起こさない、人材採用のポイント                                                             | ●人材採用において重要なポイントが理解できる                              |
| FC2502-d | 売り手市場で人材をつなぎ留める戦略                                                                 | ●人材の定着法を自施設の実況に落とし込んで検討できる                          |
| FC2503   | 病院経営における管理会計入門 ～理想の医療実現に活かすためのエッセンス～<br>渡辺 明良 先生 学校法人聖路加国際大学                      |                                                     |
| FC2503-a | 病院経営における管理会計の役割とは                                                                 | ●病院経営における管理会計の役割についての基礎が理解できる                       |
| FC2503-b | 財務会計と管理会計の違い                                                                      | ●財務会計と管理会計の違いが理解できる                                 |
| FC2503-c | 原価計算の基本的な考え方                                                                      | ●原価計算の基本が理解できる                                      |
| FC2503-d | 管理会計の活用のポイント                                                                      | ●管理会計の手法を病院経営に活用するポイントがわかる                          |
| FC2551   | ここがポイント！ 事務部門が知っておきたい労務管理<br>～職員に満足をもたらす働き方とは～<br>十河 浩史 先生 倉敷中央病院リバーサイド           |                                                     |
| FC2551-a | 2024 年、医師の働き方改革スタート！ そのとき病院はどうなる？                                                 | ●医師の働き方改革による病院全体への影響がわかる                            |
| FC2551-b | 労務管理の基本を振り返ろう<br>～労働時間の適正化、職務環境の改善、育休・産休取得公表など～                                   | ●労務管理の基本を見直し、自施設での適切な運用方法がわかる                       |
| FC2551-c | ハラスメント対策、万全ですか？                                                                   | ●最近の労務に関するトピックスを知り、自施設の現状を検討できる                     |
| FC2551-d | 多職種が満足できる労務管理をめざして                                                                | ●多職種が満足できる労務管理とは何か、説明できる                            |
| FC2552   | きょうからできる！ 野心的な病院経営入門<br>木村 憲洋 先生 高崎健康福祉大学                                         |                                                     |
| FC2552-a | 野心的な病院経営管理とは                                                                      | ●病院を取り巻く環境の変化を理解し、病院経営の舵取りをどのようにしていくのかについて考えることができる |
| FC2552-b | 野心的な病院経営のための人材管理                                                                  | ●野心的な病院経営管理についてわかる                                  |
| FC2552-c | 野心的な病院経営のための資金管理                                                                  | ●野心的な病院経営のための人材管理についてわかる                            |
| FC2552-d | 野心的な病院経営のためのモノの管理                                                                 | ●野心的な病院経営のための資金管理の基本がわかる                            |
| FC2552-e | 野心的な病院経営のためのナレッジの蓄積                                                               | ●野心的な病院経営のためのモノの管理について理解し、重要なポイントについて説明できる          |
| FC2553   | これからの自院の舵取り、見えてますか？ ～実例から学ぶ機能転換～<br>新宅 祐子 先生 広島中央リハビリテーション病院                      | ●野心的な病院経営におけるナレッジの重要性について理解し、人材や組織との関係についてわかる       |
| FC2553-a | 地域医療構想のなかで、あなたの施設はどこへ向かいますか                                                       | ●地域医療構想のなかで、自施設が担うべき役割は何か考えることができる                  |
| FC2553-b | 実例でみる機能転換 ～発端から転換への準備～                                                            | ●実際に機能転換を行うための準備で、押さえておくべきポイント（看護の視点）がわかる           |
| FC2553-c | 実例でみる機能転換 ～転換後に起こったこと～                                                            | ●機能転換後に起こる問題点についてわかり、解決策を考えることができる                  |
| FC2553-d | これからの舵取りを考えるうえで、大切にしたいこと                                                          | ●自施設の舵取りを考えるうえで、機能転換をするべきかどうかについて自身の考えを述べることができる    |

# 看護英語コース

テストなし

ワークなし

全テーマ通年配信

コース新設

看護現場で明日から使える英会話を手軽に学ぶ

1テーマ約10分

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                               | コード       | セッション名・講師・テーマ名                             |
|-----------|----------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------|
| NEG2501   | 患者さんへの声かけ<br>佐々江 龍一郎 先生 NTT 東日本関東病院          | NEG2506   | 診察券を忘れた患者さんに対応する<br>佐々江 龍一郎 先生 NTT 東日本関東病院 |
| NEG2501-a | 患者さんへの声かけ                                    | NEG2506-a | 診察券を忘れた患者さんに対応する                           |
| NEG2502   | 患者さんに簡単な意思を伝える<br>林 宏明 先生 NTT 東日本関東病院        | NEG2507   | 患者さんの健康保険証を確認する<br>光田 菜々子 先生 NTT 東日本関東病院   |
| NEG2502-a | 患者さんに簡単な意思を伝える                               | NEG2507-a | 患者さんの健康保険証を確認する                            |
| NEG2503   | 患者さんが来院した際に使う基礎フレーズ<br>光田 菜々子 先生 NTT 東日本関東病院 | NEG2508   | 紹介状の確認とトイレの案内<br>林 宏明 先生 NTT 東日本関東病院       |
| NEG2503-a | 患者さんが来院した際に使う基礎フレーズ                          | NEG2508-a | 紹介状の確認とトイレの案内                              |
| NEG2504   | 患者さんから簡単な情報収集を行う<br>佐々江 龍一郎 先生 NTT 東日本関東病院   | NEG2509   | 再診の患者さんを案内する<br>林 宏明 先生 NTT 東日本関東病院        |
| NEG2504-a | 患者さんから簡単な情報収集を行う                             | NEG2509-a | 再診の患者さんを案内する                               |
| NEG2505   | 患者さんの診察券を作成する<br>光田 菜々子 先生 NTT 東日本関東病院       | NEG2510   | 診察後の説明フレーズ集<br>佐々江 龍一郎 先生 NTT 東日本関東病院      |
| NEG2505-a | 患者さんの診察券を作成する                                | NEG2510-a | 診察後の説明フレーズ集                                |

## 看護のフロントランナース

テストなし ワークなし

全テーマ通年配信

リニューアル

動画から医療現場の潮流をつかむ！ これからのケア体制のあり方

1テーマ約15～20分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                            |
|----------|-----------------------------------------------------------|
| GU2501   | 看護師との協働のなかで考える<br>看護補助者のキャリア支援<br>長谷川 理香 先生 脳神経センター大田記念病院 |
| GU2501-a | 看護師との協働のなかで考える看護補助者のキャリア支援                                |
| GU2502   | NPを中心とした看護師チームが支える地域医療<br>高橋 素子 先生 平成立石病院                 |
| GU2502-a | NPを中心とした看護師チームが支える地域医療                                    |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                        |
|----------|-------------------------------------------------------|
| GU2551   | 地域連携に変革をもたらし、患者・家族を支える<br>田淵 典子 先生 HITO 病院            |
| GU2551-a | 地域連携に変革をもたらし、患者・家族を支える                                |
| GU2552   | スマート・ホスピタルで進化を遂げる<br>看護の人材育成と質向上<br>前城 公子 先生 淡海医療センター |
| GU2552-a | スマート・ホスピタルで進化を遂げる<br>看護の人材育成と質向上                      |

## グローバルセミナーコース

テストなし ワークなし

全テーマ通年配信

海外の著名な講師陣による貴重な講義を特別配信！

約10～20分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                                                                                |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| GS2501   | 看護における臨床推論とその会得方法<br>How to learn nursing Clinical Reasoning<br>パトリシア・ベナー 先生 カリフォルニア大学                                                        |
| GS2501-a | 看護における臨床推論とその会得方法<br>How to learn nursing Clinical Reasoning                                                                                  |
| GS2502   | クリティカルケア領域における看護師の成長モデルと臨床推論との結びつき<br>Relations between critical care nurse's progress model and Clinical Reasoning<br>パトリシア・ベナー 先生 カリフォルニア大学 |
| GS2502-a | クリティカルケア領域における看護師の成長モデルと臨床推論との結びつき<br>Relations between critical care nurse's progress model and Clinical Reasoning                           |
| GS2503   | 移行理論とは何か、その真髄<br>The essence of Transition Theory and its effect on nursing practice<br>アフアフ・イブラヒム・メレイス 先生 ペンシルベニア大学                          |
| GS2503-a | 移行理論とは何か、その真髄<br>The essence of Transition Theory and its effect on nursing practice                                                          |
| GS2504   | 移行理論の実践への応用とそのアウトカム<br>Application and outcome of Transition Theory in nursing<br>アフアフ・イブラヒム・メレイス 先生 ペンシルベニア大学                                |
| GS2504-a | 移行理論の実践への応用とそのアウトカム<br>Application and outcome of Transition Theory in nursing                                                                |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                                                     |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| GS2505   | 移行理論の発展と未来<br>Development of Transition Theory and future<br>アフアフ・イブラヒム・メレイス 先生 ペンシルベニア大学                          |
| GS2505-a | 移行理論の発展と未来<br>Development of Transition Theory and future                                                          |
| GS2506   | ヒューマンケアリング理論の真髄<br>The essence of Human Caring Theory<br>ジーン・ワトソン 先生 コロラド大学                                        |
| GS2506-a | ヒューマンケアリング理論の真髄<br>The essence of Human Caring Theory                                                              |
| GS2507   | 基礎看護教育へのヒューマンケアリング理論の活用<br>How to integrate Human Caring Theory into basic nursing education<br>ジーン・ワトソン 先生 コロラド大学 |
| GS2507-a | 基礎看護教育へのヒューマンケアリング理論の活用<br>How to integrate Human Caring Theory into basic nursing education                       |
| GS2508   | ヒューマンケアリングの臨床実践<br>Clinical practice of Human Caring<br>ジーン・ワトソン 先生 コロラド大学                                         |
| GS2508-a | ヒューマンケアリングの臨床実践<br>Clinical practice of Human Caring                                                               |

## チェック動画ライブラリ

テストなし ワークなし

全テーマ通年配信

リニューアル

コンパクトに学べるチェック動画がいつでも視聴可能！

| コード      | カテゴリ              | テーマ名                    |
|----------|-------------------|-------------------------|
| MV0100-a | 与薬（輸液ポンプ・シリンジポンプ） | 輸液ポンプ・シリンジポンプ           |
| MV0200-a | 感染対策              | あなたの手はきれいですか            |
| MV0200-b |                   | 手指消毒                    |
| MV0200-c |                   | 手洗い                     |
| MV0200-d |                   | 嘔吐物・排泄物の処理方法            |
| MV0200-e |                   | 個人防護具の着用方法              |
| MV0200-f |                   | 個人防護具のはずし方              |
| MV0200-g |                   | 咳エチケット                  |
| MV0300-a | 救急救命処置（急変対応）      | 前日の患者との会話から予測（良い例・悪い例）  |
| MV0300-b |                   | 急変患者の気づき                |
| MV0300-c |                   | 急変患者発見時の対応              |
| MV0400-a | 社会人基礎力（接遇）        | クレーム対応                  |
| MV0400-b |                   | ことばの伝え方                 |
| MV0400-c |                   | 挨拶のポイント                 |
| MV0400-d |                   | お悩み解決ラボ<br>～コミュニケーション編～ |
| MV0500-a | 医療安全（アンガーマネジメント）  | 怒っている人がいたら              |
| MV0500-b |                   | 場所の優劣                   |
| MV0500-c |                   | 距離を取る                   |
| MV0500-d |                   | それぞれの場面で                |

| コード      | カテゴリ              | テーマ名           |
|----------|-------------------|----------------|
| MV0600-a | チーム医療（多職種カンファレンス） | 共有編（よくない例・よい例） |
| MV0600-b |                   | 基本編（よくない例・よい例） |
| MV0600-c |                   | 実践編（よくない例・よい例） |
| MV0700-a | 呼吸                | 咳嗽の介助          |
| MV0700-b |                   | 呼吸介助法～臥位～      |
| MV0700-c |                   | 呼吸介助法～座位～      |
| MV0700-d |                   | ハフティング～座位～     |
| MV0700-e |                   | 口鼻腔吸引          |
| MV0700-f |                   | 閉鎖式吸引          |
| MV0800-a | 注射・採血             | 静脈血採血          |
| MV0800-b |                   | 筋肉内注射          |
| MV0800-c |                   | 皮下注射           |
| MV0800-d |                   | 静脈注射           |
| MV0900-a | シミュレーション教育        | 急変対応シミュレーション   |
| MV0900-b |                   | 接遇シミュレーション     |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

# 院内全体研修コース

医療施設で働くすべての方に知ってほしい・身につけてほしいテーマ

## 医療安全関連

監修 杉山 良子 先生 一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、  
パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）主幹 / 看護師

全テーマ年間配信

リニューアル

働き方の見直しから組織で医療安全の再構築を考える

1テーマ約10分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                               | 到達目標                                                                                           |
|----------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CA2501   | 医療安全文化の醸成<br>～現在の課題を原点に戻って考えよう～<br>小林 美雪 先生 山梨医療安全研究会        | 医療安全                                                                                           |
| CA2501-a | 医療を取り巻く現状と安全の課題                                              | ●日本の医療を取り巻く現状と安全の課題を知り、自施設の課題から、医療安全対策を考える                                                     |
| CA2501-b | 医療安全文化を醸成するための考え方<br>～医療安全文化の理解～                             | ●「安全文化の醸成とは」を理解し、自施設の安全文化を醸成する方策を考える                                                           |
| CA2502   | 組織の医療安全文化を支えるインシデントレポートと報告書管理体制を知ろう！<br>高山 詩穂 先生 聖徳大学        | 医療安全                                                                                           |
| CA2502-a | インシデントレポートが医療安全文化になぜ必要か                                      | ●インシデントレポートがなぜ必要か理解する                                                                          |
| CA2502-b | 事例から得た教訓をいかに改善につなげるか                                         | ●インシデント・アクシデント発生時における組織の一般的な報告体制の概要を知る<br>●報告書管理体制の概要と必要性が理解できる                                |
| CA2503   | 形骸化させない！安全確保につながる確認業務<br>田中 健次 先生 電気通信大学                     | 医療安全                                                                                           |
| CA2503-a | 確認業務を確実に実施するために                                              | ●おちいりやすい誤った確認方法を知り、各タイミングでの適切な確認方法を理解する<br>●確認作業の形骸化は禁物。確認の目的を理解し、ミスにより発生する事故を予測し、的確な確認作業を実施する |
| CA2503-b | 効果的なダブルチェックを実施するために                                          | ●ダブルチェックの落とし穴を理解し、多重化ではなく多様性を取り入れた有効なダブルチェックの方法を身につける                                          |
| CA2504   | 医療安全文化醸成のための感性を磨く<br>～TeamSTEPPS®・5Sのすすめ～<br>辰巳 陽一 先生 近畿大学病院 | 医療安全                                                                                           |
| CA2504-a | チーム医療における5Sの意味を考えよう                                          | ●チーム医療における5Sの意味について理解することができる                                                                  |
| CA2504-b | TeamSTEPPS®の理解                                               | ●心理的安全性のあるチームをつくるための、チームの共通概念であるTeamSTEPPS®について述べるができる                                         |
| CA2551   | Let's ナッジ！医療安全をポジティブにとらえよう<br>辰巳 陽一 先生 近畿大学病院                | 医療安全                                                                                           |
| CA2551-a | 医療安全におけるナッジとは？<br>～行動経済学と医療安全～                               | ●行動経済学の観点からナッジの考え方が理解できる                                                                       |
| CA2551-b | ナッジによる行動変容のしくみと評価                                            | ●行動のボトルネックを理解し、ナッジを活かした改善策が検討できる                                                               |
| CA2551-c | ナッジの医療安全活動への活用                                               | ●ナッジを医療安全活動に活かすための具体策を考えることができる                                                                |
| CA2599   | 動画で実践！みんなで取り組むKYT！<br>～KYT事例動画アーカイブ～<br>黒川 美知代 先生 武蔵野赤十字病院   | テストなし 医療安全                                                                                     |
| CA2599-a | 動画で実践！みんなで取り組むKYT！<br>～KYT事例動画アーカイブ～                         |                                                                                                |

新規配信テーマ 継続配信テーマ

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                            | 到達目標                                                                                                                            |
|----------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CB2501   | <b>基本を再確認！ 感染経路の理解</b><br>服部 智美 先生 日本赤十字社 愛知医療センター<br>名古屋第二病院             | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2501-a | 感染経路別にみた感染症の理解                                                            | ●感染経路の種類が理解できる                                                                                                                  |
| CB2501-b | もう一度確認する標準予防策                                                             | ●標準予防策がなぜ有効なのか理解できる                                                                                                             |
| CB2501-c | 感染経路別予防策の基本                                                               | ●自施設における感染経路別予防策の現状を知り、自施設に即した感染経路別予防策をあげることができる                                                                                |
| CB2502   | <b>基本を再確認！ ノロウイルス感染症対策</b><br>桑山 祐樹 先生 愛知県医療療育総合センター中央病院                  | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2502-a | ノロウイルス感染症の基本                                                              | ●ノロウイルスの特徴を知り、対応上の注意点をあげることができる                                                                                                 |
| CB2502-b | ノロウイルス感染症の予防                                                              | ●ノロウイルス感染症の予防について自施設で取り組める方法がわかる                                                                                                |
| CB2502-c | ノロウイルス感染症対策の実践                                                            | ●吐瀉物処理方法を含むアウトブレイク対策が実践できる                                                                                                      |
| CB2503   | <b>基本を再確認！ インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策</b><br>脇 眞澄 先生 あいち小児保健医療総合センター          | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2503-a | インフルエンザの基本                                                                | ●インフルエンザの特徴を知り、感染対策上の注意点をあげることができる                                                                                              |
| CB2503-b | 新型コロナウイルス感染症の基本                                                           | ●新型コロナウイルス感染症の特徴を知り、感染対策上の注意点をあげることができる                                                                                         |
| CB2503-c | 新興感染症への備え                                                                 | ●新興感染症とは何かを理解する<br>●感染経路と経路別対策を理解する<br>●日頃から備えておくべきことを理解する                                                                      |
| CB2504   | <b>アウトブレイクを回避しよう<br/>～注意すべき感染症とその対策～</b><br>島崎 豊 先生 NPO 法人 日本・アジア口腔保健支援機構 | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2504-a | 注意すべき感染症の動向～麻疹・風疹など～                                                      | ●注意すべき感染症の種類をあげることができる                                                                                                          |
| CB2504-b | 注意すべき感染症への対応策                                                             | ●注意すべき感染症の特徴をふまえた対応策をあげることができる                                                                                                  |
| CB2504-c | ワクチンを有効に活用するために                                                           | ●ワクチンの特徴を知り、抗体価確認方法がわかる                                                                                                         |
| CB2505   | <b>抗菌薬使用の実践と適正使用</b><br>高橋 弘泰 先生 海南病院                                     | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2505-a | 抗菌薬投与の基本～患者モニタリング～                                                        | ●感染症がどの診療科でも起こり得る疾患であることをふまえ、感染症患者のモニタリングに必要な感染症診療の基本を理解する<br>●抗菌薬投与を開始するまでを中心に、感染症治療の流れを理解できる<br>●感染症治療に必要な情報を確認できる            |
| CB2505-b | 抗菌薬投与の基本～敗血症について～                                                         | ●年齢・性別を問わず誰もが罹患し得る敗血症の概念をふまえ、原因や症状、危険性を正しく理解できる<br>●敗血症の診断と治療の流れがわかる<br>●ショックや著しい臓器障害により死に至る場合もあることを理解し、医療チームの一員として、正しい知識を身につける |
| CB2505-c | 抗菌薬の適正使用                                                                  | ●抗菌薬の適正使用の目的を説明できる<br>●医師がどのようなことを考えて抗菌薬の選択をするのかを知り、抗菌薬の適正使用の一連のプロセスを説明できる                                                      |
| CB2505-d | 薬剤耐性（AMR）対策に必要な実践上の注意点                                                    | ●世界的な問題となっている薬剤耐性菌についての知識を身につける<br>●心がけるべき薬剤耐性（AMR）対策を知り、明日から取り組む実践内容をあげることができる                                                 |
| CB2551   | <b>医療従事者として知っておきたい<br/>薬剤耐性菌の基本と対策</b><br>島崎 豊 先生 NPO 法人 日本・アジア口腔保健支援機構   | <b>感染対策</b>                                                                                                                     |
| CB2551-a | 薬剤耐性菌の基礎と近年の動向                                                            | ●薬剤耐性菌に関する基礎知識と、近年の問題や対策の動向について説明できる                                                                                            |
| CB2551-b | 薬剤耐性菌の院内感染                                                                | ●主な薬剤耐性菌と注意すべき薬剤耐性菌が説明できる<br>●薬剤耐性菌の院内感染がどのように起こるか説明できる                                                                         |
| CB2551-c | アウトブレイク発生時の対応                                                             | ●薬剤耐性菌のアウトブレイクが発生したときの対応がわかる                                                                                                    |
| CB2551-d | 地域とつながる薬剤耐性菌対策                                                            | ●地域全体での薬剤耐性菌対策について知り、自施設の役割を1つあげることができる                                                                                         |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

日々の「もやもや」に気づいて立ち止まり、みんなで考えてみよう

1テーマ約10分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                      | 到達目標                                                                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CD2501   | 立ち止まる臨床倫理のススメ<br>金城 隆展 先生 琉球大学病院                    | テストなし 倫理                                                                                                                                                 |
| CD2501-a | 倫理とは？ 倫理的になるとは？ 倫理的な人とは？                            | ● 倫理とは何かを理解し説明できる<br>● 選択（倫理）と人生がどのように関連しているかを説明できる<br>● 2種類の自由を理解し、それがどのように倫理につながるのかを説明できる                                                              |
| CD2501-b | 選択に向き合う姿勢としての倫理                                     | ● 「倫理とは姿勢である」とはということかを理解し説明できる<br>● 服従・慣習・模倣・情性・可能な選択がなぜ倫理的選択でないかを説明できる<br>● 臨床で「立ち止まる倫理」を実践する自分自身をイメージすることができる                                          |
| CD2501-c | 立ち止まり正しく悩むための倫理                                     | ● 「悩むための倫理」がどういう倫理かをイメージでき、それに自分自身を重ねることができる<br>● 「正しく悩む」とはということかを理解し説明できる<br>● 倫理の反意語は何かを説明できる<br>● 中庸（中間の倫理）を説明でき、日々の生活に応用することができる                     |
| CD2501-d | 臨床倫理のトリセツ                                           | ● 臨床倫理のしかたを理解して実践できる ● 法律と専門職倫理の違いを説明できる<br>● 最低限と最大限の倫理の違いを理解し、自分自身の実践にあてはめることができる<br>● なぜ自分の道徳的判断に自信をもつべきでないかを理解できる<br>● 臨床倫理で一番大事な原則が何かと問われて答えることができる |
| CD2502   | 臨床倫理実践<br>～患者の幸福をナラティブから見つけ出す～<br>金城 隆展 先生 琉球大学病院   | テストなし 倫理                                                                                                                                                 |
| CD2502-a | みんなで支える ACP<br>～患者の尊厳から～                            | ● 患者の尊厳を守る医療を説明できる ● ACPとは何かを説明できる<br>● 選択の準備ができていない患者に選択（ACP）を強要しないようにするためにどうすればよいかを説明できる                                                               |
| CD2502-b | 患者の幸福を考えるためのナラティブ<br>～スキルとナラティブの二刀流～                | ● 物語・ナラティブを説明することができる ● 物語る動物の意味を説明することができる<br>● スキルとナラティブの違いを理解し、患者の幸福のためにはどのような倫理的姿勢が求められるかを説明できる                                                      |
| CD2502-c | 事例でみるナラティブ<br>～患者の幸福を共同著作する～                        | ● 共同著作の観点から臨床を定義することができる<br>● 患者の尊厳に基づいた選択について一人ひとりができることは何か、自施設にあてはめて考えることができる<br>● 「医療介護職者は杖である」という比喩を理解して説明できる                                        |
| CD2503   | 看護職のための倫理<br>～人生の最終段階における意思決定を支える～<br>木澤 義之 先生 筑波大学 | 倫理                                                                                                                                                       |
| CD2503-a | 人生の最終段階における意思決定とは？                                  | ● 人生の最終段階ではどのような意思決定が必要なのか理解できる                                                                                                                          |
| CD2503-b | 人生の最終段階にある患者を支えるためにどうするか                            | ● 意思決定のプロセスがわかる ● 本人の意思決定能力を評価できる<br>● 代理意思決定：患者を支えるために家族等を支援できる                                                                                         |
| CD2503-c | 事例から考える 意思決定を支えるためのポイント                             | ● 事例から意思決定支援のポイントを学び、明日から自分ができることを1つあげられる                                                                                                                |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

## 非常時対応関連

非常時にも盤石な医療体制を構築できる対応力を備えた医療従事者になるための学びをサポート

1テーマ約10分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                           | 到達目標                                  |
|----------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| CH2501   | 実効性のある BCP を策定・運用するための考え方<br>笠岡 俊志 先生 熊本大学病院             |                                       |
| CH2501-a | なぜ医療機関に BCP が必要なのか                                       | ● 医療機関における BCP の必要性がわかる               |
| CH2501-b | 感染症型、災害型 BCP それぞれのポイント                                   | ● 感染症および災害それぞれに応じた BCP の違いがわかる        |
| CH2501-c | BCP を絵に描いた餅にしないために必要なこと                                  | ● BCP の実効性を高めるための方法がわかる               |
| CH2502   | 災害に負けない病院づくりのポイント<br>～実際の災害事例に学ぶ有事への備え～<br>富岡 譲二 先生 米盛病院 |                                       |
| CH2502-a | 医療機関が抱えている災害リスク                                          | ● 医療機関が抱える災害リスクをふまえた備えのあり方がわかる        |
| CH2502-b | 地域全体で考える医療防災                                             | ● 医療防災における自施設外との連携方法を1つあげられる          |
| CH2502-c | 災害に負けない体制づくり ～事例に学ぶ災害時医療のいろは～                            | ● 災害に遭遇することを想定した体制づくりに必要なことを1つあげられる   |
| CH2551   | 復興事例に学ぶ災害に強い医療機関になるために<br>笠岡 俊志 先生 熊本大学病院                |                                       |
| CH2551-a | 災害時の医療ニーズに応える多施設間との連携                                    | ● 多職種間との連携の必要性がわかる ● 多施設間との連携の必要性がわかる |
| CH2551-b | 災害関連死を防ぐ医療機関の対応策                                         | ● 災害関連死を防ぐための対応策がわかる                  |
| CH2551-c | 災害に強くなるための平時の備え                                          | ● 災害を想定し、平時から準備しておくべきことがわかる           |
| CH2552   | 知見から学ぶ水害対策タイムライン防災計画<br>笠岡 俊志 先生 熊本大学病院                  |                                       |
| CH2552-a | 水害の特徴とその対策の考え方                                           | ● 水害の特徴を知り、その対策の考え方がわかる               |
| CH2552-b | 自施設の浸水リスクをいかに把握するか                                       | ● 自施設の建物・設備の特徴を知り、浸水リスクを把握する方法がわかる    |
| CH2552-c | 水害タイムライン防災計画の必要性                                         | ● 水害の被害度合に合わせた対策の必要性がわかる              |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

病院全体で質の高いケアを提供するための知識を深め、実践につなげる

1テーマ約10分

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                                 | 到達目標                                                                                                                                       |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CJ2501   | 医療従事者が知っておきたいヤングケアラー支援<br>横山 恵子 先生 横浜創英大学                                      | 地域包括ケア                                                                                                                                     |
| CJ2501-a | ヤングケアラーとは                                                                      | ●ヤングケアラーについて知る                                                                                                                             |
| CJ2501-b | ヤングケアラーの特徴を知る                                                                  | ●ヤングケアラーの特徴について知る                                                                                                                          |
| CJ2501-c | ヤングケアラー支援に必要な多職種・他機関連携での支援                                                     | ●ヤングケアラーに必要な支援を理解する                                                                                                                        |
| CJ2502   | 医療従事者が知っておくべき身体拘束最小化の考え方<br>小里 佳嵩 先生 G&S 法律事務所                                 | 医療安全                                                                                                                                       |
| CJ2502-a | 身体拘束の必要性と廃止・防止の取組み                                                             | ●身体拘束の必要性となぜ身体拘束を廃止・防止するように取り組むべきなのかがわかる                                                                                                   |
| CJ2502-b | 身体拘束の基準と手続き                                                                    | ●身体拘束が例外的に許容される場合の判断基準とその手続きがわかる                                                                                                           |
| CJ2502-c | 事例で学ぶ身体拘束廃止・防止                                                                 | ●身体拘束最小化のための、身体拘束 3 要件の具体的検討、適正な手続きの手順がわかる                                                                                                 |
| CJ2503   | 医療ガスの安全管理にかかわる基本的な考え方<br>小林 剛志 先生 平塚共済病院                                       | 医療安全                                                                                                                                       |
| CJ2503-a | 医療用ガスボンベの基本<br>～酸素ボンベの正しい取り扱い方の知識～                                             | ●医療用ガスボンベについて学び、安全に使用するための保管・運搬方法と圧力調整器・酸素流量計の取り扱いの留意点がわかる                                                                                 |
| CJ2503-b | 医療ガスの配管設備の基本～配管の知っておくべき知識～                                                     | ●医療ガスの配管設備の概要がわかる                                                                                                                          |
| CJ2503-c | 医療ガスのリスクとヒヤリハット事例                                                              | ●医療ガスのヒヤリハット事例よりそのリスクを学び、医療ガス事故の防止策を 1 つあげられる                                                                                              |
| CJ2504   | 意識を変える！ 医療機関のサイバーセキュリティ<br>福田 秀樹 先生 徳洲会インフォメーションシステム株式会社                       |                                                                                                                                            |
| CJ2504-a | 身近に迫るサイバー攻撃のリスク                                                                | ●身近にどのようなサイバー攻撃のリスクがあるのか 1 つあげられる                                                                                                          |
| CJ2504-b | 私たちにできるサイバーセキュリティ対策                                                            | ●きょうからできるサイバーセキュリティ対策を 1 つあげられる                                                                                                            |
| CJ2504-c | サイバーセキュリティの意識を高めるために                                                           | ●サイバーセキュリティの意識を高めるために必要な取り組みを 1 つあげられる                                                                                                     |
| CJ2505   | 高齢者虐待のとりえと対応<br>岸 恵美子 先生 東邦大学                                                  | 医療安全                                                                                                                                       |
| CJ2505-a | 高齢者虐待の定義と通報義務                                                                  | ●高齢者虐待の定義を学び、通報義務の重要性がわかる                                                                                                                  |
| CJ2505-b | 高齢者虐待の実態                                                                       | ●高齢者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる                                                                                                      |
| CJ2505-c | 高齢者虐待防止に向けた対応                                                                  | ●高齢者虐待防止に向けて、自施設で必要な対応を 1 つあげられる                                                                                                           |
| CJ2506   | 障害者虐待のとりえと対応<br>奈須 康子 先生 北九州市立総合療育センター—西部分所                                    | 医療安全                                                                                                                                       |
| CJ2506-a | 障害者虐待の定義と通報義務～重症心身障害を中心に～                                                      | ●障害者虐待の定義を学び、通報義務の重要性を理解する                                                                                                                 |
| CJ2506-b | 障害者虐待の実態～重症心身障害を中心に～                                                           | ●障害者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる                                                                                                      |
| CJ2506-c | 障害者虐待防止に向けた対応～重症心身障害を中心に～                                                      | ●障害者虐待防止に向けて、自施設で必要な対応を 1 つあげられる                                                                                                           |
| CJ2551   | 放射線診療従事者に必要な診療用放射線の基礎知識と安全管理<br>～医療安全に必要な知識と指針の策定・改訂～<br>關 良充 先生 川口パークタワークリニック | 医療安全                                                                                                                                       |
| CJ2551-a | 医療被ばくの基本的考え方と患者への適切な情報提供                                                       | ●診療用放射線の安全な利用に関する基礎知識を学び、患者への適切な医師の説明 / 補助説明の必要性がわかる<br>●患者と医療従事者間の情報共有の必要性を 1 つあげることができる                                                  |
| CJ2551-b | 放射線診療の正当化と防護の最適化のための指針と研修                                                      | ●診療用放射線安全利用のための指針を理解し、放射線診療の正当化と防護の最適化の重要性が説明できる<br>●放射線従事者等に対する診療用放射線に係る安全管理のための職員研修の項目と対象者がわかる                                           |
| CJ2551-c | 放射線障害が生じた場合の対応<br>～患者家族と医療従事者間の情報共有のポイント～                                      | ●患者と医療従事者の情報共有のポイントを理解し、放射線障害が生じた場合の患者・家族への適切な対応方法がわかる<br>●患者家族と医療従事者間の情報共有の必要性を 1 つあげることができる<br>●立ち入り検査時に使用する、放射線施設自主管理チェックリストのポイントが理解できる |
| CJ2552   | 医療現場で求められる LGBTQ+ への理解と支援<br>～すべての人が受けやすい医療をめざして～<br>中西 純 先生 ウィル訪問看護ステーション     |                                                                                                                                            |
| CJ2552-a | 性的マイノリティと SOGI について知る                                                          | ●LGBTQ + と SOGI について説明できる<br>●カミングアウトとアウティングの違いについて説明できる                                                                                   |
| CJ2552-b | セクシュアリティ（性のあり方）と医療現場での課題                                                       | ●さまざまなセクシュアリティの人が医療現場で直面する課題について説明できる                                                                                                      |
| CJ2552-c | すべての SOGI が受けやすい医療のために                                                         | ●すべての SOGI が受けやすい医療を実現するために、自施設で取り組む課題を 1 つ以上あげることができる                                                                                     |

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                             | 到達目標                                                    |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| CJ2553   | 医療職が知っておくべき障害者福祉関連法<br>～福祉の視点を知る～<br>宮島 渡 先生 日本社会事業大学専門職大学院                |                                                         |
| CJ2553-a | わが国の障害者を取り巻く福祉施策                                                           | ●現在のわが国における福祉施策の方向性がわかる                                 |
| CJ2553-b | 医療にかかわる障害者福祉に関する法律                                                         | ●医療にかかわる障害者福祉に関する法律の目的や内包するサービスについて説明できる                |
| CJ2553-c | 障害をもつ人がより自分らしく生きられる社会とは                                                    | ●合理的配慮の基本的な考え方について理解できる<br>●障害者の意思決定支援の理念について理解できる      |
| CJ2554   | 子ども虐待を見逃さないために<br>中島 由美子 先生 訪問看護ステーション愛美園                                  |                                                         |
| CJ2554-a | 子どもの虐待とは                                                                   | ●子ども虐待の現状と課題について説明できる                                   |
| CJ2554-b | 子ども虐待のサイン                                                                  | ●子ども虐待の定義および観察のポイントを理解する                                |
| CJ2554-c | 地域の連携による子ども虐待への対応と支援                                                       | ●子ども虐待への援助の基本的考え方を学び、関係機関との連携および自施設での対応について再確認する        |
| CJ2555   | 一般急性期の現場における身体拘束を考える<br>日向 園恵 先生 石巻赤十字病院                                   | <b>医療安全</b>                                             |
| CJ2555-a | 急性期における身体拘束の現状                                                             | ●急性期における身体拘束の現状について説明できる                                |
| CJ2555-b | 身体拘束の倫理的なジレンマ                                                              | ●急性期における身体拘束にかかわる倫理的な課題について知り、自施設の状況を説明できる              |
| CJ2555-c | 急性期病棟での身体拘束最小化をめざすために                                                      | ●急性期病棟での身体拘束最小化をめざすために必要なポイントがわかる                       |
| CJ2556   | みんなでめざす「ハラスメントのない職場」とは<br>五井 淳子 先生 アクティ労務管理事務所                             |                                                         |
| CJ2556-a | ハラスメントが起きやすい？ 医療現場の環境                                                      | ●ハラスメントが発生しやすいとされる医療現場の特徴と課題について説明できる                   |
| CJ2556-b | ハラスメントにあたる行動・あたらない行動                                                       | ●ハラスメントにあたる行動・あたらない行動について、考え方の基本を説明できる                  |
| CJ2556-c | 心理的安全性とハラスメントのない職場                                                         | ●心理的安全性について知り、ハラスメントのない職場を実現するために明日から取り組む課題を1つあげることができる |
| CJ2557   | 医療者として知っておきたい「患者の権利」<br>～相互理解のためのコミュニケーション～<br>山口 育子 先生 ささえあい医療人権センター COML | <b>テストなし</b>                                            |
| CJ2557-a | 「知る権利」と患者の現状<br>～ICからSDMへ～                                                 | ●現在の医療における患者の意識と傾向について理解できる                             |
| CJ2557-b | 患者のプライバシーを守るために                                                            | ●患者のプライバシーを守るために自分が明日からできることを1つあげられる                    |
| CJ2557-c | 患者・医療者がともに理解しあうための対応                                                       | ●患者とのコミュニケーション能力アップのために自分が明日から使う「ひとこと」をあげられる            |

☐ 新規配信テーマ ☐ 継続配信テーマ

| コード      | セッション名・講師・テーマ名                                                | 到達目標                                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CK2501   | よくわかる個人情報保護の基本と取り扱い方<br>～医療現場編～<br>南 陽輔 先生 一步法律事務所            |                                                                                                      |
| CK2501-a | 個人情報保護とは何か                                                    | ●個人情報保護法の基本が理解できる                                                                                    |
| CK2501-b | 個人情報保護に対する基本的な考え、取り組み                                         | ●個人情報の取り扱い方を学び、自施設で必要な取り組みを1つあげられる                                                                   |
| CK2501-c | 個人情報の取り扱いについて                                                 | ●「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」の概要がわかる                                                         |
| CK2502   | 医療職のためのメンタルヘルスマネジメント<br>川村 道子 先生 宮崎県立看護大学                     |                                                                                                      |
| CK2502-a | 医療職の特性からみるメンタルヘルス                                             | ●医療職の特性からメンタルヘルセルフマネジメントの重要性を理解する                                                                    |
| CK2502-b | メンタルヘルスを意識した日々の暮らし                                            | ●メンタルヘルスを意識した暮らし（活動と休息）の創出について、エビデンスベースで理解する                                                         |
| CK2502-c | 良好な職場環境とメンタルヘルス                                               | ●職場環境のなかでメンタルヘルスに及ぼす影響を理解し、対処法を講じることができる                                                             |
| CK2503   | 働き方改革につなげる多職種連携のあり方<br>田中 恭子 先生 ペガサス 馬場記念病院                   |                                                                                                      |
| CK2503-a | 医療従事者に必要な多職種連携とは                                              | ●医療従事者による多職種連携の必要性がわかる                                                                               |
| CK2503-b | 多職種連携が機能するために                                                 | ●多職種連携がうまく機能するために必要な取り組みを1つあげられる                                                                     |
| CK2503-c | 多職種連携でのかかわり方                                                  | ●多職種連携での自身の役割を見出し、どのようにかわれるか考えることができる                                                                |
| CK2504   | 電話・メールの基本マナー<br>～社会人としてのファースト・ステップ～<br>平岡 弓枝 先生 国立がん研究センター東病院 |                                                                                                      |
| CK2504-a | 新医療人としてのビジネスマナー：電話編                                           | ●新医療人として基本的な電話対応の方法がわかる                                                                              |
| CK2504-b | 新医療人としてのビジネスマナー：メール編                                          | ●新医療人として基本的なメール文面の作成方法がわかる                                                                           |
| CK2504-c | ビジネスマナーを実践するとは                                                | ●電話・メールのビジネスマナーを理解し、ていねいな対応ができる                                                                      |
| CK2551   | あいさつからはじまる接遇マナー<br>村尾 孝子 先生 株式会社スマイル・ガーデン                     |                                                                                                      |
| CK2551-a | 信頼関係を築く医療接遇のあり方                                               | ●信頼される医療人になるための意識づけができる<br>●医療人として、基本的なビジネスマナーを身につける<br>●医療接遇の必要性を理解し、適切なふるまいと円滑なコミュニケーションがとれる       |
| CK2551-b | 医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」のチカラ                                   | ●あいさつの意義を理解し、「自分から先に」積極的にあいさつができる<br>●あいさつを実践して、多職種との円滑なコミュニケーションに活用できる<br>●患者さんをいたわり、心のかもったあいさつができる |
| CK2552   | クレーム対応<br>～二次クレームを予防するために～<br>村尾 孝子 先生 株式会社スマイル・ガーデン          |                                                                                                      |
| CK2552-a | これだけは知っておきたいクレーム対応                                            | ●クレームに含まれる患者さんの気持ちを理解することができる<br>●クレームが起こる原因や理由を理解することができる<br>●ポイントをおさえたクレーム対応を理解できる                 |
| CK2552-b | 二次クレームを予防する心得                                                 | ●二次クレームの発生要因を理解できる<br>●二次クレームの予防に必要な初期対応を理解できる<br>●二次クレームを予防するポイントを理解できる                             |
| CK2552-c | 動画で学ぶ電話対応                                                     | ●動画を参考に電話対応方法をイメージできる<br>●電話でのクレーム対応の悪い例を見て、何が問題なのか理解する<br>●電話でのクレーム対応の良い例を見て、望ましいクレーム対応を理解する        |
| CK2553   | 働きがい向上のためのキャリアプランを立てよう<br>永井 則子 先生 有限会社ビジネスブレーン               | テストなし キャリア開発                                                                                         |
| CK2553-a | やりがい感の源・自己資源を把握する                                             | ●キャリアデザインの重要性に気づく<br>●自己資源把握の進め方を理解する                                                                |
| CK2553-b | 組織とのコミットメントを考える                                               | ●組織における役割について理解する<br>●労働者としての市場価値の棚卸をする<br>●ワークライフバランスについて考える                                        |
| CK2553-c | キャリアプランを立てる                                                   | ●キャリア形成に影響する外的要因を理解する<br>●リスクリングを考える<br>●キャリアプランを立てる                                                 |
| CK2554   | 組織の活性化と職員自身の成長につながる<br>コミュニケーションの力！<br>青木 正人 先生 株式会社ウエルビー     |                                                                                                      |
| CK2554-a | 医療機関のコミュニケーションの特徴は？                                           | ●円滑で確実なコミュニケーションをはかるポイントがわかる                                                                         |
| CK2554-b | コミュニケーションをとるのはなぜ難しい？                                          | ●コミュニケーションスキル向上のポイントをつかむ                                                                             |
| CK2554-c | 組織力を高めるコミュニケーションとは？                                           | ●チームビルディングを支えるコミュニケーションのあり方を理解する                                                                     |

## 看護管理者特別コース I

監修 任 和子 先生 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻  
先端中核看護科学講座 生活習慣病看護学分野 教授

全テーマ通年配信

<基礎・概論編>認定看護管理者 セカンド・サードレベルが学びたいレジリエントな組織デザイン

1テーマ約15分

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                         | 到達目標                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| HEA2551   | 医療・介護・福祉をつなぐ<br>次世代ヘルスケアシステムを展望する<br>～DX、病院経営を含めて～<br>宮田 俊男 先生 早稲田大学   |                                                                     |
| HEA2551-a | わが国の課題と医療・介護・福祉をつなぐ戦略：<br>看護職の裁量発揮                                     | ●特定行為研修制度などに関連した看護職の裁量発揮に関する施策がわかる                                  |
| HEA2551-b | わが国の課題と医療・介護・福祉をつなぐ戦略：<br>健康寿命延伸                                       | ●少子高齢化の現状と健康寿命延伸に関する施策がわかる                                          |
| HEA2551-c | 健康づくりに取り組む 5 つの実行宣言 2025                                               | ●健康づくりに取り組む 5 つの実行宣言 2025 がわかる                                      |
| HEA2551-d | 次世代ヘルスケアシステムにおける DX と病院経営                                              | ●看護管理者として自施設で取り組むべき課題をあげ、実践できる                                      |
| HEA2552   | 看護部全体で取り組む診療報酬改定<br>加藤 源太 先生 京都大学医学部附属病院                               |                                                                     |
| HEA2552-a | 医療保険制度の概要と意義                                                           | ●医療保険制度について説明できる                                                    |
| HEA2552-b | 令和 6 年度診療報酬改定のポイント                                                     | ●令和 6 年度診療報酬改定からとくに自施設と関連する内容を 1 つあげ、説明できる                          |
| HEA2552-c | 看護師が活躍できる場面と多職種連携                                                      | ●診療報酬のなかで、看護師が活躍できる場面や多職種連携の取り組みについて知る                              |
| HEA2552-d | 看護部全体での取り組みを支える看護管理者の役割                                                | ●看護部全体で診療報酬に対応するために、看護管理者として取り組むべき課題をあげ、実践できる                       |
| HEA2553   | 労務管理で組織のモチベーションアップを実現する<br>～ワーク・エンゲイジメント向上のために～<br>松村 真吾 先生 株式会社メディサイト | <b>キャリア開発</b>                                                       |
| HEA2553-a | 看護部に求められる変化<br>「働き続けられる職場」のために                                         | ●「働き方改革」をふまえた「働き続けられる職場」の実現のために、看護部が果たすべき役割について知り、説明できる             |
| HEA2553-b | ワーク・エンゲイジメントとバーンアウト                                                    | ●ワーク・エンゲイジメントの基本的な考え方を知り、バーンアウトを防ぐために看護管理者として取り組むべき課題を 1 つあげることができる |
| HEA2553-c | 労務管理の実践：<br>ウェルビーイングの観点や承認欲求を活用する                                      | ●はたらくウェルビーイングにつながる労務管理の基本的な考え方について説明できる                             |
| HEA2553-d | ウェルビーイング向上を阻害するハラスメント<br>～ハラスメント NG を徹底させる～                            | ●ハラスメントになり得るポイントを学び、対策を 1 つあげることができる                                |
| HEA2553-e | 労務管理の実践：組織のモチベーションアップ                                                  | ●組織のモチベーションアップにつながる労務管理の具体策を知り、実践できる                                |
| HEA2554   | いまこそ押さえない医療安全・危機管理<br>～看護管理者として組織を守り、人を育てる～<br>松村 由美 先生 京都大学医学部附属病院    | <b>医療安全</b>                                                         |
| HEA2554-a | 医療事故発生時に看護管理者がなすべきこと                                                   | ●医療事故発生時における看護管理者の心構えを説明できる                                         |
| HEA2554-b | 医療事故発生メカニズム                                                            | ●医療事故発生メカニズムを 3 つのモデルを用いて説明できる                                      |
| HEA2554-c | ヒューマンファクターに着目した医療事故防止対策                                                | ●ヒューマンファクターに着目した医療事故防止対策について知り、自施設で実践できる                            |
| HEA2554-d | 危機発生時のマネジメント                                                           | ●危機発生時のマネジメントで自身が果たすべき役割について考え、1 つあげることができる                         |
| HEA2555   | ゴキゲンな看護管理者になる！<br>任 和子 先生 京都大学大学院                                      | <b>テストなし キャリア開発</b>                                                 |
| HEA2555-a | きょうの仕事は楽しみです                                                           | ●看護管理者の「ゴキゲン」をイメージすることができる                                          |
| HEA2555-b | ゴキゲンな看護管理者でいるためにできること                                                  | ●ゴキゲンな看護管理者でいるためにできることがわかる                                          |
| HEA2555-c | 「ゴキゲンな看護部」をつくる看護管理                                                     | ●「ゴキゲンな看護部」をつくる具体策を 1 つ考え、実践できる                                     |
| HEA2556   | スタッフがヒーローになれる人材育成<br>～「しなやかで折れない」レジリエンスを育てる～<br>内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院  | <b>キャリア開発</b>                                                       |
| HEA2556-a | VUCA の時代に必要なレジリエンス                                                     | ●VUCA の時代の特徴と、これからの看護師に求められるレジリエンスについて説明できる<br>●自身のよい点と改善点を 1 つ見出す  |
| HEA2556-b | 新人看護師を育てる<br>「リアリティショック」を乗り越えるために                                      | ●新人看護師が陥りやすいリアリティショックについて知り、それを乗り越えるために看護管理者として行う支援を 1 つあげることができる   |
| HEA2556-c | 中堅看護師を育てる<br>「中堅の壁」を乗り越えるために                                           | ●中堅看護師が直面する中堅の壁について知り、それを乗り越えるために看護管理者として行う支援を 1 つあげることができる         |
| HEA2556-d | スタッフがヒーローになれる組織づくり                                                     | ●スタッフがヒーローになれる組織の実現のために、看護管理者として明日から取り組む課題を 1 つあげることができる            |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                                       | 到達目標                                                                                                                                 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HEA2557   | <b>日常のケアを見つめ直す看護倫理</b><br>竹之内 沙弥香 先生 京都大学大学院                                         |                                                                                                                                      |
| HEA2557-a | 看護倫理の基本事項                                                                            | ●看護倫理の基本事項について説明できる                                                                                                                  |
| HEA2557-b | 日常のケアに潜む倫理的課題                                                                        | ●日常のケアに潜む倫理的課題について、例を1つあげて説明できる                                                                                                      |
| HEA2557-c | 倫理的文化を育むために看護管理者が果たす役割                                                               | ●組織の倫理的文化を育むために、看護管理者として明日から取り組む課題を1つあげることができる                                                                                       |
| HEA2557-d | 事例：<br>臨床における倫理的課題の解決策を検討する看護師の支援                                                    | ●事例を通じて倫理的葛藤のなかにある看護師への支援のポイントを知り、実践できる                                                                                              |
| HEA2558   | <b>よりよい看護をつくる質管理・質改善<br/>～ベンチマーク評価の実際～</b><br>吉川 久美子 先生 日本看護協会                       |                                                                                                                                      |
| HEA2558-a | 医療・看護サービスの可視化とは                                                                      | ●提供している医療・看護サービスの可視化の必要性について説明できる<br>●看護サービスの質を保証するための、エビデンス（根拠）に基づく標準的ケアの必要性を説明できる<br>●看護の質向上に向け、データを収集・分析し、改善活動を実施し、成果を可視化することができる |
| HEA2558-b | 医療・看護の質評価                                                                            | ●看護の質評価の目的について説明できる<br>●ドナベディアンが提唱した、質評価の枠組み「構造・過程・結果」について説明できる<br>●看護の質評価指標策定時の考え方について理解し、看護の質指標の策定ができる                             |
| HEA2558-c | ベンチマーク評価の実際<br>～DiNQL データを活用して～                                                      | ●ベンチマーク評価の目的について理解できる<br>●ベンチマーク評価の事例を参考に、自施設の看護ケアについてテーマを決め、ベンチマーク評価を行うために必要なデータ項目をあげることができる                                        |
| HEA2558-d | 看護の質改善活動を進めるための体制整備と看護管理者の役割                                                         | ●質改善活動を進めるための体制整備の必要性和方法が理解でき、自施設の体制構築をすることができる<br>●体制整備における看護管理者の役割がわかり、実践できる                                                       |
| HEA2559   | <b>レジリエントな組織をつくる<br/>～組織の目標達成に向けた組織マネジメントの実践～</b><br>松浦 正子 先生 大阪信愛学院大学               |                                                                                                                                      |
| HEA2559-a | 組織とは、組織論の変遷、集団（グループ）とチーム                                                             | ●基本的な組織の概念や理論について説明できる                                                                                                               |
| HEA2559-b | 病院・看護部における組織の構造（組織図と職務規程）                                                            | ●自施設や看護部の組織構造について説明できる                                                                                                               |
| HEA2559-c | 組織分析（フォース・フィールド分析）                                                                   | ●組織分析の目的や種類を理解し、目的に応じた分析に活用できる                                                                                                       |
| HEA2559-d | 組織分析（SWOT 分析 / クロス分析）                                                                | ●SWOT 分析 / クロス分析のポイントを理解し、看護部や自部署の戦略策定に活用できる                                                                                         |
| HEA2560   | <b>人材育成のための人的資源管理</b><br>渡辺 明良 先生 学校法人聖路加国際大学                                        |                                                                                                                                      |
| HEA2560-a | 人的資源管理の体系                                                                            | ●労務管理・人事管理・人的資源管理の基本的な考え方を説明できる<br>●人材育成の体系を説明できる                                                                                    |
| HEA2560-b | 人材育成につなげる人事考課                                                                        | ●人事考課の体系と役割を理解し、人材育成につなげる人事考課のあり方がわかる<br>●人材育成につなげる人事考課の知識と技術を身につける                                                                  |
| HEA2560-c | 人材育成のためのキャリア開発                                                                       | ●キャリアアンカー・キャリアサバイバルについて説明できる<br>●人材育成のために組織が行うべき、キャリア開発上の人事施策のあり方を説明できる                                                              |
| HEA2560-d | 人的資源管理の戦略と実践                                                                         | ●人材育成のための人的資源管理の戦略と実践を理解できる<br>●事業計画・資金計画・採算計画をふまえた人材育成について理解できる                                                                     |
| HEA2561   | <b>持続可能な「学習する組織」をつくるための考え方</b><br>平林 慶史 先生 有限会社ノトコード                                 |                                                                                                                                      |
| HEA2561-a | 学習する組織                                                                               | ●「学習する組織」の考え方について説明できる                                                                                                               |
| HEA2561-b | 学習する組織のリーダーシップ                                                                       | ●MC チャートを用いて、自組織の抱える課題の全体像を可視化する                                                                                                     |
| HEA2561-c | 目標達成までの道筋をチームに示す<br>～ロードマップ～                                                         | ●ロードマップを用いて、目標達成までの道筋をチームに示す                                                                                                         |
| HEA2561-d | 行動計画を立て着実に実行する                                                                       | ●行動計画をたて、着実に実行できるようになる                                                                                                               |
| HEA2562   | <b>地域連携における<br/>多職種連携・ケア移行の重要性和看護師の役割</b><br>山田 佐登美 先生 川崎医療福祉大学<br>看護実践・キャリアサポートセンター | <b>地域包括ケア</b>                                                                                                                        |
| HEA2562-a | 地域連携において多職種協働・移行ケアが必要とされる背景と課題                                                       | ●地域連携において多職種協働・移行ケアが必要とされる背景と課題について説明できる                                                                                             |
| HEA2562-b | 診療報酬にみる<br>地域連携・多職種協働・移行ケアの評価                                                        | ●診療報酬で評価されている、入院前から退院後に至る中長期的プロセスを説明できる<br>●その中長期的プロセスにおける看護実践のあり方と具体的な方策について提案できる                                                   |
| HEA2562-c | 移行ケア（transition of care）の重要性和<br>移行ケアを促進するツール                                        | ●移行ケアの重要性について説明できる<br>●移行ケアを効果的に実践するためのツールを活用できる                                                                                     |
| HEA2562-d | 多職種協働・効果的なケア移行における<br>看護師の役割とリーダーシップ                                                 | ●多職種協働・移行ケアにおける看護師の役割について述べることができる<br>●多職種協働・移行ケアにおける看護師の役割遂行のために必要な能力について述べることができる                                                  |

 新規配信テーマ
 継続配信テーマ

<実践編>地域丸ごとで輝く組織へ！ 看護部門・部署運営に明日から現場で役立つヒント

1テーマ約15分

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                           | 到達目標                                                                           |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| HEB2501   | ゴキゲンな看護チームをつくる！<br>任 和子 先生 京都大学大学院                                       |                                                                                |
| HEB2501-a | 成長実感を生み出す                                                                | ●自施設の看護部でスタッフは成長を実感できているか考え、課題を1つあげることができる                                     |
| HEB2501-b | 看護提供方式でケアの責任をもてる環境をつくる                                                   | ●自施設の看護提供方式が看護の「過程」にどのような影響を及ぼしているか説明できる<br>●看護提供方式におけるケアの責任を引き受けるしくみについて説明できる |
| HEB2501-c | 多様性を活かす                                                                  | ●自施設のスタッフが安心していきいきと働くために、看護管理者として多様性を活かす取り組みを1つあげることができる                       |
| HEB2502   | 「対応に配慮が必要なスタッフ」とともに<br>インクルーシブな組織を育てる<br>川上 ちひろ 先生 岐阜大学                  | キャリア開発                                                                         |
| HEB2502-a | 対応に配慮が必要なスタッフとは                                                          | ●対応に配慮が必要なスタッフが現場で直面している課題を1つあげて説明できる                                          |
| HEB2502-b | 神経発達症（発達障害）と合理的配慮                                                        | ●おもな神経発達症（発達障害）の特徴がわかる<br>●合理的配慮の考え方について説明できる                                  |
| HEB2502-c | 事例で考える対応の実践                                                              | ●事例を通じて対応に配慮が必要なスタッフへの接し方を考え、自分なりの対応を説明できる                                     |
| HEB2502-d | インクルーシブな組織をともに育てる                                                        | ●すべてのスタッフが活躍できるインクルーシブな職場のために、看護管理者として取り組む課題を1つあげることができる                       |
| HEB2503   | 人がやめたい組織づくりのための処遇改善<br>出雲 幸美 先生 昭和会脳神経外科病院                               |                                                                                |
| HEB2503-a | 処遇とはなにか                                                                  | ●処遇にはどのようなものがあるか、具体的に説明することができる                                                |
| HEB2503-b | ベースアップ評価料の算定について                                                         | ●ベースアップ評価料についてどうすれば算定できるのか知る                                                   |
| HEB2503-c | 事例：処遇改善の効用（定着率アップ）                                                       | ●定着率の上がった処遇改善の事例を知り、自院での取り組みを検討する                                              |
| HEB2503-d | 事例：処遇改善の効用（採用）                                                           | ●採用における処遇改善の効用を知り、自院での取り組みを検討する                                                |
| HEB2504   | 看護補助者との協働を考える<br>～みんなが活躍できるケアチームのために～<br>山中 寛恵 先生 大阪府済生会茨木病院             | 多職種連携                                                                          |
| HEB2504-a | 看護補助体制充実加算の変更点と課題                                                        | ●令和6年度診療報酬改定における看護補助体制充実加算の変更点がわかる                                             |
| HEB2504-b | 病棟における看護補助者の役割                                                           | ●病棟における看護補助者がどのような役割を担っているか説明できる                                               |
| HEB2504-c | 直接ケアを担う看護補助者の<br>キャリア・育成を考える                                             | ●看護補助者のキャリアを中心に、直接ケアを担う看護補助者の育成にあたり自施設で取り組む課題を1つあげることができる                      |
| HEB2504-d | 看護管理者ができるサポート                                                            | ●看護管理者として取り組む課題を1つあげることができる                                                    |
| HEB2505   | 看護職一人ひとりのキャリアを導くクリニカルラダーの活用<br>～これからの生涯学習をデザインする～<br>村上 志保 先生 大阪府済生会吹田病院 | キャリア開発                                                                         |
| HEB2505-a | 看護職のキャリアと生涯学習                                                            | ●看護職のキャリアを考えるにあたり、生涯学習が求められる背景を説明できる                                           |
| HEB2505-b | クリニカルラダーによるキャリア支援とは                                                      | ●クリニカルラダーを用いたキャリア支援について説明できる                                                   |
| HEB2505-c | 自施設に即したクリニカルラダー構築の実践                                                     | ●大阪府済生会吹田病院におけるクリニカルラダー構築の例を知り、クリニカルラダー導入における考え方が理解できる                         |
| HEB2505-d | クリニカルラダーの活用の実践と今後の展望                                                     | ●大阪府済生会吹田病院におけるクリニカルラダーの活用例を知り、自院での活用を検討できる                                    |
| HEB2506   | データ活用と DX で変わる<br>これからの病棟マネジメント<br>木村 憲洋 先生 高崎健康福祉大学                     |                                                                                |
| HEB2506-a | 病棟における DX の必要性について                                                       | ●DX、病棟における DX について理解できる<br>●ICT 活用法を理解し、病棟業務への実際の応用を考えることができる                  |
| HEB2506-b | もはや DX は避けられない、その理由とは                                                    | ●DX を推進していく必要性を理解できる<br>●病棟における DX をイメージし、今後の業務へ活用できる                          |
| HEB2506-c | 事例からみる看護管理と DX                                                           | ●看護管理を改めて理解し、DX との関係性を考えることができる<br>●看護管理においてどのように DX を活用するか、事例をとらえて考えることができる   |
| HEB2506-d | 病棟で DX を進めるには                                                            | ●病棟で DX を進めるための方策を知り、明日から取り組めるようになる                                            |
| HEB2507   | 事例で学ぶ政策提言<br>～医療提供体制の変化に現場から立ち向かう～<br>福井 トシ子 先生 国際医療福祉大学大学院              |                                                                                |
| HEB2507-a | 政策提言におけるステークホルダーの関与と対応                                                   | ●政策提言におけるステークホルダーの関与と対応について説明できる                                               |
| HEB2507-b | 地域の課題を政策提言へ<br>～看護小規模多機能型居宅介護はなぜ創設されたか～                                  | ●課題設定から政策提言に至る道のりを事例を通じて理解できる                                                  |
| HEB2507-c | これからの看護管理者に求められる政策提言力                                                    | ●変化する医療提供体制のなか、なぜ看護管理者に政策提言力が必要なのかを説明できる                                       |

| コード       | セッション名・講師・テーマ名                                                                       | 到達目標                                                                                             |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HEB2508   | 地域をつなぐ「考動」と入退院支援の実際<br>～インタビュー動画で先進施設の取り組みを知ろう～<br>餅田 敬司 先生 京都橘大学                    | 多職種連携                                                                                            |
| HEB2508-a | トリプル改定で地域包括ケアシステム・地域連携はどう変わるか                                                        | ●令和6年度のトリプル改定による地域包括ケアシステム・地域連携への影響について説明できる                                                     |
| HEB2508-b | 【動画で学ぶ】急性期から回復期までのスムーズな連携                                                            | ●事例を通じて急性期から回復期までのスムーズな連携に関する取り組みを知り、ポイントを説明できる                                                  |
| HEB2508-c | 【動画で学ぶ】介護施設との「顔の見える関係」をつくる                                                           | ●事例を通じて急性期病院と介護施設との「顔の見える関係」に関する取り組みを知り、ポイントを説明できる                                               |
| HEB2508-d | 2025年から地域連携の未来を考える                                                                   | ●2025年時点から2035年の地域連携の未来を考え、自施設で明日から取り組む課題を1つ以上あげることができる                                          |
| HEB2509   | 身体的拘束最小化に向き合う看護管理者の視点<br>～「立ち止まって気づく」風土を醸成する～<br>清水 佳子 先生   本村 良子 先生 東京大学医学部附属病院     | 倫理                                                                                               |
| HEB2509-a | 身体的拘束をめぐる動向と最小化に向けた視点                                                                | ●身体的拘束をめぐる動向について再確認し、最小化に向けて看護管理者がもつべき視点を知る                                                      |
| HEB2509-b | 身体的拘束を「見える化」するためのデータ収集                                                               | ●自施設・自部署の身体的拘束実施状況を「見える化」するデータ収集方法を1つあげ、実践できる                                                    |
| HEB2509-c | 問う力を育てる                                                                              | ●データをもとに身体的拘束の実施について再考することの重要性を知り、部署での実践を支援できる                                                   |
| HEB2509-d | 身体的拘束を減らすヒント<br>～現場における実践事例～                                                         | ●実際に現場で身体的拘束最小化の取り組みを行う際に重要な看護管理の視点を知り、実践できる                                                     |
| HEB2510   | エビデンスに基づく看護（EBN）の視点を活かした看護の質改善～データを集める、分析する、活用するのサイクルを回し続けるために～<br>瀬戸 僚馬 先生 東京医療保健大学 |                                                                                                  |
| HEB2510-a | エビデンスに基づく看護（EBN）の基礎と背景                                                               | ●EBNの目的と背景、実践のプロセスを理解し説明できる                                                                      |
| HEB2510-b | 看護の質改善とデータ活用                                                                         | ●看護の質改善のためにEBNを活用する具体的な手法（例：褥瘡予防、手指衛生遵守、転倒予防など）を説明し、実践に役立する方法を述べることができる                          |
| HEB2510-c | EBNによる質改善事例                                                                          | ●データの標準化や個人情報保護の観点から、電子カルテのデータ活用方法を理解し、EBNの実践に応用する方法を述べることができる                                   |
| HEB2511   | 高パフォーマンスな組織形成のための心理的安全性<br>山口 舞子 先生 武庫川女子大学                                          | キャリア開発                                                                                           |
| HEB2511-a | 看護の現場における「心理的安全性」とは                                                                  | ●組織における心理的安全性に関して、基本的な考え方について説明できる                                                               |
| HEB2511-b | 心理的安全性を低下させる4つの要因                                                                    | ●心理的安全性を低下させる4つの要因について説明できる<br>●過去の経験において、心理的安全性の低下が生じていたと考えられる具体的場面（二者間）を想起し、その要因について記述することができる |
| HEB2511-c | 心理的安全性を担保し、高パフォーマンスな組織の形成をめざす                                                        | ●自施設（または部署）において、リーダーとして、心理的安全性を高めるための具体的な行動を述べることができる                                            |
| HEB2512   | 誰もが働きやすい「インクルーシブな組織」へ<br>～ヘルシーワークプレイスの文化を醸成するヒント～<br>奥村 元子 先生 日本看護協会                 | 多職種連携                                                                                            |
| HEB2512-a | 看護職の就業を取り巻く現状と課題                                                                     | ●昨今の離職状況をはじめ、看護職の就業を取り巻く現状と課題について説明できる                                                           |
| HEB2512-b | ダイバーシティとインクルージョン                                                                     | ●ダイバーシティとインクルージョンの意味とその重要性について説明できる                                                              |
| HEB2512-c | 「インクルーシブな組織」とヘルシーワークプレイスのつながり                                                        | ●インクルーシブな組織の考え方が一人ひとりの基本的人権を尊重するヘルシーワークプレイスにつながることを理解し、看護管理者として取り組む課題を1つあげることができる                |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

事例から学んで患者の退院後の生活を支える看護師になる！

1テーマ約15分

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                          | 到達目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月開始 | <b>HG2501</b><br>改めて学ぶ！ 入退院支援入門<br>～多職種連携による入退院支援がなぜ必要？～<br>角田 直枝 先生 常磐大学               | <b>入退院支援</b><br>●入退院支援が求められる背景がわかる<br>●多職種での入退院支援が必要な理由について説明できる<br>●病棟看護師がかかわる多職種がわかる<br>●多職種での入退院支援を実践できる                                                                                                                                                                                                                      |
|      | HG2501-a 入退院支援って何？ なぜ必要？                                                                | ●入退院支援が求められる背景がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | HG2501-b 多職種での入退院支援が必要な理由                                                               | ●多職種での入退院支援が必要な理由について説明できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|      | HG2501-c 病棟看護師がかかわる多職種                                                                  | ●病棟看護師がかかわる多職種がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | HG2501-d 多職種で入退院支援をやってみよう！                                                              | ●多職種での入退院支援を実践できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|      | <b>HG2502</b><br>地域で支える！ 精神科の地域包括ケア<br>松本 美香 先生 北大泉訪問看護ステーション                           | <b>地域包括ケア</b><br>●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概要を知ることができる<br>●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムが機能するために、必要なことを1つあげることができる<br>●精神科病棟と地域支援者との連携において、必要なことを考えることができる<br>●地域における精神科医療・看護の役割を知ることができる                                                                                                                                                     |
|      | HG2502-a 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは                                                         | ●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概要を知ることができる                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|      | HG2502-b 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムが機能するために必要なこと                                              | ●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムが機能するために、必要なことを1つあげることができる                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|      | HG2502-c 精神科病棟との連携を考える                                                                  | ●精神科病棟と地域支援者との連携において、必要なことを考えることができる                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|      | HG2502-d 地域における精神科医療・看護の役割                                                              | ●地域における精神科医療・看護の役割を知ることができる                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5月開始 | <b>HG2503</b><br>地域で進める多職種連携<br>～地域特性に応じた地域包括ケアシステム推進の実践～<br>齋藤 由利子 先生 鹿沼市役所            | <b>地域包括ケア</b><br>●超高齢社会に伴う社会の環境変化により、多職種による入退院支援の重要性が増すことが理解できる<br>●多職種による連携の鍵となる各カンファレンスについて説明できる<br>●地域で療養する『生活者』として支援するために、在宅療養体制に求められる4つの場面を説明できる<br>●事例をとおして、本人の意思決定能力が十分でない可能性、かつ身寄りのない場合において、医療を決定する意思決定支援のあり方を説明できる<br>●多職種連携・協働の意義が説明できる                                                                                |
|      | HG2503-a 社会の環境変化に伴う多職種連携による入退院支援の重要性                                                    | ●超高齢社会に伴う社会の環境変化により、多職種による入退院支援の重要性が増すことが理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|      | HG2503-b 地域に暮らす『生活者』としての視点をとらえる重要性                                                      | ●地域で療養する『生活者』として支援するために、在宅療養体制に求められる4つの場面を説明できる                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|      | HG2503-c 事例でみる 身寄りのない患者の医療に関する意思決定支援                                                    | ●事例をとおして、本人の意思決定能力が十分でない可能性、かつ身寄りのない場合において、医療を決定する意思決定支援のあり方を説明できる                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | HG2503-d 自分らしく安心して地域で療養するための多職種連携・協働                                                    | ●多職種連携・協働の意義が説明できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | <b>HG2504</b><br>認知症患者の入退院支援<br>～地域共生社会実現に向けて～<br>清瀬 靖子 先生 佐藤病院                         | <b>入退院支援</b><br>●認知症高齢者が地域で健やかに暮らすための課題がわかる<br>●認知症高齢者の入退院支援の現状がわかる<br>●入退院支援において必要な認知機能障害についての知識を理解し、生活調整を実践できる<br>●認知症高齢者やその家族に対する適切なコミュニケーションが理解できる                                                                                                                                                                           |
|      | HG2504-a 認知症高齢者を取り巻く現状と認知症基本法                                                           | ●認知症高齢者が地域で健やかに暮らすための課題がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|      | HG2504-b 認知症高齢者の入退院支援の現状                                                                | ●認知症高齢者の入退院支援の現状がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|      | HG2504-c 入退院支援に必要な認知機能障害の知識と生活調整の実践                                                     | ●入退院支援において必要な認知機能障害についての知識を理解し、生活調整を実践できる                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|      | HG2504-d 地域の認知症高齢者をみんなで支えていくために～コミュニケーション・意思決定支援・家族支援～                                  | ●認知症高齢者やその家族に対する適切なコミュニケーションが理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 6月開始 | <b>HG2505</b><br>看護師も行う！ ヤングケアラー支援<br>～背景を想像する、気づく～<br>加藤 智子 先生 聖隷浜松病院                  | <b>地域包括ケア</b><br>●ヤングケアラーへの支援をめぐる現状を理解できる<br>●ヤングケアラーに必要な支援がわかる<br>●患者の背景を想像して支援することができる<br>●事例をとおして、ヤングケアラー支援のために看護師ができることを考えられる                                                                                                                                                                                                |
|      | HG2505-a ヤングケアラーの社会的背景と現状                                                               | ●ヤングケアラーへの支援をめぐる現状を理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|      | HG2505-b ヤングケアラーに必要な支援                                                                  | ●ヤングケアラーに必要な支援がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | HG2505-c 患者の背景を想像して支援するために～患者の家族にヤングケアラーがいる場合～                                          | ●患者の背景を想像して支援することができる                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|      | HG2505-d 事例から考えるヤングケアラー支援                                                               | ●事例をとおして、ヤングケアラー支援のために看護師ができることを考えられる                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|      | <b>HG2506</b><br>多職種で進める口腔ケア・摂食嚥下支援の実際<br>～「口から食べる」を在宅でも続けていくために～<br>加倉井 真紀 先生 茨城県立中央病院 | <b>入退院支援</b><br>●入退院支援における口腔ケア・摂食嚥下支援の目的がわかる<br>●入退院支援における口腔ケア・摂食嚥下支援の方法がわかる<br>●入退院支援における口腔ケア・摂食嚥下支援の看護師の役割がわかる<br>●摂食嚥下における口腔ケアの目的が理解できる<br>●多職種チームで行う口腔ケアが理解でき、自身の役割を実践できる<br>●多職種チームで行う摂食嚥下支援の必要性が理解できる<br>●多職種チームで行う摂食嚥下支援が理解でき、自身の役割を実践できる<br>●事例をとおして、口腔ケア・摂食嚥下支援を進めていくためのポイントを理解できる<br>●事例をとおして、口腔ケア・摂食嚥下支援の看護師の役割を理解できる |
|      | HG2506-a 入退院支援における口腔ケア・摂食嚥下支援の役割                                                        | ●入退院支援における口腔ケア・摂食嚥下支援の目的がわかる                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|      | HG2506-b 多職種チームで行う口腔ケア                                                                  | ●摂食嚥下における口腔ケアの目的が理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|      | HG2506-c 多職種チームで行う摂食嚥下支援                                                                | ●多職種チームで行う摂食嚥下支援の必要性が理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|      | HG2506-d 事例から学ぶ口腔ケア・摂食嚥下支援                                                              | ●事例をとおして、口腔ケア・摂食嚥下支援を進めていくためのポイントを理解できる                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                                             | 到達目標                                                   |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 7月開始 | <div>HG2507</div> <div>リハビリテーション職との連携 はじめの一步<br/>～患者の ADL を改善して地域につなぐ～</div> <div>尾崎 尚人 先生 東京慈恵会医科大学</div> | <div>入退院支援</div>                                       |
|      | <div>HG2507-a</div> <div>リハビリテーション医学・医療の意義をもう一度見直す<br/>～令和 6 年度診療報酬改定からみえてくるもの～</div>                      | ●リハビリテーション医学・医療の意義を、令和 6 年度診療報酬改定をからめて考えることができる        |
|      | <div>HG2507-b</div> <div>病態に応じた早期からの疾患別リハビリテーション治療</div>                                                   | ●早期からの疾患別リハビリテーション治療の必要性を理解できる                         |
|      | <div>HG2507-c</div> <div>リハビリテーション職との連携で<br/>おさえておきたいポイント</div>                                            | ●リハビリテーション職との連携でおさえておきたいポイントがわかる                       |
|      | <div>HG2507-d</div> <div>事例：<br/>訪問・通所リハビリテーション事業所との連携</div>                                               | ●事例をととして、訪問・通所リハビリテーション事業所との連携の重要性がわかる                 |
|      | <div>HG2508</div> <div>地域のなかでも大活躍！ 専門性の高い看護師</div> <div>高橋 素子 先生 平成立石病院</div>                              | <div>地域包括ケア</div>                                      |
|      | <div>HG2508-a</div> <div>地域で専門性の高い看護師が求められる背景</div>                                                        | ●国内の状況と自身が勤務する地域の現況を知り、地域で専門性の高い看護師が求められる背景を理解することができる |
|      | <div>HG2508-b</div> <div>専門性の高い看護師は地域でどんなことができる？</div>                                                     | ●専門性の高い看護師がどういった場面で何ができるのか、理解できる                       |
|      | <div>HG2508-c</div> <div>事例：地域で活躍する専門性の高い看護師</div>                                                         | ●事例をととして、専門性の高い看護師が地域で活躍するイメージをもつことができる                |
|      | <div>HG2508-d</div> <div>専門性の高い看護師の活用のしくみ構築のために</div>                                                      | ●地域包括ケアシステムに基づく医療界における専門性の高い看護師育成の意義について考えられる          |
| 8月開始 | <div>HG2509</div> <div>地域で取り組む！ 高齢者の救急患者対応<br/>～退院後の ADL 低下を防ぐ～</div> <div>石原 末幸 先生 水府病院</div>             | <div>地域包括ケア</div>                                      |
|      | <div>HG2509-a</div> <div>高齢の救急患者をめぐる現状</div>                                                               | ●高齢の救急患者をめぐる現状について説明できる                                |
|      | <div>HG2509-b</div> <div>地域包括医療病棟とは？ 期待されていること</div>                                                       | ●地域包括医療病棟に期待されている役割がわかる                                |
|      | <div>HG2509-c</div> <div>事例から考える在宅復帰支援</div>                                                               | ●事例をととして、在宅復帰に向けた包括的な支援の重要性がわかる                        |
|      | <div>HG2509-d</div> <div>高齢の救急患者対応のこれから<br/>～超高齢社会の進展に対応するために～</div>                                       | ●超高齢社会の進展に対応するために自施設でできることを考えられる                       |
|      | <div>HG2510</div> <div>退院後の生活を見据えた栄養管理<br/>～多職種で切れ目のない支援を行おう～</div> <div>仲間 清美 先生 浦添総合病院</div>             | <div>入退院支援</div>                                       |
|      | <div>HG2510-a</div> <div>退院後の生活を見据えた栄養管理体制の構築</div>                                                        | ●退院後の生活を見据えた栄養管理体制の構築が求められる背景を説明できる                    |
|      | <div>HG2510-b</div> <div>退院に向けた食事・栄養支援</div>                                                               | ●退院までの各段階における食事・栄養支援がわかる                               |
|      | <div>HG2510-c</div> <div>訪問栄養指導とは</div>                                                                    | ●訪問栄養指導がどのように行われているか理解できる                              |
|      | <div>HG2510-d</div> <div>事例：多職種で行う栄養管理</div>                                                               | ●事例をととして、多職種でどのように切れ目なく食事・栄養支援を行っていくかわかる               |
| 9月開始 | <div>HG2511</div> <div>少子高齢社会の医療を地域で支えていくために</div> <div>佐藤 賢治 先生 佐渡総合病院</div>                              | <div>入退院支援</div>                                       |
|      | <div>HG2511-a</div> <div>「少子高齢社会」の現実と課題</div>                                                              | ●「少子高齢社会」の現実を理解し、課題を抽出する                               |
|      | <div>HG2511-b</div> <div>地域医療を支えるための連携・協働<br/>～連携・協働を支える情報基盤～</div>                                        | ●地域における医療福祉の協働・連携の必要性を理解し、これに必要な情報基盤を考える               |
|      | <div>HG2511-c</div> <div>地域医療を支える体制と人材育成</div>                                                             | ●地域における医療福祉の協働・連携を推進するために必要な体制と人材育成を考える                |
|      | <div>HG2511-d</div> <div>持続可能な医療提供体制に向けた地域マネジメント</div>                                                     | ●現実と将来予測、事例から地域の医療福祉課題への対策概念を考える                       |
|      | <div>HG2512</div> <div>医療・看護と福祉の連携<br/>～医療的ケア児支援から考える～</div> <div>吉澤 奈津実 先生 SOU 訪問看護ステーションくれよん</div>       | <div>入退院支援</div>                                       |
|      | <div>HG2512-a</div> <div>医療的ケア児支援の現状</div>                                                                 | ●医療的ケア児を取り巻く現状と支援の課題がわかる                               |
|      | <div>HG2512-b</div> <div>医療的ケア児を地域で支えるための視点</div>                                                          | ●医療的ケア児を地域で支えるための視点がわかる                                |
|      | <div>HG2512-c</div> <div>医療的ケア児の訪問看護の実際<br/>～医療と福祉の連携で重要なこと～</div>                                         | ●事例をととして障害福祉サービスとの連携のポイントを 1 つあげられる                    |
|      | <div>HG2512-d</div> <div>地域における医療的ケア児支援体制のあり方</div>                                                        | ●地域における医療的ケア児支援体制のあり方について考えられる                         |

新規配信テーマ

継続配信テーマ

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                      | 到達目標                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 継続配信 | HG2551 <u>どうつながる？ 入退院支援での病院・地域間連携</u><br>坂井 志麻 先生 上智大学                              |                                                                              |
|      | HG2551-a 地域包括ケアにおける入退院支援                                                            | ●地域包括ケアにおける入退院支援の重要性について理解できる                                                |
|      | HG2551-b 入退院支援における一連のプロセス                                                           | ●入退院支援における一連のプロセスについて説明できる                                                   |
|      | HG2551-c 地域包括ケアシステムの時代に求められる病院・地域間連携                                                | ●病院・地域間連携に必要な要素について説明できる                                                     |
|      | HG2551-d 病院・地域間連携で行う入退院支援の実際                                                        | ●入退院支援における病院・地域間連携の進め方がわかる                                                   |
|      | HG2552 <u>改めて考える！ 地域包括ケアシステムと地域共生社会</u><br>木内 健太郎 先生 合同会社地域包括ケアステーション               | <b>地域包括ケア</b>                                                                |
|      | HG2552-a 地域包括ケアの現状                                                                  | ●地域包括ケアの現状を意識し、課題を1つあげることができる                                                |
|      | HG2552-b 地域共生社会の背景と地域包括ケアとのつながり                                                     | ●地域包括ケアと地域共生社会のつながりがわかる                                                      |
|      | HG2552-c 地域で支え、支えられる関係をつくるために                                                       | ●地域共生社会の実現の観点からよりよい地域連携を考えることができる                                            |
|      | HG2552-d 地域共生社会の担い手として私たちにできること                                                     | ●地域でよりよい連携を構築するためにできることを1つあげることができる                                          |
|      | HG2553 <u>動画でわかる！ 入退院支援における多職種カンファレンスの開き方</u><br>春田 淳志 先生 慶應義塾大学                    |                                                                              |
|      | HG2553-a 多職種カンファレンス開催の意義と情報共有と関係構築                                                  | ●事例動画をとおして、多職種カンファレンスを開催する意義を理解し、どのような情報がカンファレンスで共有され、どのように職種間の関係が構築されるかがわかる |
|      | HG2553-b 多職種カンファレンスにおける方向性の探索                                                       | ●事例動画をとおして、多職種カンファレンスを円滑に進めるための道標をふまえ、カンファレンスの導入、方針の方向性を探索するプロセスについて流れがわかる   |
|      | HG2553-c 多職種カンファレンスで決定した方向性の具体的業務への転用                                               | ●事例動画をとおして、多職種カンファレンスで決定した方針の方向性を具体的業務へ転用するイメージができる                          |
|      | HG2553-d 多職種カンファレンスで起こり得るコンフリクトへの対応のしかた                                             | ●多職種でコンフリクトが起きているカンファレンスの事例動画をとおして、自施設で自分がどのようにカンファレンスにかかわったらよいか考えることができる    |
|      | HG2554 <u>地域で活躍する助産師 ～産後ケア事業と特定妊婦の支援から連携の実際を学ぶ～</u><br>岡本 登美子 先生 ウパウパハウス岡本助産院       | <b>地域包括ケア</b>                                                                |
|      | HG2554-a 母子をめぐる現状と課題                                                                | ●周産期～子育て期の母子に関するわが国の現状と課題について説明できる                                           |
|      | HG2554-b 地域で活躍する助産師とは                                                               | ●地域における助産師のさまざまな活動場面について知ることができる                                             |
|      | HG2554-c 連携の事例：産後ケア事業                                                               | ●産後ケア事業における助産師と多職種の連携事例について知ることができる                                          |
|      | HG2554-d 連携の事例：特定妊婦                                                                 | ●特定妊婦の支援における助産師と多職種の連携事例について知ることができる                                         |
|      | HG2555 <u>精神科リエゾンチームにおける入退院支援へのかかわり ～事例から精神的支援のあり方を考える～</u><br>寺岡 征太郎 先生 帝京大学       |                                                                              |
|      | HG2555-a 精神科リエゾンチームとは                                                               | ●精神科リエゾンチームの活動と、チームにおける看護師の役割を知る                                             |
|      | HG2555-b 入退院支援における精神科リエゾンチームの役割                                                     | ●入退院支援の場面で精神科リエゾンチームが果たす役割を知る<br>●精神科リエゾンチームとの連携のあり方を知る                      |
|      | HG2555-c 事例：精神的不安定感の強い患者の入退院支援                                                      | ●事例をとおして、精神的不安定感の強い患者への退院支援のあり方を検討することができる                                   |
|      | HG2555-d 事例：精神疾患を併発している患者の入退院支援                                                     | ●事例をとおして、精神疾患を併発している患者への入退院支援のあり方を検討することができる                                 |
|      | HG2556 <u>みんなで考える アドバンス・ケア・プランニング（ACP）～地域で連携して意思決定を支援する～</u><br>片山 陽子 先生 香川県立保健医療大学 | <b>地域包括ケア</b>                                                                |
|      | HG2556-a 自分らしい人生を過ごすためのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）                                         | ●アドバンス・ケア・プランニング（ACP）実施の意義を説明することができる                                        |
|      | HG2556-b 患者・家族の多様な思いに寄り添う意思決定支援                                                     | ●臨床現場における患者・家族の多様な思いを理解し、意思決定支援にかかわることができる                                   |
|      | HG2556-c 事例：多職種で支える ACP の実践                                                         | ●患者・家族の意思決定支援を支えるための地域連携について考えられる                                            |
|      | HG2556-d 地域のなかでの ACP 実践における病棟看護師の役割                                                 | ●地域のなかでの ACP 実践における病棟看護師の役割を理解できる                                            |
|      | HG2557 <u>「地域連携室」ってどんなところ？ 病院と地域をつなぐ連携の実際</u><br>網代 祐介 先生 葵メディカルホールディングス            |                                                                              |
|      | HG2557-a 病院ごとで異なる地域連携部門                                                             | ●地域連携部門で行っていることがわかる                                                          |
|      | HG2557-b 地域連携部門に求められる役割                                                             | ●地域連携部門に求められる役割がわかる                                                          |
|      | HG2557-c 「地域連携室」が行う前方支援と後方支援                                                        | ●「地域連携室」が行う支援の実際がわかる                                                         |
|      | HG2557-d 地域連携の事例紹介                                                                  | ●事例をとおして、地域連携の実際や、看護師がどのように情報を共有し、ケアを地域につないでいくかがわかる                          |

| コード  | セッション名・講師・テーマ名                                                                                                        | 到達目標                                                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 継続配信 | <div>HG2558</div> <div> <b>外来看護師による在宅療養支援</b><br/>           島田 恵 先生 東京都立大学         </div>                            | <div>地域包括ケア</div>                                                                                                                                                          |
|      | <div>HG2558-a</div> <div>外来看護は在宅看護である</div>                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●外来看護を、病院において看護師が実施する在宅看護ととらえる考え方が理解できる</li> </ul>                                                                                  |
|      | <div>HG2558-b</div> <div>外来看護は在宅療養支援である</div>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●外来看護は、在宅療養支援であるととらえる考え方が理解できる</li> <li>●在宅看護の特徴から、在宅療養支援はセルフマネジメント支援であることを理解できる</li> <li>●セルフマネジメントは意思決定であるという考え方が理解できる</li> </ul> |
|      | <div>HG2558-c</div> <div>外来看護は“熟練した患者”に成長するのを支援する</div>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●外来看護は、患者が“熟練した患者”に成長するための支援であるととらえる考え方が理解できる</li> <li>●外来患者が“熟練した患者”に成長することが、在宅療養の継続につながるという関係性が理解できる</li> </ul>                   |
|      | <div>HG2558-d</div> <div>           事例：HIV/AIDS 患者の外来看護<br/>           ～HIV/AIDS コーディネーターナースの実践から～         </div>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●HIV/AIDS 患者への外来看護の場面をととして、どのような実践が在宅看護としての外来看護（“熟練した患者”に成長するのを支援し、在宅療養の継続を可能にする看護）であるかを考えることができる</li> </ul>                        |
|      | <div>HG2559</div> <div> <b>地域の人の健康を支える！ みんなの保健室</b><br/>           服部 満生子 先生 みんなの保健室 陽だまり         </div>              | <div>テストなし 地域包括ケア</div>                                                                                                                                                    |
|      | <div>HG2559-a</div> <div>地域における暮らしと健康</div>                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●最期まで住み慣れたところで暮らし続けることの意義と健康と暮らし支援のあり方を考える</li> </ul>                                                                               |
|      | <div>HG2559-b</div> <div>「あなたのままでいい」居場所</div>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティの中での居場所の真の意味を理解し、そのあり方を具体的に考える</li> </ul>                                                                                    |
|      | <div>HG2559-c</div> <div>健康と生きがい</div>                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康支援とは何かをもう一度振り返りその支援のあり方を各自考える</li> </ul>                                                                                         |
|      | <div>HG2559-d</div> <div>今後の課題と取り組み</div>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各自の置かれた環境での健康支援を考えることができる</li> </ul>                                                                                               |
|      | <div>HG2560</div> <div> <b>非医療職と看護師、みんなで行う地域づくり</b><br/>           江川 陽子 先生 大牟田市認知症ライフサポート研究会         </div>          | <div>地域包括ケア</div>                                                                                                                                                          |
|      | <div>HG2560-a</div> <div>           取り組みの背景：<br/>           少子高齢社会における地域づくりの必要性         </div>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●少子高齢社会における地域づくりの必要性がわかる</li> </ul>                                                                                                 |
|      | <div>HG2560-b</div> <div>大牟田市が取り組む認知症対策の実践</div>                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大牟田市の事例をととして、地域まるごとで進める認知症対策について考えられる</li> </ul>                                                                                   |
|      | <div>HG2560-c</div> <div>大牟田市が取り組む認知症対策がもたらす地域づくり</div>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大牟田市の事例をととして、退院後の生活を見据えた支援について考えられる</li> </ul>                                                                                     |
|      | <div>HG2560-d</div> <div>今後の展望：地域の人々の健康を支え続けるために</div>                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域共生社会の創造に向けた取り組みについて、自らができることを 1 つあげられる</li> </ul>                                                                                |
|      | <div>HG2561</div> <div> <b>退院後の暮らしを想像して支えるための訪問看護ステーションへの出向事業</b><br/>           秋山 順子 先生 茨城県立中央病院         </div>     |                                                                                                                                                                            |
|      | <div>HG2561-a</div> <div>           入退院支援の現状と病院での退院支援の課題<br/>           ～令和 6 年度診療報酬改定～         </div>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●入退院支援の現状と病院での退院支援の課題がわかる</li> </ul>                                                                                                |
|      | <div>HG2561-b</div> <div>訪問看護ステーションへの出向</div>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問看護ステーションへの出向について理解できる</li> </ul>                                                                                                 |
|      | <div>HG2561-c</div> <div>訪問看護ステーションへの出向の実践と効果</div>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問看護ステーションへの出向を経験した看護師の実際の声を知り、その意義が理解できる</li> </ul>                                                                               |
|      | <div>HG2561-d</div> <div>病院看護師の訪問看護への出向事業の展望</div>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●病院看護師の訪問看護への出向事業の展望を理解し、自身で何ができるかを考えることができる</li> </ul>                                                                             |
|      | <div>HG2562</div> <div> <b>看護小規模多機能型居宅介護（看多機）で活躍する看護師</b><br/>           市橋 正子 先生   市橋 康佑 先生 MEIN HAUS         </div> | <div>地域包括ケア</div>                                                                                                                                                          |
|      | <div>HG2562-a</div> <div>看多機って何？ どんなことをする？</div>                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●看多機の創設された経緯について説明できる</li> <li>●看多機の 4 つのサービスを理解する</li> <li>●看多機の役割について説明できる</li> <li>●看多機の制度上の位置づけと概要について説明できる</li> </ul>          |
|      | <div>HG2562-b</div> <div>           看多機における看護師の役割とは           <div>テストなし</div> </div>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●看多機看護師の役割を理解できる</li> <li>●看多機看護師の 1 日の流れが理解できる</li> <li>●看多機における看護師の役割と 1 日の流れについて説明できる</li> </ul>                                 |
|      | <div>HG2562-c</div> <div>           看多機における多職種連携           <div>テストなし</div> </div>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多職種連携の実践を理解できる</li> <li>●多職種連携における看護師の役割を理解できる</li> <li>●事例をととして看多機における看護師と多職種との連携について考えられる</li> </ul>                             |
|      | <div>HG2562-d</div> <div>地域の暮らしを支える看多機のこれから</div>                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●これからの看多機の看護師に求められる役割を説明できる</li> <li>●地域共生型社会に向けて看多機のあるべき姿を理解できる</li> <li>●地域の暮らしを支える看多機のこれからのあり方がわかる</li> </ul>                    |

2025  
年度

# 研修計画立案お役立ち資料

学研メディカルサポートでは「看護実践能力習熟段階」に対応したテーマ一覧や、法定研修まで組み込んだ年間計画表など、研修計画立案にお役立ていただける資料を定期的にお届けしています。ぜひ計画立案にご活用ください。

最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください

2024年 9月末 2025年度サービス&配信テーマご紹介パンフレット

2024年 10月末

- 【暫定版】年間計画表
- 【暫定版】看護実践能力習熟段階対応表&逆引き看護実践能力習熟段階対応表

2024年 11月

- 【暫定版】マネジメントラダー対応表
- 【暫定版】看護補助業務能力指標対応表

2024年 12月

- 【完成版】看護実践能力習熟段階対応表&※  
逆引き看護実践能力習熟段階対応表※
- 【完成版】看護補助業務能力指標対応表※

2025年 1月

- 2025年度サービス&配信セッション+シラバスご紹介パンフレット★
- 【完成版】マネジメントラダー対応表

2025年 2月

- 2025年度配信ポスター★
- 【完成版】年間計画表※

2025年 6月 2025年度サービス&配信セッション+シラバスご紹介パンフレット★

★は郵送でのお届け

※はデータをe-ラーニングシステム上にご準備いたします

株式会社 学研メディカルサポート

〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

TEL:03-6431-1228(代表) 平日 9:00~18:00 担当: 営業部

[FAX] 03-6431-1414 [WEB] <https://gakken-meds.jp>



20250601